

第四十五回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十九號

議事日程 第二十九號 大正十一年三月二十二日	午前十時開議	午前十一時十二分開議
第一 大正九年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件) (衆議院送付)	第二 大正九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支 出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)	第三 大正九年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求 ムル件)(衆議院送付)
豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)	大正九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及 豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)	大正九年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件
第六 過激社會運動取締法案(政府提出)	第七 鐵道敷設法案(政府提出)	第八 國有財產整理資金特別會計法案(政府提出)
第九 少年法案(政府提出、衆議院送付)	第十 築正院法案(衆議院送付)	第十一 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出、 議院送付)
第十二 臺灣事業公債法改正法律案(政府提出、 議院送付)	第十三 樺太事業公債法中改正法律案(政府提出、 議院送付)	第十四 關東州事業公債法案(政府提出、 議院送付)
第十五 南洋廳特別會計法案(政府提出、 議院送付)		

第十六 大正五年法律第四號中改正法律案 (政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)
第十七 感化法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)
第十八 被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案 (政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)
第十九 銅、真鍮及青銅ノ輸入稅ニ關スル法 (政府提出、衆議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)
第二十 綱紀肅正ニ關スル建議案(侯爵佐佐木行忠君外 三名發議)	會
第二十一 國立大公園設置ノ請願	議
第二十二 大淀外ノ浦港間鐵道敷設ノ請願	會
第二十三 岐阜縣揖斐郡池田村ニ登記所設置ノ請願	議
第二十四 濱松辰野間鐵道敷設ノ請願	會
第二十五 弘前田代間輕便鐵道敷設ノ請願	議
第二十六 軍人恩給法中改正ノ請願(文書表第百十四號、 第一百五號、第百十九號、第一百四十一號、第 一百五十三號、第百六十六號、第百八十四號、 第一百九十四號、第二百七十三號、第二百九 十一號、第三百八十六號、第三百三十九號、第三百四 十一號、第三百八十三號乃至第三百八十五號)	會
第二十七 札幌沼田間鐵道敷設ノ請願	議
第二十八 軍人恩給法中改正ノ請願(文書表第百五十號、 三百八十六號、第三百八十七號)	會
第二十九 第一讀會ノ續(委員長)	會
第三十 審啞教育令發布ノ請願	議
第三十一 五所川原青森間鐵道敷設ノ請願	會
第三十二 松前鐵道敷設ノ請願	議
第三十三 德佐大井間鐵道敷設ノ請願	會
第三十四 益田萩間鐵道一部速成ノ請願	議
第三十五 第一讀會ノ續(委員長)	會

- 第三十五 益田萩間鐵道速成ノ請願
第三十六 萩小郡間鐵道敷設ノ請願
第三十七 萩正明市間鐵道速成ノ請願
第三十八 土浦飯能間並境古河間鐵道敷設ノ請願
第三十九 川内宇佐間鐵道敷設ノ請願
第四十 富山縣永見郡速川村ニ登記所設置ノ請願
第四十一 三戸毛馬内間鐵道敷設ノ請願
第四十二 根室斜里間鐵道敷設ノ請願
第四十三 热海下田間鐵道敷設ノ請願
第四十四 上磯江差間鐵道敷設ノ請願
第四十五 中湧別網走間鐵道敷設ノ請願
第四十六 上磯鐵道敷設ノ請願
第四十七 松阪櫻井間鐵道敷設ノ請願
第四十八 田名部大間間鐵道敷設ノ請願
第四十九 漁港修築費國庫補助法制定ノ請願
第五十 自働航送船増加ニ關スル請願
第五十一 濱頓別興部間鐵道敷設ノ請願
第五十二 軍人恩給法中改正ノ請願（文書表第三百四十一號）
第五十三 三原吳間鐵道敷設ノ請願
第五十四 四日市木之本間鐵道敷設ノ請願（文書表第三百五十五號、第四百六十七號）
第五十五 四日市木之本間鐵道敷設ノ請願（文書表第三百六十六號）
第五十六 掛川大井間鐵道敷設ノ請願
第五十七 角館鷹巣間鐵道敷設ノ請願
第五十八 相生釧路間鐵道敷設ノ請願
第五十九 區裁判所管轄變更ノ請願
第六十 四日市木之本間鐵道敷設ノ請願（文書表第四百十號）
第六十一 貴生川加茂間輕便鐵道敷設ノ請願
第六十二 旭川遠輕間鐵道速成ニ關スル請願
第六十三 斜里ヨリ根室線ニ通スル鐵道敷設ノ請願
第六十四 長野縣下上高地ニ國立公園設置ノ請願
第六十五 盲人教育令發布ノ請願
第六十六 幼稚園令制定ノ請願
第六十七 弘前田代間鐵道敷設ノ請願
第六十八 延岡三田井間鐵道敷設ノ請願
第六十九 高田川井間鐵道敷設ノ請願
第七十 東海道線鐵道線路一部變更ノ請願
第七十一 野岩羽鐵道延長敷設ノ請願

○議長（公爵德川家達君）是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

一昨二十日議員侯爵佐佐木行忠君外三名ヨリ八十九名ノ賛成ヲ以テ綱紀肅正ニ關スル建議案ヲ發議セリ

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
臺灣私設鐵道補助法案特別委員會

委員長 子爵新庄直知君 副委員長 男爵安場末喜君
同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正九年度豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）、大正九年度備豫金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）、大正九年度特別會計豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）、大正九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）、大正九年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）可決報告書

鐵道敷設法案修正報告書

國有財產整理資金特別會計法案可決報告書

朝鮮事業公債法中改正法律案可決報告書

臺灣事業公債法改正法律案可決報告書

樺太事業公債法中改正法律案可決報告書

關東州事業公債法案可決報告書

南洋廳特別會計法案可決報告書

大正五年法律第四號中改正法律案可決報告書

明治四十年法律第二十一號中改正法律案可決報告書

大正九年法律第十二號中改正法律案可決報告書
露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案可

銅、真鍮及青銅ノ輸入稅ニ關スル法律案可決報告書

同日特別委員副委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

少年法案可決報告書

矯正院法案可決報告書

感化法中改正法律案可決報告書

昨二十一日議員子爵前田利定君ヨリ八十八名ノ賛成ヲ以テ綱紀肅正ニ關ス

建議案ヲ發議セリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一ヨリ

第五マデハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、一括シテ委員ノ報告ヲ煩ハス

考デゴザイマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、大正九年度豫備金支出ノ件、第二、大正九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第三、大正九年度特別會計豫備金支出ノ件、第四、大正九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第五、大正九年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、特別委員長報告、阪本彰之助君

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

大正九年度豫備金支出ノ件

大正九年度特別會計豫備金支出ノ件

大正九年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

阪本 鈴之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔阪本鈴之助君演壇ニ登ル〕

○阪本鈴之助君 日程第一乃至第五ニ掲グラレテアリマス大正九年度豫備金支出ノ件外四件ノ承諾ヲ求ムル件ニ付マシテ、特別委員會ノ經過、並ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ先づ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、次イデニ瓦リマシテ會議ヲ開キマシタ、各案ハ多岐多様ニ涉シテ居リマシテ、其支額ノ巨額ニ上ツテ居リマスルガ故ニ、委員會ハ慎重審議イタシマシテ、中ニ就テ疑問ノ存スル所ノモノ數項ニ關シテ、難詰的質問ヤ希望モ出マシタノデアリマスガ、其事項ヲ一々茲デ申上グマスルコトハ省略イタシタイト存ジマス、ソレヨリ討論ニ移リマシテ、結局下ノ如キ警告的希望ヲ附帶イタシテ、五件トモ承諾ヲ與フベキモノト議決イタシマシタ、其希望ト申シスノハ即チ斯様デアリマス

各計算書中支出ノ述ヲ見ルニ間々寛カニ過グルノ感アルモノアリ是畢竟近年世上ノ好景氣ニ依リテ增收多々歲計ニ餘裕アルカ爲メ自ラ此ニ至リタルニ非ナルナキカ政府ハ將來豫備金外豫算超過及豫算外支出ハ勿論豫備金支出ニ付テモ亦法規ノ命スル所ヲ嚴守シ苟モ濫出ノ弊ニ陥ルナカラシコトヲ望ム

ト云フノデアリマス、此附帶希望ハ院議ヲ以テ御認メニナラムコトヲ望ミマスル次第デアリマス、此段御報告ニ及ビマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今阪本特別委員長ノ一括セラレテ報告ニ相成リマシタ日程第一ヨリ第五マデノ議案ハ、一括シテ議題トナスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 玉案トモ承諾ヲ與フルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、過激社會運動取締法案、政府提出、第一讀會

二讀會

○子爵八條隆正君 本案ハ極メテ本會期中ニ於ケル重要ナル法案デアルト考

ヘマス、特別委員會ニ於キマシテハ、慎重ニ審議セラレタノデアリマスルガ、

法案ノ各條ニ瓦ツテ、大修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、併シ尙ホ其法案ノ性

質ヲ考ヘマスト、十分此上ニモ慎重審議ベキモノデアルト考ヘマス、付マ

シテハ從來ノ九名ノ特別委員ノ外ニ、更ニ六名ヲ增加イタシテ十五名ト致シ

テ、再審查ニ付スルコトニ致シタイト思ヒマス、右動議ヲ提出イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○男爵福原俊丸君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 八條子爵ノ過激社會運動取締法案ヲ再ビ審査スル

爲ニ、六名ノ委員ヲ增加スルト云フ說ニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、八條子爵ニ念ノ爲ニ伺ヒマス

ガ、增加セラレル六名ノ委員ノ選定ハ如何イタシマス

○子爵八條隆正君 増加セラレル六名ノ委員ハ、議長ニ於テ指名セラレムコ

トヲ望ミマス

○伯爵松平賴壽君 賛成

○鎌田榮吉君 賛成

○男爵福原俊丸君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ八條子爵ノ御說ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、増加セラル所ノ六名ノ

委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

子爵八條 隆正君 渡邊廉吉君 男爵内田 正敏君

男爵南岩倉 具威君 木場貞長君 川上親晴君

○議長(公爵德川家達君) 日程第七、鐵道敷設法案 政府提出、衆議院送付、

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長 伯爵林 博太郎

〔別冊〕 貴族院議長公爵德川家達殿

〔別冊〕 〔特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミナ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字ハ修正文、ハ同削除ノ符號ナリ〕

第一條 政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲別表ニ掲クル豫定鐵道線

第二條 〔ハ別表ニ掲クル處ニ依ル〕 政府ハ前條豫定鐵道線路ヲ調査敷設セムトスルトキハ經費ノ豫算ヲ定メ漸次繼續費トシテ帝國議會ノ協贊ナ求ムヘシ

第三條 〔ハ別表ニ掲クル處ニ依ル〕 在リテハ政府ハ地方鐵道トシテ其ノ敷設ヲ免許スルコトヲ得

第四條 豫定鐵道線路ヲ變更シ又ハ豫定鐵道線路中新ニ工事ニ著手スルモノヲ定ムトキハ鐵道會議ノ諮詢ヲ經ヘシ

第五條 鐵道會議ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法、北海道鐵道敷設法、明治二十七年法律第六號乃至第十號、同年法律第十二號乃至第十五號、明治二十九年法律第七十二號乃至第七十七號、明治二十年法律第十一號、同年法律第三十二號、同年法律第三十三號及同年法律第三十五號ハ之ヲ廢止ス

本法施行鐵道建設費豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ナ經タル鐵道線路ハ本法ニ依リ敷設スルモノト看做ス

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 鐵道敷設法案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御報告イタシマス、此法案ノ特別委員會ハ先月二十日ヨリ本月二十日迄一箇月間ニ瓦リマシテ、二十一回特別委員會ヲ開會イタシマシテ、慎重審議ヲ重ネタ

ノデゴザイマス、此鐵道敷設法案ノ趣旨ハ、是ハ帝國ニ必要ナ鐵道ヲ敷設スル爲ニ定メマシタモノデアリマシテ、其主義カラ申シマスルト云フト、大體ニ於テ國有主義デアリマス、此前ノ國有法ニ、現時ノ國有法ニアリマスル如ク、一般ノ運輸ヲ目的トスルモノハ國有ト定メマシテ、地方一部局ノ鐵道ノ運輸ニ限リマシテハ、時ニ依テハ國有デナク、私立ノモノニモ許スコトアルベシ、此限ニ非ズト云フコトヲ、左様ニ解釋イタシテ、此主義ニ於テ此法案モ出来テ居ルノデアリマス、ソレデ此法案ヲ議スルニ當リマシテ、質問ハ多々アリマシタ、便宜上之ヲ六項ニ分チマシテ慎重ニ質問應答ヲ重ネタノデゴザイマス、即チ第一經濟上ノ利害經濟ノ利害ニ付マシテ最モ日子ヲ多ク費シマシテ、慎重ニ審議ヲ致シタノデゴザイマス、兎ニ角百四十九本ノ線路ヲ探擇イタシテ、之ヲ選ンダト云フコトデアリマスルガ、六千三百哩ニモ瓦ッタモノデアリマシタノデアリマスノデ、其原則ト致シマシテハ、先づ地方ニ依リ地方產業ノ發達如何ニ依リ、國防上ノ關係ニ見、種々ノ文化振興ノ方面カラ考ヘマシテ、之ヲ選ンダト云フコトデアリマスルガ、是ハ其都度速記ニ掲ゲマシタコトデアリマスカラ、茲ニハ簡單ニ色ムナ質問ガアッタ云フコトニマシテモ隨分數多ク出マシタノデゴザイマスルガ、是ハ其都度速記ニ掲ゲマシタコトデアリマスカラシテ、今日ハ會期切迫ノ際デモアリマスカラ、茲ニハ簡單ニ色ムナ質問ガアッタ云フコトニシテ終ツテ置キタイト思ヒマス、第二ハ廣軌トノ關係、即チ廣軌鐵道ヲ敷クト云フコトガ甚ダ急務デハナイカ、新線ヲ百四十九本モ殖スヨリハ、寧ロ狭軌ヲ廣軌ニシテ多大ノ時間ヲ節約ラスルト云フコトガ交通ノ上カラ見テモ、運輸ノ上カラ見テモ、文化ノ發達ノ上カラ見テモ必要デハナカラウカト云フコトニ付テ、其電化トノ關係輸送力ノ遲速等ニ付マシテ、是亦色ムナ質問ガ出タノデアリマス、第三國有當時ノ方針ト矛盾スル所ナキカ、國有法ガ出マシタ當時ノ方針、即チ國有ト云フコトニ付マシテハ先程申述ベマシタ通りノ方針ヲ政府ハ取ツテ居リマスカラ、ソレニ付テハ方針ニ於テハ變リハナイト云フコトニナッタノデアリマス、第四自動車トノ關係、御承知ノ通リ英吉利ニ於テモカラ出タノデアリマス、自動車ノ走ルニ頗ル便利ナル自動車地圖ガ色々出來テ居リマスルト云フコトハ、道路網ト云フモノガ發達シテ居ルノデアリマス、日本デハ其方ガマダ出來テ居ラナイ、短距離ノ鐵道ノ如キ、山間僻地ニ鐵道ノ如キモノヲ敷クニハ、一哩ニ付テ經費ガ隨分掛カル

ノデアルカラシテ、ソレ等ハ寧ロ軌道ノ必要ノ無イ、「レール」ノ必要ノナイ、簡便ナ自動車ヲ以テ運輸ヲサシテ行クタラバ、汽車ナドヲ敷クヨリモ經濟ニ行クダラウ、汽車ナラバ一日ニ僅ニ三四回シカ動カセナイヤウナ短距離ノ鐵道モ、自動車ナラバ隨分迅速ニ多數ノ此回數ヲ運轉スルコトガ出來ルカラシテ、ソレヨリ考ヘテ見テモ短イ線路ノ多イヤウナ、今度ノ本案ノ如キモノヲ敷クノデアルナラバ、寧ロ自動車ノ方ガ便利デアルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ質問モ出マシテ、之ニ付マシテ政府ハ自動車ト云フモノヲヤルノニハ道モ今日ノ儘デハイカヌノデ、色ムノコトニ付テ不便ガアルシ、現在自動車ト云フモノハ丁度戰鬪艦ト水雷艇、若クハ潛航艇ノ如キモノデアッテ、潛航艇ガ軍艦ヲ代用スルコトハ出來ナイヤウニ、同ジク自動車ヲ以テ汽車ヲ代用スルト云フコトハ是ハ到底出來ナイ、ノミナラズ日本ノ如キ道路ノ嶮惡ナ所ノ多イ地方、山間僻地ノ如キニ至テハ、特ニ此問題ハドウモ問題外デハナカラウカト云フヤウナコトデ、色ム之ニ付テノ質問ガ起シタノデアリマス、第五、線路ノ當否、是ガ御承知ノ通リ鐵道網全體ノ問題デアリマシテ、此問題ニ付マシテハ又慎重審議、是ハ隨分日數ヲ要シタノデアリマス、デ御承知ノ通リ百四十九線モ線ガアリマスノデ、日本全國ニ瓦ッテノ論議デアリマスカラシテ、簡便上第一東京以西大阪、第二東京以東、第三大阪以西、中國四國、第四九州、第五北海道ト云フヤウナ風ニ分割致シマシテ、是亦多大ノ質問應答ガアッタノデアリマス、政府ハ是等ノ線ニ付マシテ、其榮養線、臨港線、或ハ橫斷線、臨港線ト云フヤウナ色ム此線路ノ種類ヲ分ケマシテ、成ベク重複ヲシナイヤウニ、成ベク統一ノ出來ルヤウニ致シタノデアルト云フコトニ付テ、縷々述ベル所ガアッタノデアリマス、又質問ヲスル委員ニ於キマシテモ、此點ニ付テハ特ニ注意ヲ致シマシテ、必要ノナイ所ノ循環線ナドハドウ云フト云フコトニナッタノデアリマス、最後ニ第六法律ノ必要アリヤ否ヤ、是ガ又相當ニトモ云フガ如キ地圖ナドガ出來テ居リマス、自動車ノ走ルニ頗ル便利ナル自動車地圖ガ色々出來テ居リマスルト云フコトハ、道路網ト云フモノガ發達シテ居ルノデアリマス、日本デハ其方ガマダ出來テ居ラナイ、短距離ノ鐵道ノ如キモノヲ敷クニハ、一哩ニ付テ經費ガ隨分掛カル

云フモノニ乏シ、一體ドウ云フ拘束力……此法律ガ政府ヲシテサセルノデアルカト云フ點ニ付キマシテハドウモ不的確デアルガ、如何ナモノデアラウカト云フヤウナコトニ付テ、慎重ニ質問應答ガアッタノデアリマス、併シ是ハ政府ハ矢張將來日本ハ此線路デナケレバ敷設ガ出來ナイト云フトコロニ拘束力ガアルノデアルト云フ御解釋デアリマシタ、憲法其他トノ關係ニ付テ重ナル質問應答ガアッタノデアリマス、斯クノ如ニシテ二十一回ニ瓦リマシテ審議ヲ重ネ、サウシテ討論ニ這入ッタノデアリマス、ソレヲ簡單ニ經過ニ付マシテ申上グテ見ルト、先ヅ反對論、第一經濟上ノ利害、反對論ハ先ヅ第一ニ經濟上ノ利害カラシテ、是ハ經濟上引合ハナイモノデアル、大體カラ申シマスルト云フト、鐵道網ヲ完成スル程政府ハ損害ヲスル、歐羅巴ノ實例ニ致シマシテモ鐵道網ヲ完成シタ結果ハ段々利息ハ薄クナル、ノミナラズ漸次損失ヲ招キツツアル傾向ヲモツテ居ル、此法案ノ如キモ全部實施スレバ、斯ノ如キ運命ニ陥ルニ違ヒナイ、政府ノ十年計畫ト云フモノヲ見ルト云フト、其建設費ト云フモノハ戰爭前ノ六割、改良費ニ付マシテ七割ヲ掛ケテアル、ノ六割七割ヲ以テハ物價騰貴ノ關係上到底竣工スルコトガ出來ナイヤウニ思フ、物價ガ騰ルト同時ニ勞働ノ賃銀ト云フモノモ決シテ下ラヌ、之モ騰ルノミナラズ、八時間制度ト云フモノハ日本デハ行ツテハ居ラヌケレドモ、將來ニ於テハ此勞働ニモ多少ノ時間ノ制限ト云フモノガアッテ、八時間ノ勞働制限ニ近イモノガ實現スルノ時期ハ來ルニ違ヒナイノデアル、シテ見レバ此意味ニ於テモドウモ政府ノ示スヤウナ經濟關係ニハ行カナイヤウダ、又此十年計畫ヲ見ルト云フト、七億ノ不足ハ眼ニ見エテ居ル、サウシテ運賃ノ値上ヲシタラ三億位ハ増シタシテモ、結局四億ノ不足ハ歷然タルモノデアル、又鐵道輸送力ノ關係カラ見ルト云フト、隨分一杯ニナツテ居リマシテ、斯ノ如キ網ガ出來レバ一旦國防ノ急ヲ要スル時ニ大混雜ヲ來ス虞ガアルデハナイカ、此網ハ非常ニ費用ヲ要スルト同時ニ、實行不可能ニ終ラザルヲ得ナイ、又鐵道ト云フモノハ、特別會計ニ依ルコトニナツテ居ル、特別會計ト云フノハ自足自給ノ會計法デアル、即チ建設改良、此兩者ニ對シテハ、鐵道ノ益金ヲ以テ充當ヲスルノデアル、サウシテ公債ヲ募ルニシテモ其利子ハ益金ヨリ支拂フベキモノデアル、收支ノ決算ヲ見ナイデ鐵道網ヲ抽象的ニ考ヘルガ如キハ、ソレハ決シテ専門的ノ者ノヤルベキコトデハナイ、特ニ此益金ト云フコトニ

付テ困難デアル所ノ今回ノ鐵道網ノ如キモノハ、無謀ナルモノデアルト言ハナケレバナラナイ、此政府ノ出シマシタ所ノ經濟表ニ付マシテハ、反對論ガ大分出タノデアリマス、此大正八年度ノ實際ノ輸送數量ガ大ナルモノデアリマスガ、ソレヲ基礎トシテソレガ運賃ヲ掛ケテ大正九年度ノ收入ノ基礎ヲ作リ、是カラ年々二千二百萬圓ヅ増シテ行ツテ十年計畫ヲ立テテ、サウシテ委員ニ配ツタト云フヤウナノハ、ドウモ是ハ杜撰ナル案デアル、何トナレバ大正八年ト云フモノハ、戰爭ノ影響ヲ以テ最モ隆盛ヲ極メタ、實ニ財界ノ隆盛ノ時デアッテ、而モ其時ノ狀況ヲ標準トシテ經濟表ヲ作ルト云フノハ、實ニ無謀デアル、而モ二千二百萬圓ト云フモノハ特ニ過大ニ見エル、明治四十二年ト大正八年ト收入ノ差ヲ見テ、ソレヨリ算盤ヲ出シテ、一箇年二千二百萬圓ト云フモノヲ出シタノハ、是ハドウモ不穩當デアルンダ、又新線、新シキ線ノ計算ニモドウモ疑ガアル、既成線ノ三十年間ノ乘客ハ四倍、貨物ハ十五倍ト云フモノニナツテ居ルト云フコトヲ基礎ト致シマシテ、之ヲ將來ノ鐵道網ニ計算スルト云フコトハ如何ナモノデアラウ、盛シニ順次發展シツツアル所ノ既往ノ成績ニ鑑ミ、將來山間僻地ニモ造ルト云フ目的ノ結果ヲ、ソレニ依テ豫想セムトスルガ如キハ、ドウモ穩カナモノデハナカラウト思フ、佛蘭西ノ「フレシネー」鐵道ノ例ヲ舉グラレマシテ、ドウモ此網ト云フモノハ損失ナシニイクモノデナカラウト云フ反對論ガ出タノデアリマス、第二廣軌問題、鐵道ヲ造ルヨリモ、現在ノ鐵道ヲ廣軌ニスル方ガ早途デアル、其方ガ而來ルノデアル、何トナレバ今日ノ立派ナ「ボギー」車ノ如キ、貨車ノ如キモノモ、汽車其物ノ大キサハ餘り達ハナイ、下ノ軌幅サヘ變ヘレバ、幅サヘ廣クスレバ、ソレデモウ非常ニ經濟的ニ早イ汽車ガ出來ルデアル、ノミナラズ廣軌ニ用ヒル機關車ハ、比較的ニ石炭ノ儉約ガ出來ルシ、又之ニ電化ヲ應用スルト、電氣力ニ依テ有利ナル鐵道ガ動クノデアルカラシテ、此意味カラ見テモ、廣軌ニスルト云フコトノ方ガ、早途デアルマイカト云フコトニ付テ、今日ノ狹軌ノ儘ニ網ヲ完成スルト云フコトニ反對スルノデアリマス、第三自動車トノ關係、是モ先程簡單ニ述べマシタガ、自動車ハ政府ノ言フガ如ク決シテイモノデハナイノデアル、今日日本ニアルヤウナ、亞米利加ノ油ノ要ル自動車ヲ例ニシテハイケナイ、幾ラモ「ガソリン」ノ儉約ニナル所ノ簡便ナ自動車デ、良イ物ガ澤山アルノデアル、其粹ヲ抜イテ行ヘバ行ヘナイコトハナイ、

是ハ交通上經濟デ、速成的ノモノデアッテ、非常ニ便宜ナモノデアルカラ、是
デ以テ地方鐵道ノ如キモノハ代用ガ出來ルノデアルト云フ反對論デアリマ
ス、又此ノ國有法トノ關係ノ上カラモ反對論ガ出テ居リマス、之ヲ制定ノ當
時ノ精神ハ殆ド全部是ハ國有主義デ、國有主義ト云フモノハ、是ハ幹線ニ於
テハ相當ノ效果ヲ擧ゲ得ルモノデアルガ、山間僻地ニアルヤウナ極メテ貧弱
ナル鐵道、特ニ私立會社ノ停車場ナドニハ、驛長ガ一人居ル位ノ所モアルノ
デアル、サウ云フ管理ノ行屆カヌモノマデモ買收スルト云フコトニナルト、
此種類ノ違ツタ、程度ノ違ツタ鐵道ヲ、全部同一ノ管理ノ下ニ置クト云フコト
ハ、如何ナモノデアラウカト云フコトノ上カラシテ、反對論モ出テ居リマ
ス、第五法律ト爲スペキモノナリヤ、之ヲ調査シテ見マスルト云フト、是ハ
ドウモ鐵道ヲ調查敷設スルト云フ法律デハナクテ、寧ロ手續ニ過ギナイノデ
アル、是ハ將來政府ガ鐵道ヲ敷クノニハ、此次ノ線路ニ依ルベキモノデアッ
テ、其都度議會ニ豫算ヲ出シテ協賛ヲ求ムベシトアルノデアルカラ、手續デ
アルカラ具體的ニ、直接ニ定ツタモノデナインデアルト云フ反對論ガ出タノ
デアリマス、政府ハ、是ハ立派ニ拘束力ヲ有ツテ居ルモノデアッテ、豫定線ト
同時ニ豫算ヲ出シテ、順次ニ繼續費トシテ行クノデアルカラシテ、單ニ手續
法ノミデナイ、立派ニ拘束力ヲ有ツテ居ルモノデアル、從ツテ法律デ出シテモ
差支ナイモノデアルト云フ風ニ解釋ヲシテ居ツタノデアリマスガ、兎ニ角反
對論トシテ左様ナモノガ出タノデアリマス、第六ニ此法案ガ通過スレバ國民
ガ騒グ、從ツテ綱紀肅正ノ喧シイ今日ニ、却テ綱紀ガ頽廢スル虞ガアルト云
フ所ノ反對論モアツタノデアリマス、其他反對論ハ隨分是ハ數重ナツテ居リ、
特ニ質問ノ中ニモ討論的ノ質問ガ澤山アリマシタカラシテ、申上ゲレバ、一
時間ヤ二時間デ以テ到底是ハ終ルモノデナインデアリマスカラ、大體其邊デ
打切リマス、第二贊成論、國有鐵道ノ徹底ト云フコトハ、飽クマデモ必要デ
アルト云フ所カラ、贊成ヲ論ゼラレタ人ガアリマス、鐵道ト云フ物ハ是ハ公
益事業デ、是ハ私ノ會社ノ私利ヲ貪ルベキ性質ノモノデナイン、文化發展ノ手
段トシテ、國民ガ自由平等ニ公益出來ル機關トシテ統一スペキ性質ノモノデ
アル、況ヤ國防上ニ對シテ最モ必要ナル機關ノ一ツデアル以上ハ、特ニ其必
要ヲ感ズルノデアル、英吉利ノ如キ亞米利加ノ如キ、戰爭ノ始ツタ當時ハ私
設鐵道ガ多クテ、實ニ兵ノ輸送其他ニ於テ困難ヲ來シタノデハナイカ、漸ク
戰爭ガ終ラムトスル時ニ至テ、國有ト云フコトノ必要デアルト云フコトヲ、

切ニ歐米ノ國々ガ感ジタ位ノモノデアル、ダカラドウシテモ徹底的ニ國有主
義デ以テ行ツテ、之ニ依テ理想的ノ敷設ヲ圖ラナケレバナラナイ、元來鐵道
事業ト云フモノハ、是ハ獨占事業デ多數ノ資本ガ固定ナレルモノデアル以
上、之ヲ國家經營トスベキモノデアルト云フコトハ論ズルマデモナイ、是ハ
無論特別會計ニ依ルベキモノデ、足ラザル所ハ無論公債ニ依ルベキモノデア
ル、之ヲ租稅ニ依テ爲スト云フコトハ、原理ニ於テ間違ツテ居ル、何トナレ
バ地方鐵道ヲ有ツテ居ラナイヤウナ所マテガ、租稅ニ依テモ鐵道ヲ完成シヤ
ウトスル譯ハナイ、此意味合カラ持チマシテモ、公債ニ依テ行カナケレハナ
ラヌノデアル、次ニ鐵道網ト云フモノハ、成ベク早ク完成ヲシナケレバナラ
ヌ、今日ノ日本ノ網ト云フモノハ、マダ網ト云フ程ニ出來テ居ラヌノダカラ
ラ、之ヲ成ベク早ク新シイ線ヲ造ラナケレバナラス、改良改良ト稱シテ既成
線ノ、今マデニヤツテ居ルモノヲ僅バカリ改良ヲ圖ツタ所デ、國民ハソレ程利
益ヲ受ケナイ、其網カラシテ順ニ新シイ線路ヲ造ルコトガ積極的デアッテ、國
家ノ爲ニモ有利デアルト云フ點デアリマス、第三ハ廣軌論者ニ對シマシテ、
廣軌狹軌ト云フコトハ問題外デアルト云フコトニ依テ論駁ガ出テ居リマス、
此法律ヲ具サニ見ルト云フト、將來政府ガ敷設スペキモノハ、是ノ線ニ依
ルベシ、又之ヲ豫定シタ際ニハ、帝國議會ニ豫算ヲ出シテ協賛ヲ求ムベシ、
斯ウ云フ要領デ書イテアッテ、狹軌ニシナケレバナラヌト云フコトハ一ツモ
書イテナイン、ダカラ豫算ガ出タトキ廣軌何レニスベキヤト云フコトハ質問出
來ルノデアリマス、今日此豫算ノ出ヌ際ニ廣軌狹軌ト云フノハ、論理的ニ意
義ヲ爲ナヌト云フノデアリマス、次ニ自動車ニ依リ山間僻地ニアルモノニ代
用スペキモノデアルト云フ論ガアル、是モ宜シクナインデアル、歐洲ニ於キ
マシテモ鐵道網ト云フコトハアルガ、未ダ自動車網ナル言葉ヲ聞カナイ、成
程實際ニ於テハ道路ガ宜イ爲ニ、自動車ハ迅速ニ地方ノ便益ハ計ツテ居ルケ
レドモ、ソレハドコマデ行ツテモ代用デハナイノデ、補助機關ニ止マツテ居
ル、而シテ今回ノ戰爭ナドニ徵シテ見テモ、自動車ハ相當ニ役ニ立ツテ居ル
ガ、其道ヲ破壊スル點ニ於テモ亦甚シイノデ、歐羅巴ノ前回ノ戰爭ニ於テ自
動車ガ通ツタ爲ニ道ヲ始終修復シタト云フコトノ費用ヲ考ヘテモ、是モ莫大
ナモノデアッタ、之ヲ平時ニ徵シテモ自動車ト云フモノヲ通ス以上ハ、前ニ
道ヲ造ラナケレバナラヌ、而シテ宜イ道ハ又早ク傷ムノデアル、其經費ト云
フコトニ注意シナイデ徒ニ自動車ノミヲ叫ブト云フコトハ經濟ヲ知ラヌ議論

デアル、第五ニハ次ニ法律ノ必要、斯ノ如ク國有主義ニ依テ鐵道ヲ經營スル以上ハ、是ハ統一事業デアル、日本ノ鐵道ハ未ダ貧弱ノ程度ニアリマスカラ、之ヲ完成シテ是ガ基礎ヲ的確ニ確定スルニハ、法律ニ俟ツヨリ外ハナイノデアル、無論拘束力ト云フモノハナイト云フ譯デハナク、相當ニ拘束力ハアルノデアリマスカラ、茲ニ法律ヲ以テ規定スルト云フコトハ穩當デアルト云フ贊成論ガ出テ居ルノデアリマス、經濟上ノ關係ニ付マシテハ又色モノ贊成論ガ出テ居リマス、要スルニ是ハ豫算ヲ出ス時ニ論ズベキモノデアッテ、今日此百四十九本ノ線ニ付テ逐一將來ノ經濟問題ヲ云々スルト云フノハ非常識デアル、經濟上ノ關係ハ年々變ツテ行クノデアッテ、ソレ等ニ徵シテ見テモ今日直チニ此委員會デ以テ、問答デ以テ此豫算問題ヲ決スルト云フ譯ニ行カナイ、故ニ是ハ其時其時ニ讓ツテ、豫算ノ出タトキニ論ズベキモノデアルト思フ、又積極的ニ論ゼラル委員ニ於キマシテモ一々討論ノ際ニ之ヲ辯駁シタノデアリマスガ、ソレ等ハ又數字ニ互ツテ諄シクナリマスカラシテ、之ヲ針ヲ述ベラレタトキニ此緊縮ト云フコトヲ以テ一貫サレ居ル、況ヤ軍縮ト略シテ置キマス、之ヲ要スルニ工業文化ノ發展上、鐵道網ヲ完成スルト云フコトハ必要デアル、現内閣ハ緊縮方針ヲ執ツテ居ラレル、高橋總理大臣ハ方針ヲ述ベラレタトキニ此緊縮ト云フコトヲ以テ一貫サレ居ル、況ヤ軍縮ト云フ問題モ言ハレテ居ルノデアル、然ニ年々八千萬圓モ募集スルト云フヤウナ擴張ヲ意味スル所ノ經濟ヲ執ラル、ト云フコトハ、方針ニ矛盾シテ居ルデハナイカト云フヤウナ反對論モアタケレドモ、併シ是ハ當ツテ居ラナイ、日本帝國內ノ經濟界ノ狀況ニ於テ、之ヲ許ス範圍内ニ於テ公債ヲ募集スル意思デアルト云フ以上ハ、即チ鐵道ノ益金ヲ以テ其利子ヲ拂ヒ得ル範圍デ、募集スルト云フ以上ハ、敢テ咎ムルニ足ラナイ、既設ノ收益デ足ラナイ所ハ又一時國債ニ依ル、新線ハ此損デアルト云フヤウナ御議論モ出タケレドモ、要スルニ新線ガ必シモ損失ノモノデハアルマイ、或新線ノ如キハ幹線ヲ濕スモノモアラウ、故ニ當局ガ出シタ所ノ百四十九本ノ線路悉ク不當ナリトスルモノデナイ、政府ニ求メタ所ノ經濟表ト云フモノハ元來抽象的ノモノデアル、故ニ大體ノ根據ハアルノデアルカラシテ、之ヲ一ツノ反古ト見ルト云フコトハ如何デアラウカ、物價騰貴ノ狀況ヲ頗ル內輪ニ積ツタト言フケレドモ、物價ハ常ニ上ボルバカリヂヤナイ、或ハ財界ノ狀況ニ依テ物價ハ落チルコトモアル、ダカラ六割七割ト云フコトハ必シモ不當デハナイ、斯ノ如ク積極的ニ、

シタ

〔公爵二條厚基君「議長、唯今ヨリ過激法案ノ……」ト述フ〕

經濟論ノ反對ニ對シテ更ニ反對スルト云フコトノ相當ノ根據ガアルト云フヤウナ意味デ、討論ガ終ツタノデアリマス、勿論私ノ申上ゲタ以外ニ多々アリマスケレドモ、今日ノ場合ニ於テハ之ヲ略シテ置ク方ガ寧ロ穩當トスルト考ヘマス、ソレデ此慎重重ナル討論ヲ終リマシテ、讀會ノ形式ニ依テ採決ヲ致シマシタ、第二讀會ニ這人リマシテ、修正ノ動議ガ出タノデアリマス、其動議ガ成立イタシマシテ、之ヲ委員會ニ諮リマシタ所ガ全會一致ヲ以テ此修正ハ通過イタシマシタ、第三讀會モ通過シテ修正案通リニ可決相成リマシタ次第デアリマス、此修正ヲ唯今御紹介ヲ致シテ置キマセウ、鐵道敷設法ノ政府力ヲ出シマシタ第一條ト云フモノガ混雜ヲ極メテ居ル虞ガアルノデ、論理上明確デナイカラシテ、之ヲニツニ分ケテ明確ニスル必要ガアルト云フノデ、第一條ノ「政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲別表ニ掲クル豫定鐵道線路ヲ調查敷設スル經費ノ豫算ヲ定メ漸次繼續費トシテ帝國議會ノ協賛ヲ求ムヘシ」斯ウアリマスノヲ、次ノ如クニ修正ヲ致シマシタ「第一條ヲ左ノ通り修正ハ別表ニ掲クル處ニ依ル」、「第二條政府ハ前條豫定鐵道線路ヲ調查敷設セムトスルトキハ經費ノ豫算ヲ定メ漸次繼續費トシテ帝國議會ノ協賛ヲ求ムヘシ」第一條以下ハ順次繰下ゲルコトニシテ、附則ト致シマシテ左ノ一項ヲ加ヘマシタ、「本法施行前鐵道建設費豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經タル鐵道線路ハ本法ニ依リ敷設スルモノト看做ス」即チ第一條ノニツノモノヲ二條ニ分ケタノデアリマス、然ニ必要ナ鐵道ヲ完成スル爲ニハ別表ノ如キ百四十九ノ線路ニ依ル、ソレカラソレヲ豫定線トシテ豫算ニ組ムトキニハ帝國議會ノ協賛ヲ求ムベシ、此二ツノコトヲ明カニ記シタノデアリマス、又此附則ハ二十五年ノ鐵道敷設法ト云フモノガ此新シキ敷設法ガ出ヅルト共ニ消滅シマスカラシテ、其前ニ於テ工事ニ著手シツツアリマシタ所ノ本線並ニ經便線ト云フモノガ、恰モ立消エニナルヤウニ見エマスカラシテ、是ハ從來ノ通りニ進行シ得ルト云フコトヲ明カニ記ス爲ニ、附則ヲ作ッタ次第デアリマス、以上ノ如ク修正ノ動議ガ出テ、ソレガ全會一致ヲ以テ可決イタシタノデゴザイマスカラシテ、ドウカ慎重審議ノ上此修正說ニ御賛成アラムコトヲ切望イタス次第デアリマス、之ヲ以テ鐵道敷設法案ノ特別委員會ノ經過ノ報告ヲ終リマ

○議長(公爵徳川家達君) チヨット御待ナ下さい

○公爵二條厚基君 只今ヨリ過激法案特別委員ノ退席ヲ要求イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員會ノ退席ノ要求ヲ一々議場へ御説リヲ致

サヌデモ宜イコトニ、先日決マッテ居リマスト議長ハ考ヘテ居リマス、是ヨリ通告ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、小畠男爵

○男爵小畠大太郎君 私ハ委員長ニ御尋ヲ致シタノデゴザイマスルガ、極ク簡單デゴザイマスカラ當席カラ御尋ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 御聲ノ大キイコトヲ望ミマス

○男爵小畠大太郎君 唯今委員長カラ御報告ガゴザイマシテ、二箇月ニ亘リ二十幾回ノ慎重ニ御審議ガアリマシタ云フコトハ、委員長初メ各員ニ對シ

マシテ多大ノ御苦勞ヲ感謝イタシマス、又七千萬ノ同胞ガ之ヲ承リマシタナラバ同ジク感謝イタスコトト存ジマス、ソレデ私ガ質問イタシタイノハ此度

手許ニ廻ツテ居リマス、鐵道線路網、詰リ此敷設法ノ別表デゴザイマス、此

別表ニ關シマシテ幾多ノ不可解ノ理由ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、其中デ

一二要點ヲ承ハリタウゴザイマス、ソレハ私ガ請願委員デ屢々出テ居リマスガ、本年程此請願委員會ニ鐵道ノ敷設ノ請願書ガ澤山出タコトハナイノデ

ゴザイマス、殊ニ此線路網ニ付マシテ、線路ニ付テ請願ガ多クアルノデゴザイマス、ソレデ最初カラ此敷設法ノ特別委員會ノ速記録ヲ反覆拜見ヲ致シテ

居リマスガ、マダ最近ノモノハ手許ニ廻リマセヌデ或ハ私ガ唯今承ハラウト

云フコトハ、最近ノ委員會デ御審議ガアッタノカモ知レマセヌガ、ソレガアリマセヌノデ御尋致ス次第デゴザイマス、第一ニ承リタイノハ此線路網ノ青

イ線、即チ私設鐵道是ガ青イ線デ表ハシテアル、又ソレハ未設ノ分ハ點線デ

表ハシテアル、ソレハ此敷設法ニ依ル線路ト云フモノガ、百四十九線、赤イ線又或ハ三哩デ赤イ線ニ達スベキ筈デアルノガ、ソレハ途中ヲ切レテ居ルモノモアル、又點線即チマダ敷設シテナイ、私設鐵道ノ上ニ上ツテ居ルノモアリ、又途中ニ切レテ居ルノモアル、是ハドウ云フ理由デ赤イ線ガ青イ線ノ上ニ上ラヌノモアル、僅カ二三哩カ數哩行ケバ赤イ線ニ達スル、ソレヲ達シテ居ラヌノハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、御慎重ニ御審議ニナッタノデアリマスカラ、定メシ御質問ガアッタト思ヒマスカラ、ソレヲ第一ニ承リタイ

○伯爵林博太郎君 只今ノ御質問ニ御答致シマス、第一ノ御質問ハ御尤デア

ルト考ヘマス、併シ此鐵道線路網ノ圖ノ中ニアリマスノヲ御覽ニナッタト思

ヒマスガ、綠ノ線ト赤ノ線ガ重複シテ居リ、又途中デ切レタ所ガアル、成程ソ

レニ付マシテ委員會ニ於キマシテハ、矢張疑問ガ起リマシタノデ、相當ニ慎

重ニ當局ニ聽合ハシタノデゴザイマス、綠ノ線即チ地方私設鐵道ト云フヤウ

ナモノガ重複シテ居リマス、或場合ニソレヲ或時期ニ於テハ買収スペキモノ、

或ハ買收シテ居ツテ其赤イ線ガ其上ニ上ルト云フモノガゴザイマスシ、又其

線路ガ、綠ノ線路ガ、アトニ駅何某デアッテ、不足シテ、軌幅ガ足ラナイデ、到底カヴァースルコトガ出來ナイト云フヤウナモノハ兩方併セテ書イテア

ル場合モアリマス、何分此圖ト云フモノガ昨年急イデ造ッタモノデアッテ一々

ノ線路ニ當ラナイト云フト、明確ニ御答ハ出來ナイノデアリマス、ケレドモ

大體サウ云フヤウナ意味デ重複シテ居ル場合ガ多イノデアリマス、尙ホ途中

デ切レタト云フヤウナノハ、ソレカラ先ハ非常ナ隧道ヲ要ストカラ色ニナ關係

デ費用ガ非常ニ多イト云フヤウナ所カラ、廳テ赤ノ線路ニ近イヤウナモノ

デモ、其間ガチヨット切レテ居ル、此白イ圖ノ中デハ、或ハ僅ナ所ダカラ宣

カラウト云フヤウナ鐵道網カラ見ルト、ソレハ到底敷設スルコトガ出來イナ

ヤウナ所ノ、サウ云フモノガ殘ツテ居ルノデゴザイマス、併シ是ハ隨分委員會

ニ於テ先程申上ゲタ通リ此全國ヲ五ツニ分ケマシテ、又大體ハ其間ニ付テ質

問應答ガアッタノデゴザイマス、是ハ詳シイ所ニナツテ來ルト、一々ノ線ヲ具體的ニ御聽キニナラナケレバ、此圖ハハッキリト出來テ居ナイカラ、御答ガ

出來ナイノデアリマス、又線路ニ付テハ具體的ニ一々御聽ニナルト云フコト

デアリマスナラ、ドウカ鐵道當局ニ御聽ニナレバハッキリ其點ハ、明答ヲ得

ラレルト考ヘマス

○男爵小畠大太郎君 ソレデハ第二ニ承リマスガ、日本海ニ面シタ新潟縣ノ

信越線、詰リ直江津カラ長岡ニ達スル線路ハ來迎寺ト云フ所カラ私設鐵道、魚

沼鐵道ト云フモノガ八哩ゴザイマス、詰リ青イ線路デ此圖ニ現ハレテアリ

ノモアル、ソレハ信濃川西岸ニ沿ウテゴザイマス、然ニ矢張同ジ信越線長岡ノ手前ノ宮内ト云フ所カラ、信濃川ノ東岸越後川口ヲ經テ前橋エ至ル國有線ガ架ツテ居リマス、所ガ唯今申上ゲマシタ此信濃川ノ西岸ノ青イ線ノ上ニ、赤

イ線ガ十五哩敷イテアリマスガ、是ハ僅カ數哩信濃川ヲ東西ニ挾ンデ居ル地方線デアリマス、是ハ如何ナル必要ガアルノカ、委員會ニハドウ云フ點ヲ必

○伯爵林博太郎君 唯今、小畠男爵ノ御質問ハ無論委員會デモ出タト思ヒマスケレドモ、私ガ御答辯イタシテ違フトイケマセヌカラ、政府當局カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伯爵小畠大太郎君 慎重ニ御審議ガアッタト思ヒマスカラ、之ニ付テ御審議ガアッタカ、ドウカト云フコトヲ承レバ、宜シイノデアリマス

○伯爵小畠大太郎君 是ハ審議イタシタノデゴザイマス

○伯爵小畠大太郎君 御審議ト云フモノハ何故必要デアッタカト云フコトノ結論ヲ承リタイ

○伯爵林博太郎君 ドウカモウ一遍大キナ御聲デハッキリドウゾ仰シヤツテ戴キマス

○男爵小畠大太郎君 ソレデハ今少シ詳シ申上ゲマス、信濃川ヲ中ニ挿ミマシテ僅カ數哩ヲ隔テ東西ニ兩岸ノ國有線ヲ、タツタ十五哩バカリ敷カウトスルノデアル、ソレデ此間ヲ私ガ調査ヲ致シテ見マスノニ、此鐵道ヲ利用スル者ハ僅カ五箇村バカリデアル、ソレカラ國勢院ノ調査ニ依ルト云フト、所在人ノ數ガ僅カ二千五百戸バカリデ、其中ニハ年寄モ居レバ赤ん坊モ居ル、女モ居レバ男モ居ル、合計シマシテ人口ガ漸ク約二萬人位ノ處デアル、ソシテ信濃川ノ兩岸ヲ差挾ミ十五哩バカリノ鐵道ガ必要ガアルカト云フコトノ疑ヲ持チマス、若シ之ガ必要デアルナラバ當市ノ附近朝夕アナタ方ガ御覽ニナリマスル通リ混雜、甚シキ混雜ヲ來シテ居ルノデアリマス、僅カ二萬人バカリノ地方ノ爲ニ、此兩岸ニ並行線ガ必要ト云フコトデアレバ近イ東京市ノ「レール」ノ如キハ山ノ手線ハ並行シテ數十本ノ線ガ必要デアラウト思ヒマス、ソレデ如何ニ委員會ト云フモノハ、此線ニ付テ御審議ガアッタカト云フコトヲ承リタウゴザイマス

○伯爵林博太郎君 唯今ノ小畠男爵ノ御質問ハ御尤デアリマス、何分二十一日間モ審議イタシタノデアリマスカラ、私モ茲デ今直グニ御答辯スルト云フ程ノ用意ガアリマセヌノデ、是ハ先程申上ゲマシタ、ドウカ鐵道當局ニ御聞キヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵小畠大太郎君 茲ニ至リマシテ私ハ誠ニ遺憾ニ堪ヘヌ次第、ゴザイマスガ、委員諸君ガ長イ御審議ガアッタ其御苦勞ニ對シテ誠ニ遺憾ニ堪ヘヌノデゴザイマスガ、ドウモ御調查ガ十分デナイト認メル、ソレデ貴族院規則第

○子爵八條隆正君 本員ハ唯今ノ動議ニ反對イタシマス、委員會デハ二十一回ニ瓦ツテ慎重審議セラレタ本案デアリマス、茲ニ至テ再審查ニ付スル必要ヲ認メナイ

○子爵大河内正敏君 私ハ副委員長デアルカラ委員會ノ模様ヲ尙ホ申上ゲタイ

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ小畠男爵ノ動議ト議長ハ認メマシタガ、其動議ハ賛成者ヲ要シマス、賛成者ヲ得テカラ問題ト致サウト思ヒマス

○男爵辻太郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 唯今辻男爵ノ賛成ガアリマシタカラ、小畠男爵ノ動議ハ成立シタモノト認メマス

○子爵大河内正敏君 小畠男爵ノ動議ガ成立イタシマシタ後デアリマスガ、私ハ副委員長トシテ委員會當時ノ經過ヲ御報告シタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ請ヒマス
○子爵大河内正敏君 極ク簡單デゴザイマスカラ
○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ請ヒマス
〔子爵大河内正敏君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内正敏君 極ク簡單ニ小畠男爵ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、此線路ニ付マシテハ委員會ニ於テ、第何回目ノ委員會デアリマシタカ私ハ記憶シマセヌガ、古市男爵カラ此線ニ付テノ御質疑ガアッタノデアリマス、其當時

ノ委員會速記録ヲ御覽ニナレバ尙ホ一層明瞭ニ御了解ニナルコト考ヘマスガ、其當時古市男爵ヨリ質疑セラレマシタ要點ハ唯今小畠男爵ノ述ベラレタノト稍同ジモノデアリマシタ、ソレニ對シテ當局ハ此地方ハ信濃川ノ沿岸ノ沃野デアッテ、其兩岸ニ於テ鐵道ヲ敷設スルコトガ此地方ヲ開發スル目的ヲ達スルノデアル、殊ニ此間ニ於テハ經濟表ニ依リマスト云フト、鐵道收益ノ極メテ多イ線デアリマス、ソレハ委員會ニ示メサレタ所ノ經濟表デアリマスカラ、議員諸君皆様ノ御手許ニ參ヅテ居ラヌノデアリマスガ、私ノ記憶シマシタノニ依リマスト云フト、國家ハ此線ニ依テ三割以上、此線ニ投ジマシタ資本ニ對シテ三割以上ノ收益ヲ得ル豫定線デアリマス、此意味ニ於テ私ハ古市男爵モ御了解ニナリ、特別委員諸君モ此線ノ必要ナルコトヲ認メラレタ四十七條ニ依リ再付託スルコトノ動議ヲ提出イタシマス

モノト考ヘタノデアリマス

〔男爵小畠大太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

リマセヌケレバ此際……

○議長(公爵德川家達君) 委員長ニ對シマスル質問……

○議長(公爵德川家達君) 小畠男爵ハドウ云フコト、デアリマスカ

○男爵小畠大太郎君 私ガ動議ヲ提出イタシマシタニ付マシテハ、大河内子爵カラ唯今御辯明ガアリマシタ、ソレニ對シテチヨット大河内子爵ニ御尋ヲ致シタインデゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵小畠大太郎君 大河内子爵カラ唯今御話ガアリマシテ、三割以上收益ガアルト云フ御話デゴザイマスガ、大變ナ間違デアラウト私ハ思ヒマス、是ハ唯今特別委員會ニ掛ツテ居リマスル大湯鐵道及魚沼鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、之ニ依リマスルト云フト、此魚沼鐵道會社ト云フモノハ、官線ガ出來タ爲ニ收益ガ舉ラナイ、ソレデ營業廢止ノ申請ヲナシテ居ルノデアリマス、ソレガドウシテ三割以上ノ利益ガ舉ル御見込ガアリマセウカ、ソレヲ承リタイ、其調査ハ敷設法ノ特別委員會ニアツタコトト存ジマスカラ、念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○子爵大河内正敏君 此線ノ三割以上收益ガ舉ルト申シマシタノハ國有鐵道デアリマスカラ、國家トシテ三割以上ト私ハ申シタインデアリマス、此線ノ純益ガ三割ニナルノデハナイ、即チ此線カラ舉ル所ノ純益ト、其額ニ依テ其地方ノ物資ガ輸送セラレ、若クハ此近邊ノ人ノ受クル利益ヲ加算イタシマスト三割以上ニナルト云フ、是ハ鐵道省ノ調査デアリマス、此調査以上ノ材料ヲ有シマセヌカラ、短日ノ特別委員會ニ於テハ、此調査ヲ信ズルヨリ外ニ途ハナカツタノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、小畠男爵ノ委員ニ再付託スルト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、阪本彰之助君……阪本彰之助君ハ通告セラレマシタカラ御名ヲ呼ビマシタガ、議席ニ居ラレマセヌカラ已ムヲ得ナイコト考ヘマス、是ヨリ……

〔江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 江木翼君ハ……

○江木翼君 委員長ニ質問ヲ致シタインデアリマスガ、若シ質問ノ通告ガア

○江木翼君 左様デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○江木翼君 此際委員長ヨリ報告ニナリマシタル修正ニ付テ、委員會ノ趣旨ヲ承リタイト思ヒマス、固ヨリ委員會ニ於ケル委員ノ修正意見デゴザイマス

○江木翼君 此際委員長ヨリ報告ニナリマシタル修正ニ付テ、委員會ノ趣旨ヲ承リタイト思ヒマス、固ヨリ委員會ニ於ケル委員ノ修正意見デゴザイマスリ明確ナル御答ヲ得タイト思フノテアリマス、先ツ以テ伺ヒタイト思フ點ハ、第一條ノ修正デアリマス、「帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲政府ノ敷設スヘキ豫定」、「政府ノ敷設スヘキ豫定線路」ト云フ意味ハ、政府ガ敷設ヲスル義務ヲ負フ所ノ豫定線路ガ別表ノ通リデアル、斯ウ云フ意味合ニ取レルノデアリマスガ、左様ナ意味ト致シマスルト別表ニ掲グタル所ノ百四十九線ト云フモノハ、政府ニ於テ是ハ敷設スルノ義務ヲ負フ、此法律ガ通過シタ場合ニ於テハ政府ハ此法律ノ結果トシテ之ヲ敷設スルノ義務ヲ負フ、斯様ナ意味合デ御修正ニナツタノデゴザイマセウカ、此意味合ヲ明確ニシテ置キタイト思フノデアリマス

○伯爵林博太郎君 唯今第一條ニ付マシテ御質問ガアリマシタ、將來鐵道ヲ完成スル爲ニ政府ガ鐵道ヲ敷設スル際ニハ別表ニ依ルト云フコト、デアリマシテ、無論其際ニハ豫算ト共ニ帝國議會ノ協賛ヲ求ムルト云フ意味ニ於テノ義務ト云フ言葉デアリマシタナラバ、政府ハ其義務ヲ有シテ居ル、斯ウ云フ風ニ私ハ解釋シテ宜シカラウト考ヘマス

○江木翼君 唯今ノ御答ハ頗ル明確ニ私ニハ受取レナカツタノデアリマスルガ、此文字ヲ其意味ニ解シマスレバ、政府ノ敷設スベキ豫定線、スペキト云フ意味ノ敷設ノ義務ノアル豫定線、斯ウ云フ意味ニシカ解セラレナイ様ニ思フノデアリマス、ソレトモ、ソレ以外ノ意味ガアルノデゴザイマセウカ、此點ヲモウ少シ明確ニ致シタイ

○伯爵林博太郎君 江木君ニ御答致シマス、私ハ其外ニ意味ガアルト思ヒマス、帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲ニ、政府ガ敷設シ得ル豫定線路ハ次ノ別表ニ依ルト、敷設シ得ルト云フ意味ノ義務ニ依テ表ハレルコトト考ヘマス

○江木翼君 敷設スペキト云フ文字ヲ敷設シ得ルト、斯ウ解釋ヲナサルト云フ論理ト云フモノハ、私ハ如何ナル日本人ヲ擱ヘテ來テモ斯様ナ解釋ヲシ得ル人ハ無カラウト思フノデアリマス、併ナガラ委員長ガ正シク修正案ニハ左

様ナ意味デアルト云フ御話デゴザイマスレバ、斯様ニ解シテ宜シイノデゴザイマセウカ、即チ帝國ニ必要ナル鐵道ノ豫定線路ト云フモノハ別表ノ通りデアル、斯ウ云フ意味合ヲ茲ニ定メタモノデアル、斯ウ云フ御趣意ト解スレバ只今ノ御趣意ト云フモノガ稍明確デアラウカト思ヒマスガ、左様ナ意味デゴザイマセウカ

○伯爵林博太郎君 ドウゾモウ一應ハッキリ……

○江木翼君 是ヨリ明白ニスルコトハ甚ダムヅカシイト思ヒマスガ、私ノ聲ハ可ナリ大キナ聲デ申シテ居ル積リデ居リマス、即チ帝國ニ必要ナル鐵道ノ網ハ即チ豫定線ハ別表ノ通りデアル、斯ウ云フ意味ヲ第一條ニ定メル御趣意デアルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○伯爵林博太郎君 左様デアリマシテ、鐵道線路ハ次ノ通り定メルト云フコトニ決ツタノデアリマス

○江木翼君 左様ニ致シマスルト、帝國ニ必要ナル豫定線路網ナルモノハ別表ノ通りデアル、斯様ナ意味合デゴザイマスカ、尙ホ念ノ爲ニ……

○伯爵林博太郎君 左様デゴザイマス
○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ討論ヲ始メマス、平井晴二郎君

〔平井晴二郎君演壇ニ登ル〕

○平井晴二郎君 本員ハ只今問題トナッテ居ル此鐵道敷設法ニ反対スル一人デアルノデゴザイマス、其反対ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、主トシテ鐵道經濟ノ上カラ反対ヲ致スノデゴザイマス、只今政府ノ著手中ノ所謂鐵道ノ十年計畫ナルモノガゴザイマスガ、此十年計畫ナルモノハ、果シテ今既定ヲシテ居ル豫算ノ範圍ニ於テ、其工事ヲ完成スルヤ否ヤト考ヘテ見マスルト云フト、當局者モ亦是ハ不足ナリトシテ、先般當局者ノ提出イタシマシタル表ニ依リマスレバ、今後約三億圓ノ不足ガアルト云フコトノ見込ノヤウニ承リマシタ、本員等ガ見ル所ヲ以テスレバ、此計畫ヲ遂行スル上ニ於テ、ナカナカ三億ドコロデハナイ、ソレ以上ノ不足ガアルト見マスルガ、其上ニ尙ホ計畫ノ終ル時、即チ十八年度マデニハ此改良工事ノ追加ヲ要スルモノガ少ナクナイノデゴザイマス、是ノ爲ニモ亦數億圓、或ハ本員等ノ考ヘル所ヲ以テスレバ五六億圓以上ノモノヲ要スルト考ヘルノデゴザイマス、茲ニ此改良ト

云フコトニ付テ本員ガ一言申上ゲタイト思フノハ、先刻委員長ノ御報告ニ依テ承リマスルト云フト、此改良ト云フコトハ徒ニ既成ノ線路ヲ綺麗ニシ、若クハ完全ニシテ、要ナキモノヲ爲スカノ如キ疑ヲ持ツノデアリマスガ、本員等ノ主張ハ此改良ハ何デアルカト申シマスレバ、年々新線ガ建築サレテ、此新線ヨリ起ル所ノ運輸業ヲ既成ノ線路ニ於テ遺憾ナク圓滿ニ之ヲ輸送セムトスルニハ、今日ノ儘ノ現状ニ於テハ是ハ出來ヌ、デ年ヲ經ルニ從テ、ドウシテモ改良工事ヲ施シ、輸送力ヲ増サナケレバナラヌ、此輸送力ヲ増スト云フノガ、本員等ノ唱ヘル改良工事デアルノデゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、只今申述ベマシタ如ク、十年計畫ヲ遂行シ、又十八年度マニ要スル、改良工事ノ追加ニ數億ノ費用ヲ要スルトスレバ、此十年計畫ダケデ以テシテモ、本員等ノ考ヘル所ニ依レバ、十億以上ノ不足ヲ生ズルト考ヘルノデゴザイマス、此十億ト云フモノハ唯今政府ノ豫定シテ居ラレル年八千萬圓ノ公債ヲ募ル上ニ、ドウシテモ一箇年ニ一億五千萬圓内外ノ公債ヲ募ラナケレバナラヌト云フコトデアッテ、之ガ爲ニハ我國經濟界ノ影響ヲ受ケルコト少ナカラズト考ヘル、是モ大ニ考ヘナケレバナラヌ、假ニ是ハ經濟界ノ許ス範圍内ニ於テ募ルノデアルトスレバ、十年計畫ナルモノハ、又大分先キニ延バサナケレバナラヌト云フコトガ起リ得ルノデゴザイマス、デ其場合ニ於テ敷設スル年限ハ決メテ居ラヌケレドモガ、新ニ六千三百有餘哩、之ニ要スル費用ハ、政府豫定ニ依テモ十二億何ガシト云フ多大ノ費用ヲ要スルノデアリマセウ、デ今申上ゲタ如ク十年計畫ヲ遂行スル上ニ於テスラ、斯ク多額ノ費用ヲ要スル上ニ、尙ホ更ニ此十何億ト云フ新線ノ費用ヲ今日決メテ……決メルチャナニ、十何億ヲ要スル鐵道ノ計畫ヲ今日定メルト云フコトハ決シテ策ノ得タルモノデハナイ、本員等ハ今日ノ此鐵道經濟ノ上カラ考ヘマスレバ、一面ニハ商工業ノ發達ノ爲ニ、或ハ鐵道ノ運賃ヲ多少輕減スル必要ガアリハセヌカト思フガ、假ニソレガナシトスルモ、世界何レノ國モ今日鐵道ノ經濟ト云フコトニハ苦シニ居ルコトデアッテ、我々ハ今日幸ニソレ程惡ハ寧ロ此十年計畫ニ定メラレタル鐵道ノ位置ニ於テモ能ク審査シテ、或ハ數ナイカト、斯ウ考ヘルモノデアルカラ、唯今前ニ申上ゲマシタ如ク、此鐵道

敷設法ニハ全然反対ラスル者デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 大河内子爵

「子爵大河内正敏君演壇ニ登ル」

○子爵大河内正敏君 私ハ唯今ノ平井君ノ反対説ニ對シテ、本案ニ賛成ノ意見ヲ述ベルモノデアリマス、平井君ノ御説ハ簡單ニ申上ゲルナラバ、唯消極的ノ御説デアリマシテ、十年計畫スラ尙ホ多額ノ不足ヲ生ズルノデアルカラ、斯ノ如キ積極的計畫ハ延期スルガ宜シイト云フ御意見ニ歸スルノデアリマス、併ナガラ今日ノ日本ノ狀態ヲ能ク御熟慮ヲ願ヒタイノデアリマス、世界戰後ノ今日我國ノ執ルベキ大政策ハ何デアルカト言ヘバ、何人モ此產業政策、教育及ビ交通ノ此三大政策ニ對シテ、最モ努力シナケレバナラナイ時期デアリマス、殊ニ此交通ナルモノハ、申ス迄モナク產業發展ノ上ニ於テモ、又教育普及ノ上ニ於テモ、最モ意義ノアル、最モ必要ナルモノデアルト云フコトハ申ス迄モナインデアリマス、故ニ此三大政策ノ中ニ於テ交通政策ハ最モ又力ヲ入レナケレバナラナイ性質ノモノデアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ現在ノ日本ノ狀態ヲ見マスルト、大強國ノ一二列シテ居ルニ拘ラズ、鐵道線路ノ短イコトハ驚クベキ程度デアル、例ヘバ日本ノ人口一萬人ニ對シテ僅カ一哩半ノ鐵道スラ有シナインデアリマス、亞米利加ノ如キハドウデアリマセウカ、一萬人ニ對シテ二十餘哩鐵道ヲ持テ居ルノデアル、亞米利加ノ例ハ取ラヌデモ、伊太利ノ如キ三哩以上ノ鐵道ヲ持テ居ルノデアリマス、此狀況ヲ御考ヘニナルナラバ、我ミハ何ヨリモ先づ第一ニ鐵道ヲ敷設シ、津々浦々迄鐵道ヲ普及セシメルコトガ今日ノ急務デアルト考ヘナケレバナラナイノデアリマス、此鐵道敷設法ニ依テ新鐵道網ガ出來タトシマシテモ、僅カ日本ノ人口一萬人ニ對シテ三哩ナニガシノ程度ニシカ達シナインデアリマス、今日ノ伊太利ノ程度ニシカ達シナインデアリマス、要スルニ鐵道ノ收益ヲ主ニシテ敷設改良ヲヤツテ行カナケレバナラヌト云フ御議論ハ一面ニ於テ國有鐵道ノ根本義ニ於テ解釋ガ違フ點ガアルト思フノデアリマス、鐵道ヲ國有ニスベシトノ根本ノ本義ガドコカラ生ジテ來ルカ、大體ニ於テ是ハ二種類ニ區別スルコトガ出來ルノデアル、而モ其二種類ハ全ク極端ヲ代表シテ居ル所ノ二種類デアリテ、ソレガ偶然ニモ此鐵道政策ニ對シテハ相一致シテ居ルノデアリマス、鐵道ハ公益機關デアル、國民ガ何人モ是ハ自由ニ、而シテ平等ニ使用シナケレバナラナイ性質ノモノデアリマシテ、一地方ノ國民ノミガ鐵道ノ

利益ヲ受ケテ、山間僻地ノ國民ガ鐵道ノ利益ヲ受ケ得ナイト云フ理由ハ、ドコニアリマスカ、如何ニ考ヘテモ、日本國民デアル以上ハ、同一ノ鐵道利用權ヲ持テ居ルノデアル、此意義ニ於テ必ズ鐵道ハ總テノ地方迄出來ル限り普及セシメルト云フコトガ理想デナケレバナラナイ、而シテ國內ニ於テ一層輸送ノ必要ヲ生ズル場合、例ヘバ有事ノ日ノ如キ場合ニ於テドウシテモ是ハベル必要ハ更ニ無イノデアリマス、私有鐵道制度ノ最モ發達シタル、英吉利、亞米利加ノ狀態ヲ御覽ニナラバ、直グ分ル、世界戰爭ノ勃發スルニ當ツテ、英吉利ハ直チニ全國ノ鐵道ヲ政府ノ管理ニ移シテシマッタ、政府ノ管理ニ移サナケレバ兵員軍需品ノ輸送ハ無論ノコト、國民生活ノ必需品スラ輸送スルコトが完全ニ輸送スルコトガ出來ナカツタノデアリマス、亞米利加ノ如キモ一度私有鐵道ノ合同的管理方法ニ依テ管理ノ統一ヲ期シマシタケレドモ、是デ不十分デアッテ遂ニ國家ノ、國家自身ニ此管理ヲ收メタノデアリマス、此主義カラ云ヒマスナラバ、軍國主義ハ一人モ殘ラズ國有鐵道ニ贊成スルノデアル、例ヘバ獨逸ノ鐵道ヲ國有ニセラレタル根本ノ意義ハ軍國主義デアッタノデアル、併ナガラ面白イコトニハ軍國主義ニ對スル勞働黨ヤ社會黨ノ考ヘテ居ル事柄ハ、矢張軍國主義デアッタ鐵道ヲ國有ニスベシト云フ議論ニ歸著スルノデアリマス、既ニ亞米利加ノ勞働者ハ鐵道有ラ叫ンデ居ル、如何ナル理由ニ依ルノデアルカ、鐵道ハ多額ノ資本ヲ固定スル所ノ企業デアリマス、多額ノ金額ヲ集メナケレバ經營スルコトノ出來ナイ、一ツノ事業デアル、資本主義ノ弊害ノ現ハレルノハ其資本ノ金額ノ多寡ニ正比例シテ居ルノデアル、而シテ鐵道ハ又獨占的事業デアル、一ツノ地方カラ他ノ地方的鐵道ヲ敷いた場合ニハ其競爭線ヲ敷クコトヲ得ナイノデアル、即チ此事業ハ獨占的性質ヲ持テ居ルノデアリマス、獨占的性質ナルモノハ又資本主義ノ弊害ヲ惹起スル所ノ一ノ事業デアリマス、ソレ故ニ鐵道ハ必ズ國有ニシナケレバナラヌト云フノハ、既ニ勞働黨社會黨ナドノ唱フル所ノ議論デアリマス、我國ハ幸ニシテ鐵道國有ヲ斷行シテ居リマスル爲ニ、今日勞資間ノ爭議ガ盛ナラムトスル時ニ於テモ、此方面ニ於テハ既ニ先ニ施設ヲ施シテ居ツタノデアル、然ニ今日ニ至テ鐵道ノ幹線ノミヲ國有ニスベシ、地方鐵道ハ國有ニスベカラズト云フ議論ヲ聞クニ至テハ實ニ驚クベキ議論デアッテ、全ク時代錯誤デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、根本ノ主義トシテ鐵道ハ必ズ國有ニシナケレバナラ

ス、如何ナル地方ノ鐵道ト雖モ今後ハ之ヲ統一シタル機關ノ下ニ置キ、國ガ國有ニシナケレバナラヌト云フコトハ申ス迄モナイコト考ヘルノデアリマス、此意義カラ言ヒマスナラバ、私ハ今回提出セラレマシタル鐵道網ノ如キヲ矢張此統一シタル機關ニ於テ確定シテ置ク、豫メ其主義方針計畫ヲ確定シテ置クト云フコトガ、極メテ必要デアルト信ズルノデアリマス、經濟問題ヲ論ズル御方ミハ、此計畫ニ對シテ多少ノ疑義ヲ挾ンデ居ラレルノデアル、併ナガラ此御方ミト雖モ日本ニ於テ不幸ニシテ、私ハ不幸ニシテ申シタイ、地方鐵道ガ如何ニ延長シテ行クカト云フコトヲ御覽ニナルナラバ、決シテ鐵道ヲ延スト云フコトガ無謀ノ舉デナイト云フコトハ御分リニナラナケレバナラナイト思フノデアリマス、地方鐵道ノ延ビル其割合ヲ見ルナラバ、遺憾ナガラ國有鐵道ノ數倍ニ達シテ居ルノデアリマス、或時ノ如キハ其全哩ニ於テスラ、遙ニ國有鐵道以上ニナツテ居ル、例ヘバ大正四年ハドウデアッタカト云フト一年ニ延ビタ地方鐵道即チ私設線ハ二百九十一哩以上ニ達シテ居ルニ拘ラズ、國有鐵道ハ僅カニ六十一哩九シカ延ビテ居ラナイノデアル、斯ノ如キ相當ナ利益ヲ收メナケレバ敷設シナイト云フ私設鐵道デスラ、斯ノ如キ延長ヲシテ居ルニ拘ラズ、當然國家カ敷カナケレバナラヌ義務ヲ持ツテ居ルニ拘ラズ、斯ノ如キ僅カノ鐵道ノ延長哩ヲ示シタト云フコトハ、頗ル遺憾ニ堪ヘナイト思フノデアリマス、今後ト雖モ私ハ日本全體トシテ鐵道ノ延長シ得ル國力ハ十分ニアルト信ジテ差支ナイト思フノデアリマス、反對ノ論者ハ、佛蘭西ノ鐵道網計畫ノ失敗ヲ御引用ニナツタノデアル、「フレシネー」ノ佛蘭西ノ議院ニ鐵道網ノ計畫ヲ提出イタシマシタノハ千八百九十七年デアリマス、其當時ノ佛蘭西全國ニ敷カレテアッタ鐵道線路ノ延長ハドノ位デアッタカ今日ノ日本ノ鐵道ヨリモ遙ニ多カッタ、即チ一萬四千哩デアリマシタ、一萬四千哩ノ鐵道ヲ持ツテ居ルニ拘ラズ尙ホ足レリトセズシテ「フレシネー」ハ五千五百哩ノ鐵道網ノ計畫ヲ立ツテ議會ニ提出イタシマシタ、此計畫ノ失敗ナル點ハ豫算ガ不十分デアッタ點デアル、議會ニ要求シタ所ノ豫算ガ足リナカッタ爲ニ、所期ノ目的ヲ達セラレナカッタノデアリマス、併ナガラ「フレシネー」案ハ目的ヲ達セラレナカッタケレドモ、佛蘭西國內ニ敷カレタ所ノ鐵道ナルモノハ、驚クベキ盛ナル勢ヲ以テ敷カレタノデアリマス、其證據ニハ千八百八十年ニ一千四百五十九哩デアリマシタカ、少ナクトモ二萬四千哩以上ノ鐵道線路ヲ有萬四千三百哩ノ延長線ヲ持ツテ居タ所ノ佛蘭西鐵道ハ千九百五年ニハ二萬四

シテ二十五年間ニ七割二分ヲ増加シタノデアル、約七割二分ノ増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、此當時ノ佛蘭西ノ情況ハ「ドウデアッタカ、一千八百七十ノ戰爭ニ於ケル敗餘ノ佛蘭西デアリマス、一千八百七十年ニ普魯西ニ破ラレタ所ノ佛蘭西ハ如何ナルミジメノ狀態デアッタカ、「アルサス、ローレーン」ノ二州ハ奪ハレテ仕舞ヒ、頗ル多額ノ償金ヲ獨逸ニ拂ハナケレバナラヌ時代デアッタノデアル、此時ニ於テスラ、彼ハ二十五年間ニ於テ、「フレシネー」ノ計畫ガ破レタニ拘ラズ、斯ノ如キ長サヲ有スル鐵道ヲ敷設シ得タノデアル、今後ハ日本ノ國力ヲ考ヘテ、而モ其鐵道ハ今日世界ノ強國中ノ何分ノニシカ當ツテ居ラナイ日本ガ、今日ノ國力ヲ以テシテ、今後二十五年若シクハ三十年ノ間ニ六千三百四十九哩、百四十九線ノ鐵道網ヲ完成シ得ザル理由ガ何レニ在リヤ、若シ是スラモ出來ナイ位ノモノナラバ、是ハ日本ガ弱國ニシテ滅ビル運命ヲ持ツテ居ルト云フ位ニ考ヘテ差支ナイノデアリマス、尙ホ私ハ此敷設法ニ對シテ多々理由ヲ述ベタイト考ヘルノデアリマスルガ、茲ニ餘り長ク申スコトノ必要ハナイト考ヘマスカラ、之ヲ以テ本案賛成ノ理由トスルノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 此際休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午前十一時五十一分休憩

午後一時四十六分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ奏上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正九年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正九年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正九年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

借地借家調停法案修正報告書
貨幣法中改正法律案可決報告書

○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ中村君ニ發言ヲ許シマス

〔中村是公君演壇ニ登ル〕

○中村是公君 私ハ本案ニ反対ヲ致ス一人デアルノデアリマス、私ノ本案ニ反対ヲ致シマス理由ヲ述ブルニ先ダチマシテ、今朝本案ノ賛成者トシテ御演説ノアリマシタル大河内子爵ノ御論旨ニ對シテ、一言申述べテ見タイト思フノデアリマス、大河内子爵ハ鐵道ナルモノハ國民一般ガ公平平等ニ其利益ヲ受ケナケレバナラヌモノデアル、又資本ガ非常ニ多ク固定スル性質ノモノデアル、又從テ獨占的ノモノデアル、故ニ鐵道ナルモノハ國有タラザルベカラザル性質ヲ有スルモノデアル、又戰時ノ場合等ニ鑑ミテ見レバ、一層國有タルベキモノデアルト云フ性質ヲ明カニスルノデアル、現ニ歐洲大戰ノ際ニ於テ英米ノ私設鐵道ヲ國ガ管理シテ、戰時ノ運輸交通ヲ掌ッタ例ニ鑑ミテモ誠ニ明カナコトデアル、斯ウ云フヤウナ意味合ニ於テ鐵道ナルモノハ國ガ所有スベキヲ當然トルモノデアル、斯ウ國有ノ根據トナルベキ理由ヲ御示シニナルノデアル、而シテ其ノ國有ナルモノハ公平ニ平等ニ國民ガ之ヲ利用シナケレバナラヌモノデアルガ故ニ、津浦ニ至ルマデ如何ナル僅少ナ線ト雖モ總テ國有タラザルベカラズ、斯ウ云フ御論法ナノデアル、而シテ今回政府ノ提出ニナリマシタ六千有餘哩ノ線ヲ、我國ニ於テ敷設シ得ルヤ否ヤト云フ點ニ付マシテハ、我カ國力ハ之ヲ二十五年若クハ三十箇年ニ於テ完成スルニ於テ、決シテ之ニ堪ヘナイト云フコトハナイ、現ニ佛蘭西ガ普佛戰ノ後ヲ受ケテ「フレシネー」ノ案ニ基イタル計畫ヲ遂行シテ居ルデハナイカ、アノ佛蘭西ニシテ五千有餘哩ノ線路ヲ敷設スルノデアル、今日國運隆々タル我國ノ力ヲ以テシテ、何ゾ此位ノ線路ヲ敷設スルコトノ出來ナイ理由ハ何レニモナイ、カルガ故ニ宜シク本案ヲ可決シテ此線路ノ敷設ヲ圖ルベシ、斯ウ仰セニナルノガ大體大河内子爵ノ御論デアルト思フ、ソコデ私ハ大河内子爵ニ向ッテ申上ゲタイノハ、私モ國有論ニ反対ヲスルノデハナイノデアル、國有必シモ非ナリト云フ論者デハナイ、國有ハ宜シイ、併ナガラ此ノ國有ナルモノハ自カラ其範圍ヲ定メナケレバナラヌト云フノガ私ノ論旨デアルノデアル、何故カト申シマスレバ我ガ國有鐵道法ヲ見マシテモ、其第一條ニ「一般交通ノ用ニ供

スル鐵道ハ國ノ所有トス」、斯ウ掲グテ、其但書ニ於テ、「但シ一地方ノ交通ヲ目的トルモノハ此限ニ在ラス」、此條ハ何ト讀ムベキモノデアルカ、但書ニ於テ一地方ノ交通ノ用ニ供スルモノハ國有以外ニ省ク、此限ニ在ラズト明文ガアルノデアリマス、之ニ依テ自カラ我國ノ鐵道ノ國有ノ範圍ト云フモノハ限定サレラ居ルモノデアル、併ナガラ今朝大河内子爵モ申サレタノデアリマスガ、又政府ニ於テモ屢々申サレルノデアリマス、此但書ナルモノハ此限ニ在ラズト書イテアルケレドモ、此限ニ在ラズト讀ムノデハナイ、地方鐵道トナスコトヲ得ルト書イテアルノデアル、斯様ニ御讀ミニナルノデアル、サウ讀マナケレバ總テノモノヲ國有ニスルト云フ議論ハ出テ來ナイ、故ラニ總テヲニモ拘ラズ、之ヲ他ノ文字ニ言ヒ換ヘテ法文ヲ御讀ミニナルノデアル、即チ地方鐵道トナスコトヲ得ルト、斯ウ讀マウ、在ラズヲ得ルト讀マウト云フ、ベキモノデアルト云フ性質ヲ明カニスルノデアル、如何ニ政府ノ力ヲ以テシテモ書イテナイモノヲ故ラニ讀マウト云フコトハ、甚ダ私ハ不當ナルコトト思フノデアリマスガ、是ハ各見ル所ヲ異ニスルト云フコトデアリマシテ、已ムヲ得マセヌガ、私ハ斷ジテ此我國ノ鐵道ノ國有ノ範圍ト云フモノハ津浦ニ至ルマデ之ヲ我國ノ所有トルト云フ精神ノモノデナイト固ク信ズルノデアリマス、又大河内子爵ハ我國ニ於テ今日此隆々タル國運ヲ以テシテ、五千哩六千哩ノ線ヲ敷設スルコトノ出來ナイト云フコトハナイ、佛蘭西ガ普佛戰爭ノ後ヲ受ケテスラアレダケノ線路ヲ敷イタノデアル、而モ非常ナル線路ノ上ニ尙且ツ五千哩以上ヲ、財政不況ノ際ニ敷設シタノデアル、此例ニ鑑ミテモ我國ニ於テ今日此位ノ計畫ヲ立ツルト云フコトハ決シテ不當デナイ、斯様ニ仰セニナル、併ナガラ私ハ大河内子爵ニ伺ヒタノカ、其間ニ甚ダ疑ヲ持ツ、如何サマ一般會計ニ於テ、サウシテ此利益ノアルナシニ拘ラズ敷設スルト云フコトデアレバ、或ハ無理ヲ致シマスレバ出來ヌコトモナイカモ知レヌト思フノデアリマスルガ、今回ノ提案ナルモノハ特別會計ノ利益ノ範圍内ニ於テ敷設スルモノデアル、利益ノ範圍内ト申スコトハ私ノ意味ハ斯ウ云フコトデアル、鐵道ノ益金カ若ハ公債若クハ一時借入金ヲ以テ、改良若クハ建設ヲヤラナケレバナラヌト云フノガ、特別會計ノ規定デアリマスカラ、要スルニ益金デヤルト云フ結果ニナルノデアル、一時公債

ヲ借リマシテモ、此公債ノ元利ノ償却ハ必ヤ益金ヲ以テシナケレバナラヌ、一時ノ借入ヲ致シマシテモ、是ハ矢張元利ノ辨濟ハ益金デヤラナケレバナラヌノデアリマスカラ、一言ニシテ之ヲ申シマスレバ、縱令一時公債ヲ以テ支辨シ若クハ一時借入金ヲ以テ支辨イタシマシテモ、結局是ガ辨濟ハ益金ガシナケレバナラヌト云フコトデアレバ、益金ヲ以テ鐵道ノ改良建設ヲシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ歸著スルノデアル、果シテ鐵道ノ益金ヲ以テ此鐵道ノ改良建設ヲ致スモノト致シマスレバ、此今回ノ御提案ニナッテ居リマスル所ノ敷設法ニ掲グラレテアル六千有餘哩ノ鐵道ヲ、果シテ特別會計ガ脊負ヒ切レルカ否ヤト云フコトハ、先決問題トシテ考ヘナケレバナラヌノデアル、此收入ノ計算ヲ見ズシテ此法案ヲ可決セムトスルト云フコトハ、實ニ無謀モ甚シト言ハナケレバナラヌ、而シテ大河内子爵ハ一言モ此處ニ論及ハサレナインデアル、果シテ是ダケノ餘裕ガアル故ニ、是ダケノモノハ敷設シ得ルト云フコトニ付テハ、一言ノ言及サレタル所ハナイ即チ言葉ヲ換へテ言ヘバ鐵道ノ益金ガ如何程ニナツテ、ドウ會計ガ成リ行クノデアルカト云フコトヲ見ズシテ之ヲ敷カウト云フコトデアル、茲ニ於テ私ガ先程申上ゲマシタヤウナ疑ガ起ルノデアル、我ガ國力ニ於テ今日此位ノ線路ヲ敷クコトノ出來ナイト云フ理由ハナイ、佛蘭西ハコレデアルトスウ仰セニナル、此御言葉ヲ以テ見テモ我ガ帝國ガ、我ガ帝國ノ財力ヲ以テ架ヶルコトヲ御話ニナルノデハナイカト疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、此疑ノ起ルノハ已ムヲ得ナイコトデアラウ若シサウデナイト云フコトデアレバ、何故大河内子爵ハ特別會計ハ是ミノ益金ヲ持ッテ居ル、故ニ是ダケノモノヲ敷設シテヤル餘力ガアルノデアリマスカラ、或ハ此敷設法ニ掲グル線路ハ、大河内子爵ハ帝國一般ノ財政ノ上カラ敷設スルモノデアルト云フコトノ誤解ノ下ニ御論究ニナタノデハアルマイカト云フ、私ガ疑ヲ起ス所以デアリマス、若シサウデナイ致シマスレバ、大河内子爵ガサウデナイ、特別會計ノ益金ヲ以テヤルノデアルト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデアリマス、サウシテ佛蘭西ノ「フレシネー」ノ案ガ成功シタ、成功シタト申上ダレバ語弊ガアリマスガ、兎ニ角佛蘭西デハ是ダケノモノヲサウハ仰セニナラナカッタノデアリマスガ、兎ニ角佛蘭西デハ是ダケノモノヲ

ヤリ上ダタ、斯ウ云フ御話デアル、是ハヤリ上ダテアリマセウ、併ナガラ此「フレシネー」ガ普佛戰爭ナドノ後ニ立テタ鐵道敷設設計畫ナルモノハ如何ナルモノデアリマスカ、是ハ今回御提案ニナッタ敷設法ト實ニ其類ヲ同ジウシテ居ルモノノデアル、毫モ商業上ノ必要ニ基カヌ線路デアツタノデアリマス、又政黨ノ壓迫ニ依テ已ムヲ得ズ政府ガ提案シタモノデアル、ソレハ歴史家一般ニ唱ヘテ居ル所デアリマス、商業上ノ必要ノナイ所ニ線路ヲ架ケタノデアル、併ナガラ之ヲ提案スルノ理由ト云フモノハ、政治上ノ意味デアツテ、各地方ノ選出代議士ノ壓迫ニ依テ政府ガ已ムヲ得ズヤツタモノノデアルト云フコトハ、歴史家ノ一般ニ唱道スル所デアル、而シテ此案ヲ實行スベク政府ハ進ンダノデアル、二年有餘ノ歲月ヲ經ザル中ニ、其額ガ豫定シタ額ノ倍以上ニアラズソバ、成功ノ出來ナイト云フコトヲ見出シタノデアリマス、今回ノ提案ニナッテ居ルモノモ恐ラク之ト等シイデアラウト私ハ思フ、商業上ノ必要ノナイ、又政治上ノ壓迫ニ依テ提案ニナッテ居ルト云フコトモ同一デアラウト思フシ、尙ホ且ツ此案ヲ實行セムトスルニ當ッテ、恐ラクハ數年ヲ出デズシテ、倍以上ノ要求ヲセザレバ此敷設ト云フモノヲ全カラシメルコトハ得ナイモノデアルト云フコトヲ固ク信ズルノデアリマス、殆ド「フレシネー」ノ案ト同一ノ性質ヲ以テ同一ノ結果ヲ來ス可キモノデアルト思フノデアリマス、而シテ佛蘭西デハドウデスカ、豫定ノ倍以上モカカルモノニナツタノデアル、故ニ遂ニ是ハ非常ナル條件ヲ附ケテ民設會社ニ下渡シテ僅ニ敷設シタノデアル、併ナガラ今日佛蘭西ノ鐵道ノ狀態ハ如何デアリマセウ、「オーヴーコンストラクション」シテ、其爲ニ戰爭前デスラモ僅カ二三朱位ノ配當シテ居ツタガ、今日ハ缺損ニシテ居ル、佛蘭西ノ例ヲ倣ハヌトスレバ、吾輩ハ敢テ異議ハ言ハヌノデアリマス、特別會計ニ缺損ヲシテマデモヤルト云フコトデアレバ、大ニ異議ヲ申サナケレバナラヌノデアルガ、政府モ常ニ佛蘭西ノ「フレシネー」ノ案ヲ引用サレルノテアリマス、佛蘭西ノ鐵道ハ斯ウ云フ歴史ヲ持ツテ居ルノデアル、サウシテ今日佛蘭西ニ非常ナル累ヲ與ヘテ居ルノデアル、甚ダ私ハ之ヲ例トシテ之ニ倣ハムトスルノ愚ヲ深ク感ズルノデアリマス、又大河内君ハ人口ニ比例シテモ我國ニ於テハマダ澤山ノ線路ヲ必要トスル、外國ノ人口比例ノ哩シテ見テモ遠ク及バヌノデアル、我國ハ今僅ニ伊太利ニ近イノデアル、斯ウ言ハレル、又政府モ常ニサウ言ハレルノデアルガ、政府ハ又人口ニ比較シテ哩ガ足ラヌト云フコトヲ常ニ言ハレルノデアリマス、私ハ人口ニ比較シテ哩ガ

足ラヌノデアル、若クハ面積ニ比較シテ足ラヌノデアル、何タル是ハ事デアラウカ、沙漠ノ中ノ人口ガ餘リナイ場合ノ面積ニ比較シタラドウナル、又都會ノヤウナ大ナル人口ノ在ル處ノ人口ニ比較シテ線路ヲ敷クトシタラドウスル、線路ノ敷設ト云フコトハ人口ヤ面積ニ比例シテ勘定スペキモノデ無イト私ハ思ヒマスルノデアリマス、天然ノ資源ヲ見テ若クハ産業ノ状態、商工業ノ状態ニ依テ、線路ノ高ヲ見ナケレバナラスノデアル、又地形モ大ニ論ジナケレバナラス、我國ノ如ク山ノ多イ處ニ於テ、面積ニ比例シ又資源ノ無イ處面積ニ比例スル、何タルタワゴトデアリマセウ、政府當局タルモノニシテ此言ヲ發セラルコトハ、私ハ實ニ異様ニ感ズルノデアリマス、况ヤ大河内子爵ノ如キニ於テ人口ニ比例シテノ論ヲサレルト云フコトハ驚ク外ナインオデアリマス、到底大河内君ノ御述ベニナル御論旨ニ對シテ、私ハ御同意ハ出來ナイ理由ハ此ノ如キ次第デアル、續キマシテ私ガ本案ヲ否決シナケレバナラヌト思ヒマスル理由ニ付テ、以下ニ申述ベタイト思フノデアル、私ハ本案ノ非ナリトスル理由ガ三ツアル思フ、第一本案ハ法律ノ規定カラ見テ何等ノ意味ヲナシテ居ナイ、何等ノ利益ノ無イコト思フ、是ガ第一ノ私ガ反対スル理由デアル、第二ニハ斯ウ云フ計畫ヲ御立テニナツテモ、此計畫ハ果シテ遂行ガ出來ルモノデアルカ否ヤト申上ゲレバ、決シテ出來ナイコトデアル、不可能ノ法案ダ、實行不可能ノ法案デアルト私ハ考ヘルノデアル、又第三ニハ此法案ハ實行スル程ノ價值ノ無イモノデアル、言ヲ換ヘテ申シマスレバ、斯ウ云フ鐵道ハ敷ク直打ノ無イモノデアル、斯ウ云フ三點ニ大別スレバ私ノ反對論ハ歸著スルノデアリマス、之ニ付テ少シク詳細ニ私ノ論旨ヲ敷衍シテ見タイ、即チ出來ナイモノデアルト云フコトヲ申上ゲマスレバ、今朝大河内子爵ガ何ゾ我國デ是位ナコトガ出來ナイト云フコトガ言ヘルカト云フ、御賛成ノ御理由モ自カラ消滅スルコトニナルデアラウト思フノデアリマス、今朝平井君カラ此ノ本案反対ノ理由ヲ御述ベニナツタノデアリマスガ、其時ノ御話ニ唯今十年計畫ナルモノガアルノデアリマス、其十年計畫ナルモノハ改良建設合セマシテ、約十五億圓ノ計畫デアル、是ハ大正九年度ヨリ十八年マデニヤラナケレバナラヌ事業ナノデアリマス、即チ大正九年度ニ於テ定メラレタル計畫デアリマス、之ヲ十年計畫ト申シマス、約十五億圓唯今ハ十五億圓ニナッケ居ルガ、初メハ十四億圓デアツタ、ソレデ以下私ハ之ヲ十年計畫ト申シマスカラ左様ニ御記憶ヲ願ヒタイノデアリマス、此十年計畫ヲ立テマシタ時分ニ

如何ニシテ十四億圓ノ金ノ調達ガ出來ルオト云フ計畫ガ出來テ居ツタノデアル、是カラ御話ヲシナケレバモノハ分ラナイ、即チ益金ガドウ云フ鹽梅ニナツケレバナラスモノデアル、或計畫ヲスレバ此計畫ヲ遂行シテ行ク上ノ順序ガ立ツテ居ナケレバナラス、其益金推定表ナルモノガアル、之ヲ申上ゲレバ、直グニ明瞭スルデアラウト思フ、其益金推定表ニ依リマスト、大正九年ノ收入ヲ先づ如何ニ立テタカト云フコトヲ申上ゲル、大正九年度收入ト云フモノハ、大正八年度ノ豫算ヨリハ大キイモノガ基礎ニナツテ居ル、而シテ十年十一年度ヨリ十八年ニ至ルマデ……大正八年度ヨリ大キイ數字ノ上ニ毎年二千二百萬圓ヅツ加ヘテ、之ヲ鐵道ノ收入ト見タノデアリマス、大正八年ニアルモノヨリハ少シ大キイモノヲ土臺ニシテ、之ニ二千二百萬圓ヅツ加ヘテ行ッタモノガ、九年度ヨリ十八年度ニ至ルマデ毎年ノ收入ニシテ行キマス、大正八年度ト云フモノハ如何ナル年デアッタカ、歐洲大戰ノ影響ヲ受ケテ、財界ノ最モ繁昌シタ極端デアル、之ヲ抑ヘテ九年以降十年ニ瓦ル長イ期間ノ將來ヲ推ス元ニシタノデアル、之ガ抑、私ハ間違デアルト其當時モ申上ゲタノデアル、今モル理由デアルト思ツテ居ルノデアル、是ガ九年ノ一年トカ或ハ十年トカ此一二箇年位デナイ、之デ行カウト云フ考ヲ起セレタト云フコトニ於テハ、或ハ無理カラヌコトカモ知リマセヌガ、八年ノ景氣ガ今後十年モ續カウト云フコトヲ間違デアルト思ツテ居ルノデアル、是ガ九年ノ一年トカ或ハ十年トカ此一二箇年位デナイ、之デ行カウト云フ考ヲ起セレタト云フコトニ於テハ、或ハ無理カラヌコトカモ知リマセヌガ、八年ノ景氣ガ今後十年モ續カウト云フコトヲ考ヘタト云フコトハ、殆ド是ハ何人ニモ出來ナイコトデアル、殊更ニ考ヘナケレバ考ヘラレナイ、三歳ノ童兒ト雖モ斯様ナコトハ考ヘル人ハナカラウト思フ、然ニ當局ハサウ云フコトヲ考ヘタ、何故ニ考ヘタカト云フト、考ヘナケレバナラヌ理由ガアル、ソレハ何デアルカト言ヘバ九年度ニ九百六十六哩ト云フ線路ヲ是ニ追加シタノデアル、是ハ其當時ヤカマシカッタ本線五本輕便線二十一本、此九年ニ加ツタノデアル、之ヲヤルベキ計算ヲ推ヘルノニハ、ドケレバナラヌ理由ガアル、ソレハ何デアルカト言ヘバ九年度ニ九百六十六哩ウシテモノ收入ヲ多クシナケレバ此計算ガ出テ來ナイノデアル、カルガ故ニ常識ヲ以テ考ヘルコトノ出來ナイ大正八年ヲ將來十箇年ズット續クモノデアルト云フコト、尙且其上ニ二千二百萬圓增加スルモノデアルト云フ計畫ノ下ニ出發シテ居リマス、是ガ實際大間違デアル、カルガ故ニ私ハ其當時此計畫ヲ御立テニナレバ、少ナクモ年々二三千萬圓ノ不足ヲ來スガ如何ナサル、斯様ニ申上ゲタノデアリマス、而シテ如何デアリマセウ、是ガ臨時議會ヲ通過スルヤ否ヤ、突如トシテ政府ハ運賃ノ値上ゲラシタノデアル、値上ゲラシナケ

レバ此計畫ガ維持ガ出來ナイカラ値上ゲヲシタ、サウシテ年々三千五百萬圓ノ增收ヲ計ッタ、而シテ僅カ九年十年ヲ凌イデ來タノデアリマス、是ハ實際デアル、行ク譯ハナイ、八年ノ景氣ヲ抑ヘテ將來ノ十年ヲ推スナゾト云フコトハ、常識デ考フルコトノ出來ナイノデアリマス、之ヲ考ヘタ、普通デ考フベカラザルコトヲ考ヘタ、是ハサウ行カナケレバナラヌ必要ガアツタ、ソレハ本線五本輕便鐵道二十一線路、哩ニシテ九百六十哩ト云フ線路ヲヤラウト云フカラ、斯ウ云フ拵ヘ事ヲシナケレバナラヌヤウニナツタ、病ハ既ニ此時ニアル、サウシテ二千二百萬圓ト云フ年々ノ增收ハ又ドウ云フキノデアルカ、此二千二百萬圓ト云フモノハ既往ノ統計ニ徵シマスルト云フト、明治四十二年ヨリ大正八年マデノ收入ヲ十一デ割リマスト云フト、二千二百萬圓ニナル、詰リ簡單ニ申上ゲマスレバ、大正八年ノ收入カラ明治四十二年ノ收入ヲ引イテソレヲ年數デ割ッテ毎年ノ平均ヲ出シタモノガ二千二百萬圓、此中ニ二千二百万圓ノ増方モ大キイノデアル、何故カト申シマスレバ、大正八年ノ中ニハ戰爭ノ好景氣ヲ……影響ヲ受ケテ居ル、五年六年七年八年、斯ウ云フ厖大ナモノガ四箇年分這入ツテ居ル、此特別ナル事情ヲ考慮セズシテ、平均ニ割ッテ二千二百萬圓ツツノ増加ヲ見込ンダノデアル、是ガ厖大ニ非ズト云フコトガ出來マセウカ、何人ト雖モ將來ノ經濟界ノ安定ヲシタ時ノ平均ニ、斯ウ云フモノヲ求メルト云フコトハ出來ナイト思フ、皆サンモ御承知下サルコトデアラウト思フ、ソレデサウ云フ大キナモノヲ加ヘテ財源ヲ拵ヘタノデアリマス、斯ウ云フノデ、果セルカナ大正九年大正十年大正十一年ノ豫算ヲ試ニ開ケテ御覽ニナレバ直グニ分ル、大正九年十年ノ比較增減ハドウナツテ居ル、大正十年ニハ三千五百萬圓ノ運賃ノ増加ガ這入ツテ居リマスカラ、九年ト十年ニハ、豫算ヲ擴ケレバ二千三百萬圓ノ増加ニナリマスケレドモ、此運賃ヲ退ケテ勘定スレバ、九年ト十年ノ豫算ノ差ト云フモノハ増ニナラズ減ニナツテ居ル、千百萬圓ダケノ増ニナツテ居ルノデアル、九年ト十年ハ千百萬圓ノ減デアル、十年ト十一年ハ僅ニ五百萬圓ノ増デアルノデアル、是ハ豫算ガ證明シテ居ルノデアル、爭フヲ得ナイ事實デアリマス、然ニ財源ヲ考ヘタトキニハ二千二百萬圓ツツ増スト考ヘタ、ソレガ今申上グルヤウニ、實際政府ノ組ンダ豫算ガ千百萬圓、十年度ハ九年度ヨリハ減デアル、十一年度ハ僅ニ十年度ヨリハ五

百萬圓ノ増デアル、斯ウ云フ狀態、茲ニ於テ十年計畫ノ財源ノ推定表ノ誤ッテ居ルト云フコトハ、私ガ色ミノ證明ヲ申上ゲナイデモ豫算ヲ見レバ、即チ豫算ガ證明シテ吳レルノデアル、斯ノ如キ狀態デアリマスカラシテ、將來政府ガ豫定シタ如キ收入ガ上リ得ルカト云フコトハ、ドコカラモ考ヘル餘地ハナインデアル、又政府ガ歲出ハ如何ニ十年計畫デ見テ居ルヤト言ヘバ、今申上年々ノ收入ノ七割ト云フモノハ、營業費ニ要ル、ダカラ此七割ヲ引イタモノガ益金ニナル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、而シテ此七割ナルモノハ適當デアルカ否ヤト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、是モ矢張臨時議會ノ豫算總會ニ於キマシテ、私ハ七割デハ將來イカヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレハ何故カト申シマスルト云フト、從來ノ例ヲ見マシテモ六割五分若クハ七割位ノモアル、或ハ五割位ノモ無論アリマス、是ハ物價ノ極ク安イ時ニ於テサウ云フノガアル、戰時中ハ六割五分若クハ七割位ノモ、九年度八年度ニアルト記憶イタシテ居リマスガ、大體ノ上ニ於テ見マシテモ、今日ノ輸送狀態ハ如何デアルカ、實ニ窮屈ナ狀態ニナツテ居ルノデアル、產業若クハ商業上要求シ得ベキ程度ノモノデナイ、輸送狀態ハモウ少シ緩カニセンケレバナラヌ、緩和シナケレバナラヌ、之ニ要スル費用モ私ハ將來多大ナモノデアラウト思フ、又鐵道從事員ノ勞働時間ト云フモノモ八時間ニ下グスマデモ、今後多少ノ時間ノ減縮ヲシナケレバナラヌノデアル、又今ノ益金推定表ニ見テモ、利息ノ計算ノ如キモノモ額面「パー」ニシテ五分ノ計算ニナツテ利息ガ出テ居ル、是等ガ大變ナ間違デアル、是等モ今後又借換ニ近ツイテ居ルモノモ幾ラモアル、斯ウ云フモノヲ計算シテモ利息ガ年々一千萬圓ソコラノモノハ直キ出ル、其他社會ノ進歩ニ伴ヒマシテ又交通ガ世界的ニナル、從テ設備ト云フモノモ完備シナケレバナラヌ、經費ハ減ルト云フコトハ決シテ無イ、世ノ中ガ進ムニ從ツテ段々經費ト云フモノハ增加シナケレバナラヌト云フコトハ是一般ノ原則デアラウト思フ、又今日世界ノ何レノ國ニ於テモ經費ガ段々高マツテ行クト云フノデ非常ニ苦シンデ居ル、是ハ一般ノ狀態デアルノデアリマス、デアリマスルカラ從來ノ經驗ヨリモ將來ノコトヲ考ヘレバ、多少ノ餘裕ヲ見テ見積ルト云フコトガ計畫者トシテハ甚ダ深切ナ私ハヤリ方デアラウト

ニ申上ゲタト同ジコトデ、歳入ハ大キクシ經費ハ少ナクシナケレバ益金ハ大キクナテナイ、サウ云フ風ノ爲メニ、私ハ斯ウ云フ算法デ立テラレタモノト推定ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フ次第ゴザリマスカラシテ、經費モ段々不足ヲシテ來ナケレバナラヌ、歳入ハ先程申上ゲタヤウニ段々豫定通リニ取レナクナッテ來ル、手モ足モ出ナクナルト云フコトガ結論ニナル、モウ一ツ茲ニ大ナル經費ヲ要スルコトガアルノハ、十年計畫デ此改良計畫ガ十分デアルヤ否ヤト云フ問題デアリマス、是ハ詳シク申上ゲタレバ際限モナイコトデアリマスカラ、時間ヲ省略スル爲メニ詳細ニ申述ベマセヌケレドモ、何人ガ見テモ唯今ノ改良計畫デハ不足デアル、斯ウ申スノデアリマス、或議員ノ如キハ最少限五萬圓ヲ追加シナケレバナラヌト言ツテ居ル人モアル、私共ハ五萬圓ダケデハ不足ダト思ツテ居ル、自分ハ少ナクトモ十萬圓以上ノ金ヲ掛ケナケレバ日本今日ノ鐵道トシテハ満足スルコトハ出來ナイモノト思フ、試ニ考ヘテ御覽ナサイマシ、大阪ノ停車場ニシテモ然リ、神戸ニシテモ、名古屋ニシテモ、大ナル停車場ハ是デ決シテ濟マナイ、此停車場ヲ經濟界ノ要求ノ如クニシテ、ソレニハ到底今マデノ一億三千萬圓ノ停車場ノ改良費デハ出來ナイ、是ダケ何ナル御感ジガアルデアリマセウカ、日本全國甚ダ御恥カシイ話ダガ、貿易港トシテ鐵道ノ設備ノ見ルベキモノガ一ツモナイ、之ヲ致シマスルノニモ何億ト云フ金ノ追加ヲ要スルノデアル、其他舉ゲテ參リマスレバ數限リモナインデアル、大ナルモノヲ申述ベテモ斯ウ云フ所ニ多大ノ追加ヲシナケレバ、日本ノ今日ノ狀態ニ適スル鐵道ニハナラナイノデアル、先程申上ゲマシタヤウニ、歲入歳出ニ於テ既ニ不足ガアル、其上ニ改良計畫費ト云フモノニ多大ノ金ヲ要スルコトニナッテ居ルノデアル、ドウシテ十年計畫ガ出來ルノデアルカ、殆ド此十年計畫ト云フモノハ夢ヲ語ルニ等シイ、空想ニ等シイモノノデアルト言ハナケレバナラヌト思フ、カルガ故ニ十年度豫算ヲ第六分科ニ於テ議セラル、ニ方リマシテ、六分科ニ於テドウ云フ光景デアツタノデアルカ、建設費モ此儘デヤイカヌ、改良費モ此儘デヤイカヌ、政府ニ於テハ速カニ適切ノ計畫ニ立テ直シラ希望シタイ、斯ウ云フ希望ヲ致シテ僅ニ十年ノ豫算案ト云フモノハ通過シタノデアル、「カンフル」注射ガアッテ初メテ此十年ノ豫算ガ通過シタ、満足ニ通過シタモノヂヤナイ、サウシテソレハ豫算總會ニ於テモ、又本議場ニ於テモ御認メニナッテ居ルノデアル、而シテ政府ハサウ云フ狀態デ

アルニモ拘ラズ今回ハ此六千餘哩ノ線路ヲ提ゲテ、茲ニ御臨ミニナノタノデアル、カルガ故ニ我ニ共ハ、此今回御提出ニナッタ案ニ對シマシテハ、如何ナル御成案ガアッテ斯ウ云フモノヲ御出シニナッタンデアルカト云フコトヲ聽カナケレバナラヌ立場ニ立到ツタノデアリマス、カルガ故ニ屢々政府ニ向ツテ收支ノ計算ヲ御出シニナルベク要求シテ、サウシテ屢々拒絶セラレタ、將來ニ瓦ルモノハ見セラレナイ、想像ダカラ出來ナイ、屢々要求シテ屢々斷ハラレタ、甚ダ難局ニ陷ツタノデアリマスルガ、遂ニ或特別委員ノ御要求ニ對シテ、或二三ノ方ノ御贊成ガアッテ、僅ニ會期間近ニナッテ收支ノ計算ナルモノヲ御提案ニナッタノデアリマス、此收支ノ計算ヲ見マスルト云フト、十年計畫創立ノ當時御提案ニナッタ益金ノ推定表ヨリハ以上ニ亂暴ナンダ、以上ニ計數ハ拵ヘテアルト私ハ思フノデアル、試ニ之ヲ申上ゲテ見タイノデアリマス、此度御提出ニナリマシタ十年計畫ノ將來ニ對スル益金ノ推定ナルモノハ、如何ナル基礎ニ出来テ居ルカ、收入ハ七分五厘ヅ、年々「ジオメトリカル」、プログレッション」デ進ンデ行クコトニナッテ居ルノデアリマス、九年ニ出來タ收入ハ先程申上ゲタヤウニ二千二百萬圓ヅ、「アリスマチカル」、プログレッション」デ進ンデ居ルノデアル、年々同シ金額デ増加シテ居ル、此度ノハ七分五厘ヅ、累進シテデ進ンデ行クコトニナッテ居ルノデアリマス、九年ニ出來タ收入ハ先程申上ゲ行クノデアル、「ジオメトリカル」ニ進ンデ行ケバ十年スレバ倍ニナルノデアル、計算ノ基礎ニ於テ既ニ前年定メタモノト非常ナル差異デ計算ノ方法ヲ換ヘテ居ル、是ハ如何ナル理由ニ依リ斯様ニ多大ナル増進ノ方法ヲ立テタノカ、是カ私ノ疑ノ一ツニ屬スル、殖ヤサナケレバナラナイ理由ガアル故ニ斯ウヤッタニ違ヒナイト思フ、又七分五厘ナルモノハ始ニ立テラレタ二千二百萬圓ヨリハ歩合ガ非常ニ大キイノデアル、二千二百萬圓ノ、先程申上ゲタ年々ノ増加ノ歩合ト云フモノハ、之ヲ歩合ニ直スト五分ニナル、五分ノ増シニナルノデアリマス、サウシテ先程モ申述ベタヤウニ年々五分サヘモ増シテ行カナイモノガ、既ニ申述ベタ通リニ九年十年ノ豫算、十年十一年ノ豫算ヲ比較シテ、十年ハ九年ヨリ千百萬圓足ラナイノデアル、十一年ハ十年ヨリ二千二百萬圓ニサヘ行カナイ、此二千二百萬圓ハ五分ニシキヤ當ツテ居ラナイ、ソレガ今度ハ七分五厘ヅ「ジオメトリカル」ニ増シテ行クコトニナッテ居ル、事實行カナモノガ、既ニ申述ベタ通リニ九年十年ノ豫算、十年十一年ノ豫算ヲ比較シテ、十年ハ九年ヨリ千百萬圓足ラナイノデアル、十一年ハ十年ヨリ二千二百萬圓ノデアリマセウ、政府ニ伺ヒマスレバ、明治四十二年ヨリ大正六年迄ノ増加盾デアリマセウ、政府ニ伺ヒマスレバ、明治四十二年ヨリ大正六年迄ノ増加

イカラ、之ヲ減ジテ、七分五厘ト見タノダ、斯ウ云フノデアル、甚ダ簡単デアル、偶々斯ウ云フ數字ガ出テ、ウマイ所ヲ捉ラヘラレタノデアリマスガ、明治四十二年カラ大正六年迄ノ平均ノ歩合ヲ見ルト云フコトハ、是レ又間違デアル、大正六年迄ノ中ニハ大正五年ハ戰爭ノ結果トシラ約二割ノ歩合ニナツテ居ル、前年ノ増加ガ……大正六年ハ前年ニ比シマシテ三割増加ニナツテ居ル、二割三割ト云フ多大ナ增加歩合ガ大正六年迄ニハ這入ツテ居ル、此大ナル歩合ヲ理由トシテ一割六分ガ出來ル、此歩合カラ七分五厘ト云フモノヲ推定シタスト斯ウ云フノデアル、所ガ五年六年ノ戰爭ノ影響ヲ受ケタニ二割三割ヲ差引キマスト、既往ノ增進歩合ハ五分ニシカナラナイ、此五分デ以テ行ッテモ大キイ所ヘ以テ行ツテ七分五厘、而モ「ジオメトリカル」ニ増シテ行カウト云フノデアリマスカラ、是ガドウモ普通ノ事業ヲ計畫スル人ノ計算トハ私ニハ取レナイ、深切ナル事業經營者ノ計畫ナリト云フコトヲ私ハ考ヘ得ナイノデアリマス、誠ニ或目的ノ爲ニ計數ヲ舉ゲタトシカ私ニハ取レナイノデアル、云フノデアリマスカラ、是ガドウモ普通ノ事業經營者ト云フコトハ出來ナイ、如ハ取レナイ、深切ナル事業經營者ノ計畫ナリト云フコトヲ私ハ考ヘ得ナイノデアル、誠ニ或目的ノ爲ニ計數ヲ舉ゲタトシカ私ニハ取レナイノデアル、甚ダ遺憾ナコトデアルノデアリマス、又歲出ハ今度ハドウ云フ風ニ見テアルカトスウ申セバ、前ノ益金ノ推定ハ收入ニ對シテ七割ガ營業費トナルト、斯ウ見テ居ル、今度ノハ五割八分五厘、收入ニ對シテノ五割八分五厘ガ營業費ニナツテ居ル、前ニ考ヘラレタ割合ヨリハ營業費ヲ少ナク見タノデアル、何故ニ政府ハ五割八分五厘ヲ營業費ト見タカト云ヘバ、其理由ハ極ク簡單ナノデアル、十一年度ノ豫算ガ、丁度收入ニ對スル營業費ノ割合ガ五割八分五厘デアルノデアリマス、十一年度ノ豫算ガ斯ウナツカラ、是デ將來行クモノダト思ッタカラスウシタノダ、斯ウ云フ説明ナンダ、十一年度ノ營業費ガ收入ニ對シテ五割八分五厘ニナツテ居ルコトハ是ハ事實ダ、是ハ私モ認メルノデアリムスガ、何故ニ斯ウ云フ風ニ歩合ガ下ッタカト云ヘバ、石炭ガ千七百萬圓汽車費ニ於テ下ッテ居ル、是ハ石炭ノ値段ガ下ッタ爲デアリマス、石炭ノ下ッタノハドウ云フ譯カ、是ハ諸君モ御存ジノ通り、昨年上半期ノ石炭業者ノ決算ヲ見マスルト云フト、石炭業者ノ四分ノ三ハ總テ缺損ニナツテ居ルノデアリマス、四分ノ三ノ石炭業者ト云フモノハ損ヲシテ居ル、是ハ原因モ多々アリマセウ、運賃增加モ與カツテ力ガアル、其一ノ理由ヲ爲シテ居ル、此四分ノ三ノ損ヲシテ居ル炭坑業者ガ此儘ズツ行キマスモノデアリマスカ否ヤ、現ニ石炭ハ今少シヅツ騰貴ノ景況ヲ呈シテ居ル、又炭業者ニ聞イテ見テモ、將來此儘デハイカヌ、少シヅツハ芽ハ吹イテ來テ我ミモ儲カル時期ガ來ル、斯様ニ申シテ居

ルノデアル、今日石炭ノ下ッテ居ル、其一時ノ現象ヲ控ヘテ將來十年ニ瓦ル計畫ヲ立テルト云フコトモ甚ダドウモ私ハ深切ナル、誠意ノアル事業者トシテ企ツベキコトデナイト思フ、甚ダ危險ナ取り方デアルト考ヘルノデアリマス、而モ唯今五割八分五厘ト云フモノハ如何デアルカト云フト、豫算ナンデアル、實行シテ見タモノヂヤナイ、十一年度皆サンノ御手許ニ出テ居ル其豫算ノ歩合ヲ捉ヘテ將來ヲ推サウト思フノデアリマス、甚ダ無法ナモノデアラウト思フ、實驗ヲシタモノデナイ、總テ是マデノ計畫ト云フモノハ既往ノ實蹟ニ考ヘテ、或增收ノ歩合ヲ見ル、或增收ノ金額ヲ見ル、斯様ナコトト思フノデアル、然ニ今日出シタ其豫算ノ營業費ガ、偶々自分ノ希望スル所ノ五割八分五厘デアル、故ニ之ヲ直グ捉ヘテ將來ノ營業費ノ割合ノ基礎ニシヤウト斯ウ云フ、實ニドウモ私ハ深切ナル、誠意ノアル事業經營者ト云フコトハ、私ハ宜シト思フ、併ナガラ節約ニハ程度ノアルモノデアル、今一般ノ鐵道ガ總テ苦ンデ居ルノハ、經費ノ増加ニ苦ンデ居ルノデアル、斯ウ云フコトカラ觀察イタシマスレバ、將來ノ經費ヲ餘り過少ニ見テ置クト云フコトハ、誤ヲ來ス基デアルト思ハナケレバナラヌ、現ニ大正八年ノ會計検査院ノ報告ヲ見マスルト、如何ナル狀態デアリマスルカ、連帶輸送ノ金ヲ他ノ會社ニ支拂ハズニ、八年度ノ決算デハ收入ノマ、ニシテアル、決算ヲシナイ、サウシテ收入ガ殖エル形ニナツテ居ル、サウシテ營業費ノ方ハドウカト云フト、補充費ダカ、保存費ダカデアリマスカ、營業費デ支辨シナケレバナラヌモノハ、資本勘定ノ改良費ニ移シテアル、而モ八年度ハ營業費デ出テ居ル、其仕事ノ續キヲ本年度デハ改良費ヘ移シテアル、サウシテ營業費ヲ少ナク見テ、益金ヲ多クナル方法ヲ執ツテアル、而モ八年度ノ改良費ハ八年度デ決算ガ出來ナカツタト云フ、會計検査院ノ事實ノ報告ガアルノダ、是ハ既ニ非常ナ無理ガ方々ニシテアル結果ハ茲ニ來ルノデアル、而モ大正八年ト云ヘバ盛大ヲ極メタ經濟狀態デアル、收入モ十分アツタ年デアル、隨テ歲出モ多クアツタ年デアル、其狀態ニ拘ラズ斯様ナコトガ、會計検査院ノ報告デ見ルト云フコトハ、私ハ非常ニ悲ムノデアル、八年ニシテ既ニ然リ、九年、十年ニ至テハ如何ナル狀態デアルカト云フコトヲ、私ハ窮ニ憂慮スルノデアリマス、又憂慮セザルヲ得ナイ、経費ノ節約モ誠ニ結構デアル、結構デアリマスケレドモ、自カラ程度ノアルモノデアル、無暗ニ人ヲ減ジタリ、無暗ニ保存費ヲ減ジタリ、補充費ヲ減ジタ

リ、斯様ナコトハスベキモノデナイ、適當ナ程度ニ止メナケレバナラヌモノ
デアルト思フノデアリマス、斯様ニシテ考ヘマスレバ、此五割八分五厘デ歲
出ガ將來濟ムト云フヤウナ計算ハ、甚ダ危險千萬ナコトト私ハ考ヘルノデア
リマス、又此今度改訂ニナツタ財源ノ中ニ甚ダ當ヲ得ナイモノガアル、公債ノ
募集八千万圓ト云フモノハ、「バー」デ募レル計算ニナツテ居ル、斯ウ云フコト
ハモウ三歳ノ兒童デモ「バー」デハ這入ラナイコトハ明カデアル、是ガ「バー」
デ收入ニナルト云フヤウナ計算デ財源ガ締切ッテアル、有ラユル點デ少シデモ
金ガ殖エルヤウニ、殖エルヤウニト立テ、アル、斯ウヤレバ何程デモ金ハ殖
エルヤウニ出來ルノデアル、常識ヲ以テ出來ナイコトマデモヤッテ金ヲ殖ヤサ
ウトスルノデアル、常識デヤナイ、モウ當然出來ナイト分切ッタ公債ノ如キモ
ノデモ、「バー」デ計算ヲシテアルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ計算ヲセザレ
バ、將來此十年計畫ハ遂行ノ出來ナイト云フコトニナルノデアル、斯ウヤレ
バ何デモ出來ル、天ニ昇ル計畫デモ出來ル、海ノ上ヲ歩ク計畫デモ出來ル、
夢想ニ過ギナイ、是ハ殆ド眞面目ナル事業家ノ計畫ト云フコトヲ得ナイノデ
アリマス、斯ウ云フヤウナ次第デアリマスカラシテ、十年計畫ヲ遂行スル上
ニ於テハ、斷ジテ財源ノ出場ハナイノデアル、縱カラ見テモ、横カラ見テモ
金ノ出ヤウハナイ、而シテ今回六千餘哩ノ事業ヲ建設セムトスルノデアル、
是以上ナ無法ハ私ハナイト思フノデアル、只今左様ナコトヲヤリマシタナラ
バ、現在ノ鐵道ハ將來殆ド動カナクナル、我ガ商工業ノ發達ヲ害シ、產業ヲ
防害スルコトハ眼ニ見ル如クアルノデアル、改良モ行ハレテ行カヌ、改良ト
云フモノハ能率ヲ增進スル所ノ唯一ノ方法デアルノデアリマス、此改良ニ向
テ十分ナ金ヲ投ズルノ途ハ決シテ無イノデアル、甚ダ計畫トシテ私ハ執ラザ
ル所デアラウト思フノデアリマス、又新線路ナルモノハ先程申上ゲタヤウニ、
私ハ殆ド價值ノナイモノデアルト思フノデアリマス、商業上全ク必要ノナイ
モノデアル、山間僻地デ、殆ド政黨ノ壓迫ニ依テ提出シタト云フヨリ外ハ理
由ノナニ、「フレシネー」ノ提案シタ鐵道ト能ク似テ居ル鐵道デアルト思フノ
デアリマス、ソレデ新線路ノ收支ノ計畫ヲ見マスルノニ、新線路ハ平均シテ
二十万人噸シカ輸送ノ數量ハナイノデアル、然ニ政府ハ收支ノ計畫ヲ立ツル
ニ當ツテハ、之ヲ五割増シテ三十万噸アルモノトシテ、初年度ヲ計算シタノデ
アリマス、何タルコトダ、二十万人噸ト云フ其口ノ下カラ、收支ノ計算ヲス
ルニ當ツテハ五割増デ始メテ居ル、三十万噸デ始メテ居ル、而シテ是ガ年々如

何ナル狀態デヤラウカト云フ、其ヤリ方ヲ見マスルト云フト、我ガ既成鐵道
ノ既往三十箇年ノ旅客並ニ貨物ノ增加ノ歩合ヲ以テ、此鐵道ニ充テタノデア
リマス、此ノ山間僻地ノ鐵道ガ、既成線ノ三十箇年ノ增進歩合デ將來進ムト
云フコトハ夢ヲ見ル如キモノデアル、今回ノ線路ト云フモノハ擇ツテ、擇ツテ、
擇リ残リノ線路デアル、私設鐵道デスラヤラヌ引合ハナイ鐵道デアル、既設
鐵道ハ如何ナル鐵道デアル、幹線ノ好イ所デ三十箇年以前カラ言ヘバ非常ニ
ドンドン發達シテ來タ、其時ガ這入ツテ居ルノデアル、其歩合ヲ捉ヘテ此「フ
アーライン」ガ、而モ山間ノ鐵道ガ、既成鐵道ハ極ク良イ場所ヲ取ツテ置イテ
モ盛ニ進歩シテ來タ、其增進ノ歩合デ將來今回ノ鐵道ガ進マウトハ何人モ
考ヘナイノデアル、又歲出ハ如何ニ見テ居ルカト云ヘバ、其收入ノ六割五步
ヲ以テ營業費ト見タノデアリマス、此六割五步ト申シマスモノハ、大ナル收
入ノアル場合ハ斯ウ云フ風ナモノデ參リマセウ、併ナガラ二十万ヤ三十万ノ
輸送ヲスル場合ニ、其收入ノ六割五步デ營業費ガ行クト云フコトハ逆モ考ヘ
ラレナイ、或線路ヲ取ツテ申シマスト、一日ノ營業費ガ一哩十四圓ニシカナラ
ヌノデアル、十四圓ノ一日一哩ノ營業費ト云フコトハ、政府ガ營業シテ逆モ
出來ナイノデアル、私設鐵道會社、現今アル私設鐵道會社デモ十四圓ト云フ
モノハナイ、養老鐵道ノ如キモノデモ一日一哩確カニ二十圓位ノ營業費ニナツテ
居ル、此養老鐵道ノ如キハ實ニ憐レナモノデアル、ソレ以下デ政府ガヤラウ
ト云フ、望ンデ行フベカラザルモノデアル、斯様ナ始末デ此新線路ノ收支ノ
計算ガ立テ、アル、是ハ論ズルニ足ラヌノデアリマス、新線ニ付テハ是以上
私ハ申上ゲル必要ハナイ、此一斑ヲ以テ諸君ガ御判断下サレバ、誠ニ如何ナ
ルモノデアルカト云フコトハ明瞭スルト思フ、私竝ニ其他數氏ノ人ガ集リマ
シテ此新線路ノ營業收支ヲ計算シテ見タ、是ハ決シテ私ノ私見デハアリマセ
ヌ、私ト志ヲ同ジウスル鐵道ニ熱心ナル方ノ御意見ヲ徵シテ見マシテモ、
少ナクモ十二億ノ缺損ハスルノデアリマス、之ヲ開業スレバ二十年間位ノ
期間デアル、之ヲ仕上ゲルトスレバ其間ノ損失ト云フモノハ十二億ニ上ボ
ルノデアル、誠ニ將來之ヲ敷設スルト云フコトデアリマスレバ、鐵道會計ハ
固ヨリノコト、一般財政上ニモ私ハ非常ナ累ヲ及ボスモノト深ク憂慮シテ居
ルノデアリマス、而シテ政府ハ之ヲ以テ百年ノ長計ナリ、斯様ニ仰セニナル、
國家百年ノ長計ダ、是ガナケレバ殆ド國家ガ成立タヌカノ如キ口吻ヲ以テ本
案ヲ重視セラレルノデアリマス、私ハ何處ニ之ガ計畫デアルヤ否ヤヲ知ルコ

トヲ得ナイ、此案ナルモノハ幾ラデヤルト云フ金モナイ、法律ニ何年ニヤルト云フ年限モナイ、現行ノ敷設法ヲ制定セラレタ當時ニハ、何年間デ何ボノ金デ是ダケノ線ヲ架ケルノダ、斯ウ云フコトガ規定シテアッタ、又大河内君ガ今朝モ言ハレタ「フレシネー」ノ案ニモ、何年間デ何ボノ金デ之ヲヤルノデアルト云フコトモアッタノデアル、計畫ト云フモノハ抑モ實行セラレルモノデナケレバナラヌト思フ、實行スルト云フコトニナレバ金ト時ト伴ハナケレバナラヌ、此案ハ何デアル、金モナケレバ時モナイ、金ガ出來タ時ニヤルンダ、サウ云フ情ケナイ話ダ、之ガ果シテ計畫デアルヤ否ヤ、私ハ斷ジテ計畫ト云フコトハ言ヘナイト斯様ニ思フノデアリマス、サウシテ將來我國鐵道ノコトヲ考ハテ見マスレバ枕木ハ如何ニナリマスカ、枕木ノ材料ト云フモノハ段々之ヲ得ルニ困難デアル、殆ド將來ニ於テハ枕木ノ饑餓ガ來ヤシナイカト云フヤウナコトヲ林業界ノ或人ハ唱ヘテ居ルノデアル、今ニシテ枕木ノ備林ヲ拵ヘテ置カナケレバ、鐵道ノ將來ハ憂慮ニ堪ヘヌ、斯様ニ論ズル人モアル、又石炭ノ如キモノハ如何デアリマスカ、我國ノ鐵道ニ使用スルト云フ石炭ト云フモノハ、殆ド石炭ノ市價ヲ左右スルノデアル、之ガ將來ニ向ッテノ政策ヲ樹立スルト云フコトハ、非常ニ今日ノ急務デアルノデアリマス、是等ノコトハ如何ニ政府ハ考ヘルノデアル、又海運ノコトナドハ如何ニ考ヘル、今海軍ノ縮小ノ爲ニ造船ノ力ハ非常ニ遊ンデ來ル、是ハ如何ニスル、是等ノ邊カラ考慮シテモ、又之ナクトモ我國ノ如キ四面海デアル國ニ於テハ、物ヲ船デ運ブト云フ考ハ一日モ忘レテハナラヌノデアリマス、出來ルダケノモノハ船デ運ベ安クナル、今ハ如何ナル狀態デアリマスカ、船デ運バントシテモ船ニ出ル港ノ設備ト云フモノハ丸デナイ、海陸ノ連絡ト云フモノハ全クナイ、運ブダケモ運ベナイ、北海道カラ東京マデ木材ヲ汽車デ運ンデ居ル、甚シキハ九州ニマデモ運ンデ居ル例モアル、何タル不經濟ナ話デアル、彼は思ヘバ斯様ナコトヲ考フル時期デナイ、鐵道當局トシテモウ少シヨリ急ナルコトガ多々アルノデアル、其急務ヲ差措イテ斯様ナコトヲ考慮サレルト云フコトニ至テハ、私ハ甚ダ痛嘆ニ堪ヘヌノデアル、而モ今回委員會ニ於テ修正ニナクタ案ハ如何ナル案デアルカ、政府ハ之ニ同意ヲサレルノデアリマス、其案ト云フモノハ殆ド敷設ト云フ意味ハ毛頭ナイ、今朝委員長ノ御話ノ通り鐵道ノ網ヲ定メルダケダト云フ、斯様ナモノニ御同意ニナル政府ハ之ヲ以テ百年ノ大計ナリ、國家ノ長計ナリト論ゼラレルニ至テハ、私ハ其意味ヲ了解スルニ苦ム者

〔和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○和田彦次郎君 本員ハ此鐵道敷設法ニ贊成ノ意見ヲ抱ク者デゴザイマス、

デアリマス、之ガ私ノ本案ヲ速ニ否決スベシト云フ理由デアリマス

本日ハ此案ハ議ニ上ボリマシテヨリ意外ニ長時間ヲ經マシテ、而モ日程ヲ見

マスルト尙ホ緊要ナル日程ガ、此次ニ段々ト上ボッテ居リマスノデゴザイマスカラ、本員ノ意見ヲ十分ニ述ベマスルニハ少ナクモ一二時間ヲ要スルト思ヒ

マスガ、他ノ緊要ナル案モゴザイマスカラ、極メテ簡單ニ要領ダケヲ申上ゲタイト考ヘマス、本員ハ鐵道ノ現狀ニ照シマシテ、本案ノ最モ必要ナルコトヲ認メル者デゴザイマス、又既往我國ニ於キマスル所ノ鐵道敷設法ノ二十五年ニ布カレマシテ以來ノ實績ニ鑑ミマシテ、今回ノ如キ法律ノ制定セラル、

コトハ當然デアル、又斯ノ如ク速ニ此法ヲ布イテ以テ實行セラレムコトヲ切希望スル一人デゴザイマス、而シテ將來此法ヲ布イタ結果如何ヲ顧ミマスルニ、

既往ノ事蹟ニ照シテ見マシテモ、一日モ速ニ之ヲ實行シマシタナラバ、諸般ノ點ニ於テ重大ナル國家ノ利益ヲ生ズルモノト確信イタシマス、產業ノ發達ノ上ニ於キマシテモ、工業ノ振興ノ上ニ於キマシテモ、文運ノ進展ヲ圖ル上ニ於キマシテモ、斯ノ如キ必要ナル案ハ一日モ速ニ通過シ其實績ヲ見ムコト

ヲ希望スルノデアリマス、先刻來中村君ハ縷々御述ベニナリマシテゴザイマスガ、其反對ノ御意見ト云フモノハ、數字ニ涉ッテ數万言ヲ費サレマシテゴザ

イマスルケレドモ、前申シマシタ通り時間ヲ各ミマス爲ニ、私ハ之ニ向ッテ反駁ヲ加ヘマセヌ、是ハ委員會ニ於テ二十一回經過イタシマシタ所ノ速記録ヲ

御覽ニナリマスレバ、アノ通り幾度モ繰返サレマシタノデゴザイマス、而シテ之ニ對シテ政府ハ丁寧深切反覆周到ニ答辯サレタノデアリマス、然ニモ拘ラズ我ガ聞ク所デハサウハ聞カヌ、私ガ計算デハ斯ウデアルト云ツテ、當局者ノ案ニ對シテ非難サレマシタガ、殊更ニ自己ガ非難セムト欲シテ算盤ヲ取

ラレマシタナラバ、如何様ニモ非難ハ出來ルデアリマセウ、先刻來眼鏡ヲ掛ケテ滔々ト論ゼラレマシタガ、私ハ或一種ノ眼鏡ヲ掛ケテ御覽ニナレバ、赤

イ線モ青ク見エルト思フノデアリマス、唯簡單ニ既往議決ニナリマシタコト如何ナル案デアルカ、政府ハ之ニ同意ヲサレルノデアリマス、其案ト云フモニ付マシテハ、聊カ述ベテ前論者ノ蒙ヲ啓カムト欲スルコトハ、私ノ欲スル

所デゴザイマスルガ、時間ガゴザイマセヌカラ之ヲ省キマス、本案直接關係ノ百四十九線ニ對スル所ノモノノ經濟如何ト云フコトニ付マシテハ、當局ハ

根據アル表ヲ示サレテ居ルノデゴザイマス、六千三百四十九哩ヲ二十五箇年

ニ建設スルモノト假定イタシマシテ、其收益ノ一半ヲ試ニ計算シタルモノガアリマス、此表ニ依リマスルトデス、建設費ノ一哩當リハ平均二十万圓ト假定シタノデゴザイマス、公債ニ依テ之ヲ建設スルト致シマシテ、公債百圓ニ付テ手取九十三圓、九十三圓ノ割ヲ以テ百圓ノ公債ヲ募集スルトシテ利子五分ト假定イタシマシタ所ノ計算デゴザイマス、此一哩平均二十万圓ト申シマスル此根據ト云フモノニ付マシテハ、斯界ノ大家タル所ノ御方ニ段々私モ質シマシタ、質シマシタ所ガ是ナラバ不當ナ算盤デハナイ、二十万圓ナラバ相當ニ出來ル、斯ウ云フコトハ斯界ノ大家ノ確言セラル、所デゴザイマス、故ニ此基ク所ニ依リマシテ計算ハ如何ニナルカト申シマスト、百四十九線ヲ敷設イタシマスニ二十五箇年掛カルモノトシマスレバ、公債ノ利息ヲ支拂ヒ營業費ヲ支拂ヒ總テノ經費ヲ支拂ヒマシテデス、二十五年目ニハ四千百萬餘圓ノ收益ガ年々舉ガルコトニナルノデゴザイマス、之ヲ三十五年ニ及ボシテ、完成シタ十年後ニ如何ニナルカト申シマスレバ、八千四百五十八万九千百七十八圓ヅ、ノ收益ガ得ラルコトニナルノデゴザイマス、此表ニ依テ我ミハ此百四十九線ノ完成ヲ一日モ速ニ實行セラレムコトヲ希望スル者デアル、暫ク議論ハ措キマシテ、現今ノ狀勢ニ照シテ必要ナリト云フコトヲ私ノ申シマス理由ハ、實際ニ於テ今日ノ實情ニ於キマシテ必要ヲ感ズルノデ、極メテ俗ナルコトデゴザイマスルケレドモ一二ノ例ヲ舉グマス、試ニ諸君參州ノ段度山ニ行クテ御覽ナサイ、岡崎ヲ去ルコト百哩、其山中ニ參リマシタナラバ、二抱ヘモアルヤウナ立派ナ梅ノ、枝下四間八間ト云フヤウナ立派ナ材木ガ伐倒サレテ居リマス、之ヲドウスルノカト申シマスト、雨露ニ曝シテ腐ラセテシマフノダト云フ、嗚呼惜シイ、何故ニ之ヲ腐ラセルノデアラウカ、我國ニ於テ今建築材ヲ始メ木材ノ不足ヲ感シ騰貴ヲ來シテ其價ノ頗ル高クナルコトヲ憂ヘテ居ル者ハ、假ニ若楓君ノ言葉ヲ借リテ申シマスレバ、六千万ノ國民ハ心ノ中ニ泣イテ居ルノデアル、何故ニ之ヲ天資ノ財源ヲ拋棄スルデアラウカト質シテ見ルト、運搬ノ便ガイカナイ、然ラバ之ヲ木挽ニ掛ケテナリ何ナリ相當ノ材木ニシテ出シタラドウカト尋ネマスト、此山ノ中ニ木挽ヲ呼ンデ來テ挽カセテ其質錢ヲ拂ツテ更ニ岡崎ナリ何處ナリ鐵道ノ便ノアル所マデ持ッテ出テハ矢張リ損ニナル、如何セム損失ノ爲ニハ如何ニ國家ノ資源ト雖モ致方ハナイ、損マデシテ出ス者ハナイノデアルカラ仕方ハナイ、雨露ニ曝シテ之ヲ腐ラシテ、アトヲドウスルカト云フト小サナ杉カ檜カノ價ノ比較的高イモ

ノニシテ、大キクナラヌ中ニ伐ツテ運ヘバドウカスウカ經濟ニ合フ、是ガ實際デゴザイマス、斯様ナコトハ單リ段度山ノミデアリマセヌ、日本ニ到ル所ニ在ルト申シテ宜シイノデアリマス、今ヤ材木ガ不足シテ材木ノ價ガ高クナツテ困ツテ居ル場合ニ、斯様ナコトガ到ル所ニアルノデアル、之ヲ如何ニスルカト申セバ、運搬ノ便ヲ開クヨリ外ニ途ハナイノデアル、假ニデゴザイマス、之ヲ百四十九線ノ中ノ信州ノ辰野ヨリ濱松ニ至ル線ガ若シ完成イタシマスナラバ、一ハ直江津ヨリ濱松ニ達スル交通ノ便ヲ得ルノミナラズ途中ニ於テ段度山ノ如キスル巨額ノ大枚ノ國ノ寶トモ申スベキ所ノ巨材ガ棄テラレテ居ル所ノモノガ、皆活キテ有用ニ之ヲ活用スルコトガ出來ル、是ガツノ森林ニ付テノ實例デゴザイマス、又今一ツ例ヲ引キマスレバ、諸君モ我ミモ國民一同物價騰貴、殊ニ必要缺クベカラザル所ノ必需品ニ付テノ高價ニナルモノニ付ルニハ如何ナ法ガアルカ、不毛ノ地ヲ拓イテ以テ日常ノ食料ヲ得ルト云フコトハ今日ノ急務デアリ、蓋サ、ルヲ得ヌ事柄デアルト信ズルノデゴザイマス、諸君、巖手縣ノ小鳥谷ト申シマスル所ヨリ、落合ヲ經テ宮古ニ達スル線ガ假ニ出來タト致シマスルナラバ、其中間ニ於テ數百町歩ノ不毛ノ地ハ幾箇所モ散在イタシテ居ルノデゴザイマス、之ヲ道路ヲ附ケ鐵道ヲ敷カズシテ、唯開墾ヲ望ミマシタ所ガ、到底得ラレル譯ノモノデハゴザイマセヌ、苟モ此不毛ノ地ヲ拓イテ相當ノ收穫ヲ得ムト欲シマスルニハ其途ヲ講ゼナケレバ、ナラヌ、是ハ政府ガ當然講ズベキモノデアル、斯ノ如ク致シマシタナラバ、今日案ノ出マシタコトヲ深ク歡迎スル者デゴザイマスルシ、帝國前途ノ爲ニ現在物價騰貴ヲ叫ンデ居リマスル所ノモノヲ緩和シ得ルノデアル、之ヲ成スノ途如何、唯鐵道ヲ敷クニアルノミ、私ハ實際ノ點ヨリ申シマシテ、此鐵道網ノ案ノ出マシタコトヲ深ク歡迎スル者デゴザイマスルシ、帝國前途ノ爲ニ現在ノ狀況ニ照シ、既往ノ經歷等ニ鑑ミマシテ、一日モ速ニ之ヲ開カムコトヲ望ム者デゴザリマス、尙十分申上ゲタウゴザイマスルガ、前申シマシタヤウニ時間モ切迫イタシテ居リマスルシ、殊ニ重要ナル案ガゴザイマスカラ、簡單ニ意思ノ在ル所ヲ表明シテ此壇ヲ下ガリマス

○子爵西大路吉光君 討論終結ト致シ直チニ本案ヲ二讀會ニ移サレムコトノ動議ヲ提出イタシマス、滿場ノ諸君、御贊成ヲ請ヒマス

〔「贊成」ト呼フ者多シ〕

ガ、自然ニ討論ハ終結シタモノト議長ハ認メ得ルト存ジマスガ、動議ガ出マシタ以上ハ諸君ニ御誇リヲ致サネバナリマスマイ、西大路子爵ノ討論終局ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

「男爵小畠大太郎君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵德川家達君) 小畠男爵ハドウ云フコトデスカ

○男爵小畠大太郎君 西大路子爵ノ動議ニ反對イタシマス、其理由ヲ……

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニハ別段反對ハ要リマセヌ、定規ノ日數ハ規則ニ定メテゴザイマス……直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直ニ是ヨリ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

「江木翼君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵德川家達君) 江木翼君ハドウ云フコトデスカ

○江木翼君 チヨット政府ニ御尋ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) ドウ云フコトデス

○江木翼君 修正ニ對スル政府ノ意見ヲ御尋致シマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○江木翼君 今朝委員長ト本員トノ間ニ問答ヲ致シマシタコトハ、定メシ鐵

道大臣ニ於テモ御聞及ビノコト思フノデアリマス、數回問答ノ結果、本案第

一條ノ意味ハ帝國ニ必要ナル鐵道ノ豫定線路ト云フモノハ別表ニ定ムル通りアル、斯ウ云フ意味デハナイカ、所ガ林委員長ハ曰ク、ソレハサウ云フ意味デハナ

ヨリ、私ガ二回モ念ヲ押シテ御尋ヲ致シマタ所ニ依テ明白ニナツタノデゴザ

イマス、此意味合ニ對シマシテ政府ハ御同意ナサルモノデアリマスルカ否ヤ、之ヲ一ツ承リマス

「國務大臣元田肇君演壇ニ登ル」

○國務大臣(元田肇君) 御答ヲ致シマス、先刻委員長ニ御尋ニナリマシテ、委員長ノ御答ニナリマシタコトヲ拜聽イタシテ居リマシタガ、其第一條ノ修

正ハ、帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル目的ヲ以テ、政府ノ施設スベキ豫定線路ハ別表ニ掲タル所ニ依テ架ケネバナラヌ、斯ウ云フコトノ拘束ヲ有ツテ居ルノデアリマシテ、原案ニ於キマシテモ同一ノ意味デアルト云フコトヲ、私ハ先般申シマシテアリマスルガ、此度ノ修正ヲ見マスルニ或ハ尙ホ意味ガ明瞭ニナルカモ知レヌト存ジマス、政府ト致シマシテハ原案ヲ提出イタシタノ

デアリマスルカラシテ、成ベク原案ノ通過ヲ望ムノデアリマス、併ナガラ政府ノ修正ニ付テ見ル所ハ唯今申シマシタ通り、帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲ニ政府ハ別表ニ掲タル豫定線路ニ依ラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、提案ノ趣旨ト大體ニ於テ同ジコトデアリマシテ、尙ホ

一條二條ニ分ケマシタ爲ニ、第一條ノ趣旨ガ益、明瞭ニナルカト存ジマス、又其他ノ附則ノ所モゴザイマスルガ、是モ要スルニ意味ヲ益、明白ナラシムルニ出デタルコトト信ジマスノデ、先刻申上グマシタ通り政府ハ政府ノ提案シタルモノノ成ベク通過ヲ望ミマスルケレドモ、本院ニ於キマシテ修正案ノ通リ可決スルト云フコトデゴザイマスルナラバ、政府ハ考慮ヲ致シマシテ、本案ノ成立スルヤウニ其後ノ考慮ヲ致シタイト存ジマス、ソレダケヲ……

○江木翼君 本案ガ通過イタシマシテ、而シテ衆議院ニ於テ之ニ同意サレマスレバ、政府ハ御同意ニナリマセウガナリマスマイガ、ソレハ政府ハ不裁可ト奏請セラル、コトハ出來ナイコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、唯私ハ政府ニ伺ハムトスル所ハ、今朝ノ本員ト委員長ノ間ノ質問ニ依リマシテ、第一條ノ意味ハ帝國ニ必要ナル鐵道ノ豫定線路ト云フモノハ別表ニ定ムル通りアル、即チ線路網ト云フモノヲ第一條デ明カニシタ意味合デアルト云フコトガ明白ニナツタノデアリマス、此意味合ニ於テ修正案ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマス、私ハ政府ノ施設スベキト云フ文字ガアルカラ、其意味ハアル、斯ウ云フ意味デハナイカ、所ガ林委員長ハ曰ク、ソレハサウ云フ意味デハナ

イ、施設シ得ルト云フ意味デアル、更ニ其意味ヲ解釋イタシマシテ、然ラバ帝國ニ必要ナル鐵道ノ豫定線路ト云フモノハ別表ノ通リデアル、斯ウ云フ意

味合デアル、二回マデモ委員長ニ對シテ念ヲ推シタノデアル、サウスルト左様デアル、質問ノ通リデアルト云フコトヲ簡單ニ述ベラレルマデニ意味ハ明白ニナツテ居ルノデアリマス、然ニ尙ホ且ツ拘束力ヲ持ツノデアルト云フ意味合ヲ以テ御答ヘニナツタノデアル、ソレヂヤ九切リ違フノデアル、唯線路網ダケヲコ、ニ豫定シテ置クト云フノデアルト云フナラバ、何等ノ拘束力ハナイ、唯百四十九本ノ線路網ガアルト云フコトヲ告知スルニ過ギナイモノアルト、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、唯大臣ノ御答ト云フモノハ修正案ノ意味ヲ了解セズシテ御答ヲシテ居ラレルコトト思フ、修正案ノ意味ハ今朝問答ニ依テ明白ニナツタノデアル、其意味ニ於テ政府トシテ通シナサルヤ否ヤヲ伺ヒタイ

○伯爵林博太郎君 唯今江木君カラ政府へ御質問デアリマスガ、御話ノ中ニ少シク私ノ答辯ト意味合ガ違ツタヤウニ感ズル點ガアリマスカラ、辯明ヲ致シテ置キタインデアリマス、即チ一條ニ於キマシテ、政府ニハ義務ハナインデアル、即チ單ニ鐵道ヲ完成スル爲ニ敷設シ得ル線路網ハ次ノ如シト云フヤウニ私ガ答ヘタト云フ話デアリマスガ、斯様ニハ私ハ答ヘテハ居ラナインデアリマス、帝國ニ於テ、第一條ニ於キマシテ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲ニ敷設シ得ル線路網ト云フモノガアリマスケレドモ、第二條ト云フモノガ附イテ居リマスカラ、即チ豫定鐵道線路ヲ調査敷設セムトスルトキハ、其經費ノ豫算ヲ定メテ同時ニ出スト云フコトノ義務ガ緩和サレテ居ル、サウ云フ意味ニ於ケル義務デアルト云フコトニ於テ私ハ御答ヲ致シタノデアリマスカ

ラ、ドウガ左様御諒承ヲ願ヒマス

○江木翼君 是ハヤカマシク申シマスレバ、茲ニ休會ヲ請求イタシマシテ速記ヲ調ベテ、果シテ林委員長ハ本當ニ左様ナ意味デ仰ツシャッタカドウカト云フコトヲ明白ニシナケレバナラヌノデアリマス、私ハ私ノ耳ニ明確ニ残ツテ居ル、ナシ得ル豫定鐵道線路ハ別表ニ掲ゲル所デアルト云フ意味合デアル、斯ウ仰ツシャッタ、私ハ二條ノ修正ニ付テノ質問ハシナインデアリマス、唯一條ダケニ付テ質問ヲシタ、唯今御辯明ガゴザイマシタケレドモ、二條ハ抑、如何ナル修正ノ意味デアルカト申シマスルト、是ハ極メテ道理モ道理、殆ド明白ニ分リ切ツタルコトヲ茲ニ掲ゲタニ過ギナイノデアリマス、如何ナル事業デモ事業ヲヤラムトスレバ豫算ガ要ル、其豫算ノ金額ガ多クナツテ年度ガ跨ル場合ニ於テ繼續費ニスル、是ハ當然分リ切ツタコトデアリマシテ、憲法

六十四條ニ毎年必要ノアル場合ニハ豫算ヲ組ミ、又特殊ノ必要ガアッタ場合ニハ繼續費ニシテ出スト云フコトガ憲法六十八條ニアリマス、六十四條ト六十八條ノ事項ヲニツ一緒ニ並ベタルニ過ギナイ、元來二條ナゾト云フモノハ、アッテモナクテモ何等ノ役ニ立タナイ所ノ無用ナ贅文ニ過ギナイト思フノデアリマス、問題ハ第一條デアリマス第一條ニ付テ林伯ハ明白ニ私ノ質問ニ對シテ、御前ノ質問スル通リデアル、斯ウ仰ツシャッタ、ソレハ間違ナイト思ヒマスガ、若シ是ガ間違ツテ居ルト云フコトナラバ、私ハ只今質問ハ…幾回御尋致シマシテモ、ソレハ無用ニナル、若シ左様デアルトスレバ、私ハ茲ニ林伯ノ御言葉ガ二枚舌ニナルト云フコトヲ御責メシナケレバナラヌト云フ意味ニナリマス

○伯爵林博太郎君 私ハ第一條ニ於テ、義務ヲ生ズルト云フコトハ、明確ニ一番初メノ江木君ノ御質問ニ對シテ、第二條ノ修正案ノ第二條ニ於ケル繼續費ハ帝國議會ノ協賛ヲ經ルト云フコトノ意味ニ於テ、其義務ヲ生ジテ居ルト云フコトヲ御述べ致シタノデアリマス、從テ第三條ト云フモノニ依テ緩和サレテ居ル、江木君ハ第一條ハ第一條ダケデ絶對的ニ解釋スペキモノデアルト云フヤウナ意味デ御話ニナツタヤウデアリマスガ、一二條三條等ガアル以上ハ、其他ノ條項ニ依テ第一條ガ或制裁ヲ受ケルト云フコトモアルト云フコトハ、他ノ法律案ニ先例モアリ、又ソレデ考ヘナケレバ、此條項ヲ一々其條ソレノミニテ解説スルト云フコトデアレバ、如何ナル法律案モ私ハ議論ガ出來ナクナル、斯ノ如キコトヲ御問ニナルト云フコトハ如何デアリマセウカ、私ハ寧ロ江木君ニ對シテ伺ヒタイト思フノデアリマス、頗ル不穩當ナ御質問ト考ヘルノデアリマス

○江木翼君 是ハ實ニ驚入ツタルコトヲ仰セラレマス、ドウモ第二條ニハ憲法六十四條六十八條ヲ對照シテ御覽ニナレバ直グ分ル、何カ事業ヲスル場合ニ居ル、ナシ得ル豫定鐵道線路ハ別表ニ掲ゲル所デアルト云フ意味合デアル、斯ウ仰ツシャッタ、私ハ二條ノ修正ニ付テノ質問ハシナインデアリマス、唯一條ダケニ付テ質問ヲシタ、唯今御辯明ガゴザイマシタケレドモ、二條ハ抑、如何ナル修正ノ意味デアルカト申シマスルト、是ハ極メテ道理モ道理、殆ド續費ヲ帝國議會ノ協賛ヲ求メル、此ニソノ事柄ヲ茲ニ現ハシタニ過ギナイノハ每年豫算ヲ立テ之ヲ帝國議會ニ協賛ヲ求メル、特別必要ガアル場合ニハ繼マス、例ヘバ第一條ハドウデアルカト云フト、今朝御答ノ如ク豫定線路ト云フデアル、豫定線路ヲ調査敷設スル場合ニ於テハ、經費ノ豫算ヲ定メテ繼續費トシテ帝國議會ノ協賛ヲ求メル、是ヨリ外ニ意味アル譯ノモノデナイノデアリマス、例ヘバ第一條ハドウデアルカト云フト、今朝御答ノ如ク豫定線路ト云フモノハ別表ノ通リデアル、斯ウ云フ意味デアルト致シマスレバ、二條デ假ニ豫定線ニ依テ線路ヲ敷設スルト云フコトガ起ツテモ、ソレハ豫算ニ依テ政府

ガ義務ヲ負フモノデアッテ、法律ニ依テ義務ヲ負フモノデハナイノデアリマス、之ヲ私ハ明カニ今朝シタ積リデアリマス、只今ノ御答ハ私ノ質問ニ對スル御答ニナツテ居ラヌト思フ、私ハ今朝御答ニナリマシタコトガ、誠ニ正鶴ヲ得テ居ルモノデアラウト思フノデアリマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) モウ御分リニナリマシタラ、止メテ宜シウゴザイマスガ、第一條ノ修正ハ帝國ハ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲ニ政府ノ敷設スベキ豫定線路ハ別表ノ如シトアリマス、ソコデ敷設スベシトアルコトヲ、敷設シ得ルト云フコトニ言換ヘマシタ所ガ、決シテ間違タ言方デナイト思フ、敷設スベキモノガ豫定線路ノ別表デアル、從テ此線路以外ニハ政府ト雖モ出來ナイノデアルカラ、シ得ル線路ヲ別表ヘ持ツテ行キマシタトコロデ、同ジコトデアル、矢張拘束スルノデアルノデアリマスルガ、茲ニ彼是意見ヲ鬪ハシテ學者ノ注釋ヲ加ヘルヤウナコトヲ致シマスルヨリハ、第一條ノ修正ノ本案ニ付キマシテハ、帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲ニ、政府ノ敷設スベキ豫定鐵道線路ハ別表ニ掲ゲル所ニ依ルト、此文章ヲ解釋シテ、相當ナ腦力ヲ持ツモノガ解釋イタシマシタナラバ、政府ノ自ラ信ズル所ノ外ニ出ヌト私ハ確信シテ居リマスカラ、此修正ニハ異存ハアリマセヌ、斯様ニ御答ヲ致シテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 之ニ付テ逐條會議ヲ開キマス

〔江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、江木君ノ御聲ハ聞エテ居リマスガ、今議長ノ發言中デアリマスカラ、ソレガ過ギマシテカラ江木君ニ發言ヲ許サウト考ヘマス、逐條會議ニ移リマシテモ質疑ハ許ス積リデアリマスガ、敷設シ得ルト書イテモ意味ハ同ジ事デアル、斯ウ云フヤウニ仰シヤッタヤウデアリマスガ、果シテ左様デゴザイマスカ、此點ヲ鐵道大臣ニ一應確カメテ置キマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 甚ダ明白ナルコトト信ジマスルガ、存外ニ面倒ナモ

ノト考ヘマス、政府ハ修正ノ文字ニ現ハレタル意味ニ於キマシテ、差支ナインコトト信ジマス

○江木翼君 政府ノ御答ハ更ニ私ノ耳ニ這入リマセヌ、私ハ極メテ冷カニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、文字通り文字通りト仰シヤルナラ答辯デハナイ、若シ政府ガ敷設スベキ義務ヲ負フ、斯ウ云フ意味合デアルトシマスルナラバ、政府ハ此第一條ニ依テ、法律上敷設スル所ノ義務ヲ負フ、斯ウ云フ意味ニナルダラウト思フ、若シサウデナクシテ、唯線路ヲ定メルダケノモノデアルト云フナラバ、豫定線路ハ別表ノ如シト云フ意味ニナルダラウト思ヒマス、此ニツヲ出デナイデハナイカ、若シ前段ノ如ク、政府ハ法律上敷設スベキ義務ヲ負フモノトシマシタナラバ、其結果ハ頗ル重大デアルト私ハ思ヒマス、若シサウデナクシテ豫定線路ハ別表ノ通リデアルト云フ、斯ウ云フ意味合デアル、ソレハ私ハ全ク水ノ如キモノデアルトス様ニ思フノデアリマス、其孰レデアルカト云ス點ヲ今朝以來委員長ニ確カメタ所ガ委員長ハ第二段デアル、斯ウ云フ意味合デアッタ、政府ノ意ハ果シテ何レニ在ルカ、此點ヲ伺フノデアリマス……政府ノ答辯ヲ要求イタシマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 既ニ申上ゲテ居リマス、文字ノ通リニ了承シテ居リマス、法律ハ文字ノ表ハレタル所ニ依テ、他日色々解釋ガ付クカ存ジマセヌガ、異ナル解釋ガ出ナイ間ハ文字ノ通リニ解釋シテ然ルベシト思ヒマス、是以上ハ御答出來マセヌ

○江木翼君 法律ガ制定サレマシタ場合ニ於テハ、其解釋ト云フモノハ文字ニ依テ或ハ解釋ヲシナケレバナラヌ場合ガアリマセウガ、唯今ハ立法スル場合デアル、明白ニドノ意味デアル、ト云フコトヲ申上ゲタノデアル、第一段ノ意味デアルカ、第二段ノ意味デアルカ、明白ニ政府ハ御答ニナツテ宜カラウト思ヒマス、其二段以外ニ別ナ意味ガアルナラバ、其意味ヲ明確ニ御答ニナツタラ宜イ、我ニハ茲ニ修正案ニ對シテ、何レニカ其意味ヲ明カニシテ決セナケレバナラヌ立場ニ在ル、政府モ亦之ニ同意セラレムトスルニ際シテハ、其意味ヲ十分御了解ノコトト思フ、其御了解ヲ承ハリタイ

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 政府ハ屢々申上ゲマスル通りニ、政府ノ了解イタシテ居リマスノハ、帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲メ政府ノ敷設スベキ豫

定鐵道線路ハ、別表ニ掲タルモノニ依ルト云フノデアリマス、最モ明白ナコトデアリマス

○江木翼君 實ニ何タル御答デアリマスカ、唯此修正案ノ條文ヲ朗讀セラルニ過ギナイ、如何ニ私ガ近眼デゴザイマシテモ、是ヲ讀ムダケノ視力ハ有ツテ居リマス、我ニハ御朗讀ナラナクトモ十分視得ル、其趣意ガ何レニアルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、併シ同ジコトヲ繰返シテ、サウシテ何度モ間ヲ御歩行ニナルモ定メシ御疲レノコトデアリマスカラ、是レ以上御尋ネ致シマセヌ、併ナガラ私ハ今朝最モ此修正案ヲ提出シテ、之ヲ決セラルルニ付マシテ、其間ノ解釋ノ要義ヲ十分ニ御了解ニナツテ居ルト認メナケレバナラヌ所ノ林委員長ガ、私ノ質問ニ對シテ答ヘラレマシタ所ノ第一條ノ意味ハ、帝國ニ必要ナル鐵道ノ豫定線路ハ別表ニ掲タル通リデアル、斯ウ云フ意味合ノ御言葉ト云フモノヲ先づ公ノ解釋、此意味合ニ於テ法律ガ制定セラル、斯ウ云フ意味合ヲ以テ私ハ了解スルノデアリマス、左様ニ了解シタ場合ニ於キマシテハ、第一條、假ニ第一條ガ如何ナル意味合ヲ有チマセウトモ、此意味合ト云フモノハ憲法ノ六十四條ノ意味合以上ノモノヲ有ツモノデハナイト思ヒマス、六十四條、六十八條、左様ニ致シマスルト、此法律案ナルモノハ正シク鐵道院ノ告示ト云フモノヲ法律ニシタニ過ギナイ、一つノ政府ノ計畫ト云フモノヲ、法律ノ名ニ於テ告示スルモノニ過ギナインデアル、先般來中村君ガ非常ニ聲ヲ嗄ラシテ二時間ニ亘ラレテ辯論セラレマシタケレドモ、要スルニ是ハ計畫デハナインデアル、政府ガ義務ヲ負フノデナインデアル、二十年間トカ或ハ二十五年間トカニ是ダケノ鐵道ヲヤルベキ義務ヲ負ウテ居ルモノデモ何デモナインデアル、唯帝國ニ必要ナル所ノ線路網ナルモノハ別表ノ通りデアルト云フコトヲ公ニシタニ過ギナインデ、是ハ百年掛ツテ作ルモノデアルカ、或ハ二百年掛ツテ作ルモノデアルカ、何等ノ權利義務ノ關係ノ生ジナイ所ノ一ツノ法律的告示デアル、斯様ニ了解スルノデアリマス、定メシ本案ガ通過シタ場合ニ於キマシテハ、地方ノ人ドモハ、ヤレヤレ是デ以テ澤山ニ鐵道ガ出來ル、自分ノ方ニ鐵道ガ出來ルト云ウテ喜バレルデアリマセウガ、決シテ之ヲ以テ國家ガ義務ヲ負フモノデナケレバ、政府ハ之ヲ敷設スル所ノ義務ヲ負フモノデナイト云フコトガ極メテ明白ニナツタト私ハ信ズルノデアリマス、之ヲ一應申シテ置キマス

○伯爵林博太郎君 私ハ委員長ト致シマシテ、唯今ノ江木君ノ御意見ニ付テ辯駁ヲ致シテ置キタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノハ質疑ノ繼續ト議長ハ考ヘテ居リマスカ

ヲ、別段辯駁ハ要ルマイト考ヘマス

○伯爵林博太郎君 併ナガラ私ノ申シタト言ハレルコトガ、私ハ申シテ居ラヌト考ヘテ居リマスカラ、其事ダケ一言致シタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ辯駁デナク、委員長ノ是マデ御述ベニナツタコトヲ補フト云フ意味ニ議長ハ解釋イタシマセウ

○伯爵林博太郎君 左様ニ御解釋ニナツテモ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵林博太郎君 江木君ハ第一條ノ文面ノ中カラ、帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル豫定ノ線路ハ別表ニ依ルンデアル、ト云フ事ニ特ニ解釋サレマシタ、

政府ノ敷設スベキト云フコトヲ削除サレテ、サウシテ之ヲ私ガ申シタト云フヤウニ御曲解ニナツタト思ヒマス、私ハ決シテ左様ナコトヲ申上ゲタコトハナインデアル、ノミナラズ義務デナイト云フコトヲハッキリ申上ゲタコトモナインデアル、是ハ速記録ヲ御覽ニナレバ分ルカト思フ、念ノ爲ニ私ハ此際唯今ノ御言葉ニ對シテ辯ジテ置キマス、次ニ此六十八條ノ憲法ニ付マシテ、ソレガアル以上ハ第二條ハ無用ノ長物デアルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、私共ハ左様ニ考ヘマセヌ、憲法ノ第六十八條ハ繼續費トシテ豫算ノ協賛ヲ求メ得ル範圍ヲ示シテ居ル箇條デアリマス、唯今茲ニ第二條トシテ述ベテアリマスノハ、漸次繼續費トシテ議會ノ協賛ヲ求ムベシト書イテアル、ドウシテモ繼續費デ協賛ヲ求メナケレバナラヌト云フコトガ書イテアルノデアリマスカラ、茲ニ第二條トシテ明記スルト云フコトハ、是ハ適當ナモノデアルト我ニハ考ヘタノデアリマス、此二點ヲ以テ私ハ私ノ意見ヲ補テ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイ

マセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君)・御異議ナイト認メマス、是ヨリ第三讀會ヲ開キマス

○伯爵林博太郎君 私ハ極ク簡単ナル字句ノ修正ヲ致シタイト考ヘマス、即チ第一條ノ中ニ「帝國ニ必要ナル云々鐵道線路ハ別表ニ掲クル處ニ依ル」トアル、此「處」ト云フ字ガ此「處」ノ字デハ間違ッテ居リマスカラ、正當ナ「所」ノ字ニ改メタイト考ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ニ申上ゲマスガ、議長ハ兎角御用ヰニナル言葉ヲ氣ニ致スヤウデアリマスガ、今修正ト仰セラレマシタガ、正誤スルト云フコトニ願ヒタイト思ヒマス

○伯爵林博太郎君 訂正ト云フコトノ方ガ穩當デナイカト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 文字ノ更正ト議長ハ解釋シタク思ヒマス

○伯爵林博太郎君 宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通り、御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、此際十分間ノ休憩ヲ致シマス

午後三時四十三分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ受領セリ

〔成瀬書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)

大正十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第五號)
東京帝國大學臨時政府支出金繝入ニ關スル法律案
日本本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セリ

取引所法中改正法律案

狩獵法中改正法律案

本日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

鐵道敷設法案

辯護士法改正法律案

軍機保護法中改正法律案

水先法中改正法律案

家祿引直處分法案

所得稅法中改正法律案

災害地地租免除法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致スコトガゴザイマス、本日ハ小早川男爵、事故ノ爲メ豫算委員辭任ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致シテ御異存ゴイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、付キマシテハ第六部ニ於テ其補缺選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、國有財產整理資金特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、柳澤伯爵

國有財產整理資金特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 本案ノ委員會ハ三回開キマシタ、其結果原案ヲ可ト致シテ滿場一致可決ニ相成リマシタ、是ハ速記ガマダ御手許ニ廻ツテ居リマセヌカラ精シク申上ゲタイト思ヒマガ、種々ナ案モゴザイマスノデ、大要ダケラ申上ゲテ置キマス、御承知ノ通リニ國有財產ノ整理ト云フコトハ、餘程前力ラノ問題デゴザイマシテ、是ハ貴衆兩院ニ於テモ其必要ヲ認メ、又政府ニ於テモ整理ノ必要ヲ感ゼラレマシテ、議會ニ此調査ノ費用ヲ請求ニ相成リマシタ、大正七年ニハ國有財產調査會が出來マシテ、委員ガ任命サレタノデアリマス、而シテ其調査ノ方針ハ、第一ハ右ニ關スル法規ノ設定ノ件デアリマシテ、既ニ法律モ命令モ發布ニ相成リマシタ、第二ハ整理スベキ所ノモノニ付マシテ、實地調査ノ必要ヲ感ジテ、實地ヲ調査ニ相成ツタノデアリマス、勿論今日マデ全體ノ調査ハ結了イタシマセヌ、第一回ノ調査ナルモノガ出來マシテ、ソレニ先づ基キマシテ、整理處分ヲ爲サムトスルモノニ付テ法律ヲ制定スル必要ヲ感ジタノデアリマス、此特別會計ヲ作リマス必要上、先づ第一此收入ハドウ致シマスカ、是ハ此收入ハ國有財產ノ整理處分ニ依リマシテ、是ハ左様ナ元本ノ整理デアリマスカラ、之ヲ一般政費ニ使フコトハ宜シクアルマイ、之ヲ特別ニスルガ宜カラウト云フノデ、之ヲ特別ニスルコトニナッタノデアリマス、ソレニ對スル支出ハ其整理ニ必要ナル費用、例ヘバ事務費トカ修繕費ト云フヤウナモノヲ、之ニ向ケルト云フコトニナッタノデアリマス、併ナガラ例外ト致シマシテ、或ハ殊ニ必要ナル場合ニハ此費用ヲ他ニ向ケルコトガ出來ルヤウニ致シタイ、即チ是以外ノ營繕費ニモ使フコトガ出來ル、併ナガラ是ハ濫用サレテハ誠ニ困ルノデアリマスカラ、濫用ニ付テハ固ク相守ラレマシテ、必要ナル時ニハ豫算ヲ以テ一々協賛ヲ經テ支出シヤウト云フ規定ガアルノデアリマス、是ガ本案ノ成立ニ付マシテ其由來ト法案ノ大意デアリマス、委員會ニ於キマシテハ、質問モ數多ゴザイマシタガ、其中重モノヲ一二申上ゲマス、ソレハ國有財產ノ整理ヲ爲サレルノデアルガ、整理スベキ事柄ハ元本ノコトノミナラズ、一般ノ國有財產ト云フモノヲ統一シテ特別會計ニシタラドウダラウト云フ御意見ガ出マシタ、之ニ對シマシテハ、當局者ハ右様ノ如キ大統一ノ必要ハ、今ノ所見テ居ラナイ、是ハ非常ニ範圍ガ廣ク、或ハ農商務ニ於ケル所ノ森林收入モ這入レバ、満鐵ノ如キ收入モ入レナケレバナラヌ、斯様ナモノハ餘リ範圍モ廣クアルシ、又此案ト性質ガ異ツテ居ルノデアルカラ、左様ナモノハ考ヘテ居ラヌ、單ニ元本ノ處分ヲ主トシテ、現在ノ國有財產ヲ整理シタイト云フ御趣意デアリマシタ、モウ一ツ重

要ノモノハ、大體斯様ナコトデアリマス、今般國有財產ヲ整理スルノ方針デアルガ、マダ此國有ノ外ニ、帝室ノ御財產ノ整理ト云フ必要モアルノダラウ、又神社ニ關スル所ノ財產ノ整理モ幾多アル、御寺ニ關スル所ノ財產整理ノ必付テノ御質問ガ出タノデアリマス、文部大臣ハ答ヘラレマシテ、神社ニ關スル所ノ財產管理並ニ整理ニ付テハ、相當ノ法規ガアルガ、併シ寺ノ、卽チ寺殊ニ文部大臣ノ出席ヲ求メラレマシテ、此中ノ殊ニ神社並ニ寺ノ財產整理ニ付テハ不完全ナガラ之ニ對スル取締ガアルダケデ、十分ノモノハナク、非常ニ古イモノノ外ナイノデアル、是ハ重ニ地方長官ガ管理シテ居ルノデアル、併ナガラ當局ハ是ノ取締ノ必要上、又其他ノ點ヨリ宗教法ト云フモノヲ制定シヤウト思ツテ居ルノデアル、是ハ昨今ノ思立チデハナク、既ニ前ニ調査費モ請求シテ目下調べテ居ルガ、是ハ三箇年位掛カル計畫デアル、而シテ此宗教法ト云フモノヲ作ル考デアルガ、是ハ宗教法ト云フ中ニモ財產ニ關スルコトモ入レル積リデアル、重ニ財產管理ト云フコトガ法ノ骨子トシテ此宗教法ナルモノヲ作ラウト思ツテ居ルト云フ御返事デアリマス、先づ重モナル御質問ハ其位デアリマシテ、此案ニ付マシテノ全體ニ付マシテハ前ニ申上ゲマシタ如クニ、滿場一致デ可決ニ相成リマシタ、此段御報告申上ゲマス○議長（公爵德川家達君）本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長（公爵德川家達君）〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス
○子爵鶴筈隆督君 直チニ第二讀會ヲ開クコトヲ望ミマス
○大山綱昌君 贊成
○議長（公爵德川家達君）直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス
○子爵鶴筈隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 贊成
○議長（公爵德川家達君）直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

スカ

「異議ナシ」と呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」と呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、第十八同一委員ニ付託サレマシタカラ一括シテ議題トシ、委員長ノ報告ヲ煩ハスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」と呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、日程第九、少年法案、第十、矯正院法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、田所君

少年法案
右可決スキヘモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

田所 美治

貴族院議長公爵徳川家達殿

矯正院法案

右可決スキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

田所 美治

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔田所美治君演壇ニ登ル〕

○田所美治君 少年法案、矯正院法案ニ付マシテ、特別委員會ノ審査ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員長ガ差支ゴザイマシテ、不肖私カラ申上ゲマス、委員會ハ本月ノ四日以來六回、一昨日迄開會ヲ致シマシテ、司法大臣ヲ初メ、司法、内務、文部ノ三省ノ政府委員ノ出席ヲ煩ハシマシテ、詳細質疑應答ヲ重ねマシテ、慎重審議ノ結果一名ノ反對デアリマシテ、大多數ヲ以テ本案ハ可決ヲ致シマシテ譯ニアリマス、此法律案ハ本會ニ提出ニナリマシ

タノガ第四回目デゴザイマス、第一回ハ前々前ノ議會ニ於キマシテ、衆議院デハ特別委員ノ可決デ、議會ガ解散ニナッテ居リマス、第二回、第三回ハ、

衆議院ハ全院一致デ可決イタシマシテ、當院ニ於テ審査未了ニナッテ居ル譯ナ

ノデアリマス、當時ノ議場ノ筆記錄等ニ就イテ見テ見マスト云フト、本案提出ニ付テ色々ノ疑義ガアッタヤウデアリマス、其主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、

新シイ少年法案ノ制度ヲ布ク上ニ付テ、全國一齊ニ施行ヲスルト云フ當初政

府ノ方針デアッタヤウデアリマス、ソレニ對シテ十分ノ準備ガアルヤ否ヤ、例

ヘテ言フナラバ此本案ノ施行ニ付テハ少年審判官ガ多數ニ要ル、尙多數ニ

少年保護司ガ要ル、サウ云フモノニ付テノ十分ノ準備ガアルヤ否ヤ、或ハ本

案ニ伴フ豫算ガナイ、又本案ノ少年保護ニ付キマシテハ、司法省ノ所管ノミ

ナラズ内務省ニ於キマシテモ感化教養ノコトヲヤツテ居ル、文部省ニ於テモ

教育ノコトヲ主管シテ居ル、此三省ノ間ニ十分ノ協調ガ出來タカ否ヤ、又ハ

矯正院ナルモノヲ新ニ造ルニ付テ、從來ノ感化院ヲドウスルノデアルカ、斯

ウ云フヤウナ點ガデス、疑ヒニナリマシテ、本案ニ付テハ二回共議事未了ニ

ナッテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレ爾來政府ハ是等ノ疑ヒノ點ニ向ヒマシ

テ考慮研究ヲ重ネテ、本回ノ案ガ出來テ居ルヤウデアリマス、即チ第一ノ疑

ヒノ全國ニ對シテ一齊ニ施行スルト云フコトニ付テ、十分ノ準備ガアルト云

ヤト云フ點ニ付マシテハ、司法當局ニ於キマシテモ是ハ多少無理デアルト云

フ點ニ鑑ミマシテ、今回ハ唯其最モ不良少年ノ集マッテ居フマシテ、救濟保

護ヲ要スル程度ノ著シキ都會地、即チ東京ト大阪ノ二箇所ヲ以テ着手スル、

五十有餘萬圓バカリ臨時並ニ必要ナル經常費ガ請求ニナッテ本議會ニ提出ニナッテ居ルノデアリマス、即チ法案ニ隨伴シテ豫算ガ出テ居ルノデアリマ

ス、第三ノ各所管ノ省ニ於テ十分ノ打合セガナカッタガ如キ疑ヒガアッタノニ

對シマシテハ、文部及ビ内務兩省ノ意見ニ依テ從前ノ案ヲ多少修正シテ今度

ハ提出ニナッテ居ルノデアリマス、第四ノ矯正院ヲ新ニ造ルニ付マシテハ、

感化院ハドウスルカト云フ點ニ付マシテハ、感化院法ノ一部ヲ改正シテ又此

議會ニ提出ニナッテ居ル譯デアリマス、今日ノ日程ノ後ニ載テ居ルヤウナ譯

デアリマス、即チ本案ニ付テ審議ガ未了ニナッテ居リマシタ主ナル故障ト云

フモノハ、政府ニ於テ修正ヲ致シマシテ今回提出ヲ致シテ居ルヤウニ考ヘラ

レルノデアリマス、少年法案ノ提出ノ理由ニ付マシテハ過日司法ノ政府委員ヨリ此處デ詳細述ベラレマシテ、又從來ノ議會デモ御聽キノ通リデアルノデアリマスガ、其内容ノ一二ヲ申上ゲテ見マスレバ、過日モ此處デ司法ノ政府委員ヨリ言ハレタ通リ少年ノ近來不良ナル者ガ段々激増シテ參ッタ、又其不良ノ程度ガナカナカ深刻ヲ加ヘテ來ル、斯ウ云フ際ニ於キマシテ、成ベク少年ヲ刑餘ノ人タラシメズ、犯罪ヲ事實ニ之ヲ豫防シ、又犯罪ヲ犯シタル者ガアレバ之ヲ改過遷善スル、斯ウ云フヤウナコトハ國家ノ爲ニモ又其少年自身ノ爲ニモ努メナケレバナラヌ刑事政策デアリ、又社會政策ノ上カラ云ウテモノ必要デアル、斯ウ云フ意味デ少年法ナルモノハ、實ハ少年法デハアリマスガ犯罪少年ノ保護法ト申スベキモノデアリマシテ、犯罪ヲ犯シ若クハ犯罪ヲ犯ス虞アル少年ノ保護處分、及ビ之ニ關スル特別刑事處分ヲ規定シタモノノデアリマス、外國ノ立法ナドニ於キマシテノ少年法ト名ツケルモノノ如キ廣キ意味デハナインデアリマス、之ヲ正シマスト云フト犯罪少年法ト云フ方ガ名實相適フノデアルガ、名前マデモ成ベク美シクシタイ、斯様ナ意味デアルカラト云フコトデ司法ノ答辯デアッタヤウナ譯ナンデアリマス、昨年ノ提案ト違ツテ居ル所ガ、即チ曩ニ申シマシタ詰リ文部等ノ意見ニ依リマシテ、二箇條パカリ修正ニナツテ居リマス、其一ハ少年保護司ハ唯少年ノ保護ニ經驗ノアル者、或ハ其他適當ナル者カラ採ツテ居ツタノデアリマスガ、其仕事タルヤ主ニ教育ニ關係ヲ有ツコトデアリマスニ依テ、教育ニ經驗ヲ有スル者カラモ共ニ之ヲ囑託スル、サウ云フ意味デ第二十三條ニ教育ニ經驗ヲ有スル者ト云フ字ガ加ハツテ居リマス、又第二十八條ニ内務トノ分界ヲ、職權ノ分界ヲ明カニ致シマス爲ニ二十八條ノ四項ニ於キマシテ、少年審判所ノ審判ニ付セシムル少年ハ十四歳以上ノ者ヲ原則トスル、十四歳未満ノ者、即チ刑事能力ノナイ者ハ地方長官カラ送致シテ來タ特別ノ者ニ限ル、斯ウ致シマシテ一昨年昨年續イテ疑ヒニナツテ居リマス感化法トノ衝突ヲ避ケルト云フコトニナツタノデアリマス、少年ノ保護ノ中ニ規定シテアリマスコトハ保護處分ガ一ツデアリマス、モウーツハ少年ニ對スル特別ノ刑事處分デアルノデアリマスガ、保護處分ハ即チ今度新タニ本法ニ依テ考案セラレマシタル司法政策ノ上カラ出タモノデアルノデアリマス、即チ成ベク少年ガ罪ヲ犯シテモ之ヲ刑罰ニ處セズ、刑餘ノ疵ナル者ニシナイデ、其前途ニ光明ヲ保持セシムル爲ニ出來ルダケノ手段ヲ講ジマシテ、教化遷善ヲ行フ、即チ教養保護ヲ行フ、斯ウ云フコトノ爲ニ保護處分ト云フモノヲ眼目ニ致シテ規定シテ居ルノデアリマス、

其機關ト致シマシテ、少年審判所以外ニ裁判所ニアラザル一種ノ行政廳ガ設ケラレタノデアリマス、即チ其少年審判所ニ於キマシテハ少年審判官、少年保護司、即チ曩ニ申上ゲマシタ教育ニ經驗アル者等カラ適任者ヲ、經驗ノアル者はヲ是等ニ當ラセマシテ、サウシテ其少年ヲ裁判ノ如クニ嚴格ニ威怖的ノ方法ヲ探ラズシテ、極メテ温情ト慈愛ト以テ其宜シキニ從ツテ適當ノ處分ヲス身ノ病氣ガアリ、病氣カラ直接來テ居ル者ハ病院ニ送致スル、斯ウ云フコトデ直チニ監獄ニ打込ムト云フヤウナコトヲセズシテデス、成ベク保護處分ニ依テ少年ヲ保護教養シヤウ、斯ウ云フコトニ出テ居ルノデアリマス、少年審判所ニハ審判官ガアリ、保護司アリ、是等ハ今申上ゲマシタヤウニ判事中ニモ適任者ガアルノデアリマスカラ、之ヲシテ兼シメル場合モアル、又保護司ハ保護ニ經驗アリ保護事業ニ經驗アル、或ハ教育ニ經驗アル者、或ハ宗教家等カラ囑託シタリ、或ハ本官ニ任用スルト云フヤウナ考デアルヤウデアリマス、刑事處分トイタシマシテハ、先ニ明治四十年ニ刑法制定ノ時分カラ問題トナツテ居ルト云フコトヲ承リマシタ、即チ其時分ニ少年ニ對シマシテ特別ノ刑法ノ規定ガ要ル、是ハ他日少年法ノ制定ガアルカラ、其時ニ讓ラウト云フコトデ今日マデ延ビテ居ル部分ヲ、此少年法ニ規定セラレタノデアリマス、即チ其刑事處分ノ一般刑法ノ例外トシマシテ、少年ヲ愛護スル方カラ幾多ノ規定ガ設ケテアルノデアリマスガ、其二三主ナモノヲ申上ゲマスレバ、十六歳未満ノ少年ニ對シテハ、死刑トカ或ハ無期刑デアルトカ云フ極刑ヲ課サナイノヲ原則トシテ居ルノガ其一ツデアリマス固ヨリ非常ニ重大ナ、重大罪ヲ犯シタルモノハ此限リデアリマセヌガ、普通刑法ニ依リマシテ死刑ニ處セラルベキ、無期刑ニ處セラルベキ者ハ有期ノ刑ニ之ヲ減刑シテ處スルヤウニナツテ居ルノデアリマス、其二ヲ又申上ゲマスレバ、有期刑ヲ課スル場合ニ於キマシテモ、之ヲ一定ノ有期刑トセズシテ、所謂不定期刑トナシマスコトニシマシテ、何年以上何年セラルベキ者ハ有期ノ刑ニ之ヲ減刑シテ處スルヤウニナツテ居ルノデアリマス、其二ヲ又申上ゲマスレバ、有期刑ヲ課スル場合ニ於キマシテモ、之ヲ一定ノ有期刑トセズシテ、所謂不定期刑トナシマスコトニシマシテ、何年以上何年セズシテ、少年ノ時分ニ犯シタル自分ノ罪ハ、特別ノ法令ニ依テ資格ヲ失スルヤウニナツテ居ルノガ多々アルノデアリマスガ、其資格ヲ消滅セシメザルヤウ即チ少年ノ時分ノ犯罪ハ罪ヲ犯サザリシモノト認ム、斯ウ云フコトニ致シマシ

テ、其少年ノ前途ニ光明ヲ持タシムルコトニナツテ居ルモノデアリマス、是等ノ目的ヲ達シマスル爲ニ、審判ノ手續或ハ刑事處分ノ手續ヲ普通ノ刑事訴訟法ノ手續ニ依ラズシテ、檢事少年審判官、或ハ檢事ト少年保護司トヲ密接ノ關係ヲ取ラシメテ、一面ニ於テ刑事裁判所ニ於テモ、本法ノ精神ニ基キマシテ成ベク之ヲ罪ニシナイト、少年審判所ノ保護處分ニ移ス、斯ウ云フコトノ趣旨カラ全編ヲ通ジテ出來テ居ルヤウデアリマス、矯正法ノ概略ヲ申上げテ見マスレバ、即チ今申上ゲマス少年審判所ニ於テ其程度ノ最モ深刻ナル者ガ矯正院ニ來タルノ方針ヲ採リマシテ、矯正院ハ少年審判所ヨリ送致シタル不良少年並ニ民法ノ八百八十二條ニ依リマシテ親權ヲ有スル父母ガ、懲戒場ニ其子女ヲ裁判所ノ許可ヲ得テ收容セシムル場合ニ、此矯正院ニ受取ッテ教養感化ヲ施ス、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、矯正院ノ内容ハ現在ノ感化院法ト大差ゴザイマセヌ、即チ其目的モ兩方不良少年不良兒童ノ感化救濟ニナツテアリマス、是等ノ司法處分ニ依ラズシテ教養ノ方法ニ依ル感化院ハ御承知ノ通リデアルノデアリマス、矯正院ノ眼目トシテ居リマス規定ヲ申上ゲテ見マスレバ、即チ其性格ヲ矯正スル爲ニ嚴格ナル規律ノ下ニ教養ヲ施シ、其生活ニ必要ナル實務ヲ練習セシメ、感化院法ニモ殆ド同様ノ規定ガアリマシテ、同ジ目的ヲ貫クニ努メテ居ルヤウナ譯デアリマス、此區別ハ今申ス如ク不良ノ程度ノ最激甚ナルモノデアツテ、一步違ヘバ少年監獄ニ打込レル奴ヲ矯正院ニ送リマシテ、唯今ノ刑事處分ニセズシテ教育ノ方法ニ依ラウ、斯ウ云フコトデ監獄ト感化院トノ間ノ程度ノモノヲ入レタイ、斯ウ云フ必要カラ司法大臣ノ管理ニ屬セシメテ、一種ノ特別機關ヲ作ッタト云フ、斯ウ云フ説明デアルノデアリマス、今申上ゲルヤウナ内容デアルノデアリマスカラ、色ミノ質問ヲ反覆重ねタ譯デアルノデアリマスガ、其主ナハ數點ヲ御紹介イタシテ見マスレバ、本案ハ少年法ト云フケレドモ、今申上ゲルヤウナ不良少年、就中犯罪ヲ犯シ、此法律ニハ刑罰法令ニ抵觸シタ行爲ヲナスモノ、或ハ刑罰法令ニ觸ル行爲ヲナス處アル少年トシテ、犯罪ト云フ言葉ヲ殊更ニ避ケラレテ居ルヤウデアリマスガ、要スルニ犯罪ヲ犯シ若クハ犯サムトスル強イ程度ノモノヲ不良少年ノ保護處分ニ付シ、若クハ其不良少年ニ對スル刑事ノ特別ノ手續ヲ規定シタノデアリマシテ、一般ノ少年保護ニ關スル即チ善良ナル又少年ノ保護救濟等ガ必要デアルノデアリマス、ソレ等ノ、社會政策ノ上カラ各國デモヤツテ居リマスヤウナ規定ハ、一ツモ之ニハ這入ッテ居ラヌ譯

デアリマスカラ、是等ハ政府ノ考ハドウデアルカト云フ御尋ヲイタシマシタ、所ガソレハ別ニ調査中デアツテ、イツ出來ルト云フコトハマダ明言ガ出來ヌ、矢張此善良ナル兒童ヲ教養感化スルト云フ意味モ必要ナノデ、外國ノ少年法ノ如キハ目下調査中デアルト云フコトデアリマス、他日即チソレ等ガ出来マシタナラバ、又此法案ニ付テノ立法ノ連絡ヲ取ラレルコトデアラウト思フノデアリマス、又此少年ヲ保護ヲスルト云フコトハ、雷ニ司法ノ當局ノ仕事デナク、内務ニモ關連シ、殊ニ其源ハ文部ニアルノデアル、政府ハ其末流ヲ清メルト云フコトヲヤツテ、源泉ニ向ッテハ何等ノ方策ヲ施サヌノデアルカ、斯ウ云フ御尋ヲシマンタ所、文部ノ當局ハ、豫テヨリ調査中デアル、不良兒童或ハ腦ニ缺陷ノアル兒童、心身ノ即チ庇弱者、低能者ト云フヤウナ者ニ付テ、目下數萬人アル譯ニ統計デハナツテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ニ付テモ最近ノ機會ニ施設ヲ致ス考デアル、斯ウ云フコトデアルノデアリマス、又少年審判所ナルモノガ審判ヲヤルガ、其適當ナ人ヲ得ラレルヤ否ヤ、斯ウ云フ問ニ對シテハ、即チソレハ全國一般ニ施行ハムツカシイノデ、先づリマシテ、之ニ要スル少年審判官及ビ少年保護司ハ、少年審判官ガ八名、少年保護司ガ十六名、此位アツタラ宜イト云フコトデアルノデアリマス、專任者ハ…ソレ故ニ其位ノ者ハ今日十分適任者ヲ得ラレルト云フ答辯デアリマス、將來段々此施設ヲ擴張スルニ從ヒマシテ、是等ノ者ノ養成ニ努メル、斯ウ云フ答辯デアルノデアリマス、又矯正院ト感化院トガ重ナリ合ツテ、同一ノ目的ヲ有チナガラ、程度ノ僅ナ差別トカ云フコトデ所管ヲ異ニシテ一方ハ司法大臣ノ管理ニ屬スル、一方ハ御承知ノ如ク感化院ハ内務大臣ノ管理ニ屬スル、斯ウ云フ齟齬ガアルノデアリマスガ、是等ニ付テ御尋ネマシタ所ガ、即チ今前ニ申上ゲマス通り、今回ノコトハ刑事政策カラ溢レ出テ來タモノデアツテ、ソレヲ基ニシテ監獄ニ入レルコトヲ廢メテ、教養處分ニ附ケタ、斯ウ云フコトデアルニ依テ感化院デハマダ十分ナラヌ、薄弱ナル程度ノモノナラ宣シイガ、業ニ已ニ監獄ニ打込マナケレバナラスト云フヤウナ者ハ、感化ナ所デハ第一逃走ノ處ガアル、檢束ノ程度モ感化院ヨリ尙ホ強クシナケレバアルノデアリマス、尙ホ感化法ハ本法案ノ制定ト俟チマシテ、一部ノ改正ヲ

施ス譯デアリマス、勅令ニ依リマシテ、御承知ノ如ク國立感化院ガ一ツ出來テ居ルノデアリマスガ、其國立ノ感化院ナルモノハ、今日マデノ現状デ見マスト云フト、即チ矯正院ノ仕事ヲ實際ヤツテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ於テ如何ニ衝突ヲ防グヤウニスルカト云フコトヲ御尋致シマシタ所ガ、感化院令ノ、今申上ゲマス感化法ノ改正ト相俟チマシテ、又本案成立ト相俟チマシテ適當ナル改正ヲ施ス、兩方歩調ヲ合ハスヤウニ致ス、斯ウ云フ答辯デアルノデアリマス、其他色々ノ質問ガ數日ニ……數回ニ互リマシテ重ネラレマシタヤウナ譯デアリマスガ、遂ニ討論ニ入りマシテ、先程申上ゲマシタ通り一名ノ反対デ、アト委員全部本案ハ可決ノ考ヲ持チマシタヤウナ譯デアリマス、其趣意ハ、本案ハ初メテノ試ミデアルニ依リマシテ色々ノ疑ヒハアルノデアリマス、或ハ感化院ト今申上ゲルヤウナ同一ノ動キヲスルカノ如キ矯正院ヲ新ニ設ケル、或ハ少年審判所モ設ケルガ、果シテ豫期ノ通リ温イ扱ヒガ出来ルヤ否ヤ、司法省ノ所管ト致シマスナラバ、寧ロ内務省トカ或ハ溯ツテ文部省邊リニ屬セシムルガ宜クハナイカ、所管ノ疑問等ガアルノデアリマス、少年審判所モサウデアリマスシ、又矯正院ノ如キモサウ云フ疑ガアルノデアリマス、去ナガラ今日ノ時勢ニ鑑ミマシテ、不良兒童ハ御承知ノ如ク、日々ドウモ都會地ニハ集マル狀況デアルシ、又其不良ノ程度モ各種ノ方面カラ觀察ヲ下シテ、之ヲ取締リ保護シテ行カナケレバナラヌ實情デアリマス、其實情ニ對シマシテ一步ヲ進メタ政策ニ出テ居ル案ト了解ヲ致シマシテ、其不十分ナル點ハ又將來ノ經驗ニ鑑ミマシテ漸次漸次ニ之ヲ補正スルト云フコトデ、兩案トモ不十分ナガラ目的ハ宜シイ、又目的ヲ貫クノニ一應ノ説明ノ付ク方法ガ立ツテ居ル。斯ウ云フ了解ノ下ニ數種希望ノ條項ヲ陳述イタシマシテ可決ヲ致シマシタヤウナ譯デアリマス、其希望ノ主モナルモノハ五ツバカリアルノデアリマスガ、既ニ前ニ説明ヲ申上ゲマシタ中ニ含ンデ居リマスガ、本案ハ保護處分ト刑事處分トヲ附合ハシテ不不良少年、犯罪少年ノ一部分ニ關スルモノヲ附合ハシテ拵ヘタモノヲ、大キナ名前ノ少年法トシタガ、其希望ヲ第一項ニ述ベマシタ、又續イテハ一般ノ少年法モ速ニ研究三ニハ少年裁判所ノ審判ハ裁判的、司法的ニナリ易イ傾キガアラウト考ヘル

カラ、司法省ノ所管デアリマスニ依テ、教育保護ト云フ目的ヲ貫ク上ニ於テ温情慈愛デ行クト云フ目的ヲ貫クニハ十二分ノ注意ヲ望ム、第四ハ本案ハ寧ロ未デアツテ、教育ノ施設ガ本デアル、教育ノ施設ニ付テハ最近ノ議會ニ於テモ相當ノ協賛ヲ求ムルヤウニ 良少年、身心ノ薄弱等ニ對スル施設ヲシテ貴ヒタイ、第五ニハ、一ハ司法省、一ハ内務省ノ所管デ、感化院ト矯正院ノ兩立スル譯デアリマスカラ、相並行シテ其任務ヲ完ウスルガ爲ニハ、兩者及ビ文部省トモ相俟ツテ、一層熟議ヲ遂ゲテ此目的ノ貫徹ニ努メラレルヤウニシタヤ、スル希望ヲ陳述イタシマシテ、關係各省ノ政府委員悉ク其意ヲ諒シマシタヤウナ譯デアリマス、右御報告申上ゲマス、御審議ノ上……

○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ通告順ニ依リマシテ發言ヲ許シマス、山脇玄君

〔山脇玄君演壇ニ登ル〕

○山脇玄君 唯今委員會ノ御報告ガアリマシテ、其結果ニ本案ハ不十分ナガラ先づ端緒トシテ之ヲ實行スル、私ガ本案ニ對シテ今日贊同ヲスルコトノ出来ナイノハ、詰リ唯今ノ委員會ノ御報告ノ末段ヲ少シ延バシタヤウナコトニナルノデアリマス、デ本案ノ趣意ニ付マシテハ、誰モ異存ハナヘト存ジマス、唯我ミノ贊同シ難イ點ガ二點ガアルノデアリマス、第一點ハ少年保護ヲ司ル人、第二點ハ少年裁判ヲ補助スベキ少年保護機關ノ不備デアッタノデアリマス、少年保護ニ必要ナル知識ハ法律ニ非ズシテ、少年保護ニ關スル制度ヤ手續ニ付テノ知識デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、社會學、少年心理學、教育學ニ通ジテ、宜ク少年ヲ理解シ、少年ニ同情シ、赤誠ヲ以テ善導スル技能ヲ有スル高尚ナル人格者デナケレバ其要ヲ爲サヌノデアリマス、少年保護機關トハ申ス迄モアリマセヌ、宗教團體、保護團體、社會事業家ノ篤志者ナドヲ云フノデアリマス、是等ガ直接間接ニ裁判ヲ援助シテヤリ其效果ガ舉ガルノデアリマス、本案ノ第一讀會ニ際シテ我ミノ本案ニ對スル疑問ヲ斯ウ云フヤウニ述べテ置キマシタ、本案ノ如キヲ以テシテ果シテ現代社會ニ風紀ニ伴フ不良少年ヲ矯正スル根本對策ト言ヘルノデアラウカ、我ミハサナケレバナルマイ、司法當局ニ於テモ其積リデアルト云フコトデゴザイマシタガ、其希望ヲ第一項ニ述ベマシタ、又續イテハ一般ノ少年法モ速ニ研究三ニハ少年裁判所ノ審判ハ裁判的、司法的ニナリ易イ傾キガアラウト考ヘル

驅逐策ヲ講ズルノガ急務デハアルマイカト云フコト、次ニ我ガ在來ノ家族制度ニ於テハ一家内ニ起ル出來事ハ家長ガ自治、自助的ニ治メテ行ク精神ト矛盾シハシナイカト云フコト、次ニ外國ノ宣イ制度デアレバ我ガ國情ヲ顧ミズ直チニ取入レル風ガアル、サレド折角ノ良制度モ之ヲ運用スル人宜シキヲ得

ザレバ、良結果ヲ見ル譯ニ行クモノデハアルマイト云フコトヲ述べテ置キマ

シタ、是等ノ疑點ハ今日尙ホ未ダ解ケテ居リマセヌ、ソレバカリデナク尙其上ニ聊カ附加ヘタイ疑問ガ生ジテ來タノデアリマス、本案事業ノ完成スルト否トハ、社會ガ篤志ナ保護司ヲ出し、或ハ保護司ヲ援助シテ協力ヲ爲スト爲サ

ザルトニ依テ極マルノデアル、此必要ヲ濟ス爲ニハ社會一般ノ覺醒が必要デアル、寺院ヤ諸種ノ保護團體ノ活潑ナル運動ガ更ニ必要デアル、ソレ故ニ關係ノ官公署、社會事業家ハ互ニ協同一致シテ組織的ニ此思想ヲ宣傳シ、事業ノ實行ヲ獎勵スルヤウニナラナクテハナラヌ、殊ニ此社會的協力ニ付テ婦人ヲ關與セシムコトガ最モ緊要デアル、最近獨逸少年裁判法案ガ參審員ノ一人ヲ

必ズ婦人トスベキコトヲ定メタ如キハ注意スベキ問題デアル、之ヲ先進國ノ實地ニ徵スルニ社會的組織ノ發達セルコト刮目ニ值スト言ツテ宜イ、例ヘバ

少年裁判所運動ノ如キハ先づ社會ノ中心ヨリ起ルモノナルコトハ明カナ事實

デアル、宗教團體、保護團體等ガ裁判所ノ後援機關トナリ保護ノコトヤ豫防ノコトニ協力スル組織ノ發達セルモ亦事實デアル、獨逸ニ於テハ少年保護中

央部ト云フモノガアッテ、多數ノ少年裁判所補助機關ヲ統理、指揮シテ保護事業ノ發達ヲ目的トシテ居ル、米國紐育ナドデハ少年保護協會ガアリ、少年

虐待防止會ガアッテ活潑ナル協力ヲ與ヘテ居ル、米國デハ實業學校ヤ矯正學校ガ、何レモ私設保護團體ニ依テ經營セラレテ居ル、我國ニ於テモ近來社會的協力ノ機運漸ク開ケタトハ云フモノノ、是等ノ事業ハ未ダ幼稚デアッテ、之ガ發達ヲ期スルコト甚ダ容易デナイ、殊ニ少年保護問題ノ如キハ、之ニ關スル社會運動ノ萌芽スラ、芽ザシスラ認ミ得ヌ狀態デアル、斯ノ如キ社會的反應ナキ法制ノ前途甚ダ寒心ニ堪エザルモノガアル、我ガ保護事業ノ斯ノ如ク幼稚ニシテ發達ノ困難ナルハドウ云フ譯デアラウカ、主トシテ社會一般ガ未ダ保護事業ノ精神ヲ了解セズ、社會連帶責任ノ觀念甚ダ薄キニ依ルハ論ヲ俟タヌ、此難關ヲ切り脱ケテ之ヲ發達セシムルノ方法ハ何デアルカト云フト、

大ニ之ガ宣傳ニ努力スルコトデアル、斯様ニ少年裁判ト相俟ツテ活動スベキ補助機關ノ未ダ不備デアリ、單リ裁判所ガ孤立無援ノ地位ニ在ツテハ到底效

果ノ舉ガラウ筈ハナイ、果シテサウデアレバ今暫ク本案ノ實施ヲ延期シテ、社會ノ覺醒ヲ促シ、補助機關ノ發達ヲ見ルニ至リ、始メテ實施スル方ガ賢明ナ處置デアラウト思フ、ソレ故ニ我々ハ此意味ニ於テ本案ニ贊同スルコトヲ躊躇スル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 議長ハ先刻日程第九、第十ヲ一括シテ問題ニ供シテ御異議ナキヤヲ伺ヒマシタ時ニハ、御異議ナイト云フコトデゴザイマシタガ、唯今山脇玄君ノ日程第九ノ法案ノ第二讀會ニ移スベカラズト云フ御説ガ出マシタ以上ハ、採決ハ別ニ致シタ方ガ穩當デアラウカト考ヘマス

○山脇玄君 私ハ少年法ノ方ガ延期イタシマスレバ矯正院ノ方ハドチラデモ宜ノデゴザイマス、矯正院ト云フモノハ御設ケニナツテモ、感化院ノ擴張ト見レバ宜イノデスカラ餘リ重キヲ置カヌ、少年法ハ暫ク延期ヲ願ヒタイト云フノデ、議長ノ御思召デ、別ニナサツタリスル御手數ハ省イテモ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今議長ガ申シマシタ通り、先以テ日程第九ノ法案ノ採決ヲ致シマセウ、少年法案ノ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ直チニ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

スカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ矯正院法案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十一ヨリ第十六マデ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、一括シテ問題トシ特別委員長ノ説明ヲ煩ハスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、議事日程ノ朗讀ハ御異議ガナケレバ省略イタシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

朝鮮事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

荒井 賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

臺灣事業公債法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

荒井 賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

樺太事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

荒井 賢太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

南洋廳特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

大正五年法律第四號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

荒井賢太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔荒井賢太郎君演壇ニ登ル〕

○荒井賢太郎君 唯今上程セラレマシタ朝鮮事業公債法中改正法律案外五件ニ關シマシテ、特別委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、委員會ハ前後四回開キマシテ、政府當局トノ間ニ詳細ナル質問應答ガゴザイマシテ、其結果各案共可決ニナリマシタ、其詳シコトハ速記録御覽ヲ願ヒマシテ、此所ニハ各案ニ付マシテ大要ヲ申上ゲマス、第一ハ朝鮮事業公債法中改正法律デ、是ハ唯今事業公債ノ募集ノ限度ヲ二億三千六十圓トナッテ居リマスル、ソレヲ三億四千四百八十万圓ト云フコトニ改メルノデゴザイマシテ、即チ一億一千四百二十万圓ダケヲ增加シヤウト云フ案デゴザイマスル、其理由ハ朝鮮ノ鐵道ノ建築並ニ改良費ニ關シマシテ追加ヲ要スル、即チ既成線ノ改良ヲ要スルノト、更ニ唯今建設中ニアリマスル建設費ノ、物價騰貴ニ依リマスル増額ヲ要スル、斯ウ云フコトト、ソレカラ多年ノ問題ニナッテ居リマスル、平壤ト元山

ノ間ノ百三十五哩ノ鐵道ヲ此度建設ヲ致スト云フ計畫ヲ立テマシテ、其費用ヲ要シマスル、即チ此今回ノ増額ノ大部分ハ鐵道建設及改良費ノ方ニ要スルノデゴザイマス、其外ニ於キマシテ道路ノ修築ヲ致シタイ、即チ國境ノ道路、鳴綠江ニ沿テ居リマス、國境ノ道路ガ更ニ修築ヲ致シテアリマセヌガ爲ニ、非常ニ交通ニ不便ヲ感ズル次第デ、是ハ多年ノ問題デアリマシタ、依テ今回ヲ改築シタイ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ朝鮮ノ北ノ海岸ニアリマスル所ノ、城津延ニ清津ノ港ヲ修築イタシタイ、ソレカラ朝鮮ノ森林ニアリマシテカラニ、所謂内地ニ於ケル砂防工事ヲ施行シタイ、是ハ朝鮮ノ森林ハ非常ニ荒廢ヲシテ居ル、其荒廢ノ最モ甚シイ八大河川ノ流域ニ於キマシテ、先づ約二十三萬町歩ニ對シテ、差シ當リ三分ノ一位ノモノヲ今後九箇年間ノ繼續費トシテカラニ、砂防工事ヲ施シタイト云フコトガ一ツノ計畫ニナッテ居リマス、其以外ニ於キマシテ電信電話ノ整備ヲ致シタイ、ソレカラ昨年協賛ヲ經マシタ所ノ煙草專賣ノ創設費、煙草專賣ノ創設費ニ於キマシテ意外ニ葉煙草ノ持越高ガ多カッタ爲ニ、之ヲ買收シナクテハナラヌ、斯ウ云フ結果ニナッタ、其爲ニ買收費トシテカラニ三百五十萬圓バカリノ經費ヲ追加シテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトデゴザイマス、是デ總テガ約一億一千四百万圓ニナリマスノデゴザイマシテ、此事業ハ短キハ三年長キハ九箇年ノ繼續事業トシテ施行シタイ、斯ウ云フコトノ爲ニ公債ノ募集ヲ増シタイ、斯ウ云フノデゴザイマス、此費用ノ年度又ハ按排ヲスルト云フコトハ、是ハ豫算ニ於テ審査セラルベキコトデアリマスガ、是等ノ仕事ハ多年朝鮮開發上必要デアルト云フコトヲ主張セラレテ居リマシタモノデアリマシテ、之ヲ施行イタシマスト云フ以上ハ、公債ヲ募集スルト云フコトハ已ムヲ得ナイモノト認メマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ此法案ニハ贊成ヲ致シマシタ次第デアリマス、可決ヲ致シマシタ、唯此際ニ一委員カラシテ朝鮮總督府當局者ニ向テ希望ガアリマシタ、ト申シマスルノハ朝鮮總督府ニ於テ、產業ノ開發上各種ノ計畫ヲ爲サルト云フコトハ、誠ニ朝鮮開發ノ爲ニ必要トハ存ズルガ、其事業ノ資金ヲ得ラレルニハ非常ニ困難ヲ御感ジニナルト思フ、依テ願クハ事業ノ輕重緩急ヲ測ツテ御着手ニナリタイ、尙ホ又事業資金ノコトニ付テハ何分ノ御工風ヲ御凝ラシニナルヤウニ願ヒタイ、斯ウ云フ御希望ガアリマシタダケデアリマシテ、全會一致ヲ以テ此案ハ可決ニナリマシタ、次ニ臺灣事業ノ公債法中改正

法律案、是ハ唯今臺灣ノ事業ノ公債法ニ依リマシテ公債ヲ募集シ得ベキ限度ハ一億千五百六十万圓トナツテ居リマスル、ソレヲ今回ハ一億二千六百三十万圓ト云フコトニ改正スト云フノガ、此案ノ改正ノ骨子デゴザイマス、即チ千七十万圓ト云フモノノ公債ヲ増額スルト斯ウ云フノデゴザイマス、此公債ノ増額ヲ要シマスル譯ハ、臺灣ノ鐵道ノ建設費ニ於キマシテ、物價騰貴ノ爲ニ増額ヲ要シマスノト、ソレカラ東海岸ノ方ニ於キマシテ、鐵道ノ連絡上私設鐵道ノ買收ヲ要スル、斯ウ云フコトノ費用ノ爲ニ要スル分、ソレカラ今一ハ今回臺灣ニ酒專賣制度ヲ施行スル、其ノ酒專賣ノ制度ノ施行ノ費用ヲ、此中四百四十万圓ト云フモノガ專賣制度ヲ施行スルガ爲ニハ當業者ノ禁業補償金トシテ交付ヲ致シマスルノト、土地建物、器具機械ノ徵收ヲ致サナクチヤナラヌ、其徵收ヲ致シマスル費用トヲ合セマシテ四百四十万圓ト云フモノヲ、酒專賣ノ創設費トシテ要スル譯デアル、ソレ故ニ鐵道ト合セテ千七十万圓ノ増額ヲ要スル、斯ウ云フ理由デ改正案ガ提出ニナリマシタ、此コトニ付マシテハ鐵道ノ方ニ付テハ何等ノ御議論モナイノデアリマシタガ、酒專賣ノコトニ付テハ種々ナル質問モアリマシテ、其主ナルモノヲ舉ゲテ見マスルト、當業者ノ間ニ酒專賣ヲ施行サレルニ付テハ不平ガアルト云フコトヲ承ッテ居ル、果シテ左様ナ状況デアラウカドウカ、之ニ對シマシテ政府委員ノ御答辯ニ依リマスト、當業者ハ酒專賣ト云フコトニ付テハ覺悟ヲ致シテ居リマスノデ、何等ノ不平ハナイ、斯ウ云フ御答辯デゴザイマス、ソレカラ次ニ酒專賣ヲ致サルルト云フト、酒ノ品質ヲ低下スルト云フヤウナコトハアリマセヌカ、往々專賣事業ニハソレヲ伴フノデアリマスガ、品質低下ト云フヤウナコトハアリマセヌカ、之ニ對シテ政府當局ノ御答ハ、ソレ等ノ點モ是ハ當局デ唯今試驗所ヲ拵ヘテカラニ、十分ニ調査ヲシテ居ルノデゴザイマスガ、此點ニ付テモ別段差支ナイ積リデアリマス、斯ウ云フコトデアリマス、ソレデ是等ノ質問ガアリマシテ全體此ノ酒專賣ノ必要トスル理由ヲ當局ガ御説明ニナリマスニハ、臺灣ノ歲入ノ主タル部分ヲ占メテ居ル官業收入ノ中、樟腦ノ收入ソレカラ阿片ノ專賣收入ト云フモノガ非常ニ減額ヲ致シマシテ、是ハ樟腦ハ世界的不景氣ノ爲ニ減ジ、ソレカラ阿片ノ方ハ漸禁主義ヲ取ッテ居リマスカラ、漸次是ハ減少ヲ致シマシテ結局ハ是ハ皆無ニ歸スルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ經費ノ節約ヲ十分ニ努メハ努メマシタケレドモ、到底又一方ニ於テ此教育ノ費用等ノ如キモノハ增加ヲ要スル次第デアル、カルガ故ニ何等カ茲ニ財源ヲ求メアク

テハ到底臺灣ノ歲計ヲ維持シテ行クコトガ困難デアル、然ニ租稅ヲ増加スルト云フコトハ目下ノ狀況ニ於テ不能デアル、ドウモ面白クナイ、ソレ故ニ此酒專賣ト云フコトヲ計畫シタ次第デアル、此ノ酒專賣ニ付テハ今日ノ酒ノ市價ヲ矢張標準ト致シマシテ、專賣ノ爲ニ敢テ酒ノ價格ヲ騰貴サセナイ、上ボセナイト云フ方針ヲ取ッテ居リマス、ソレ故ニ消費者ニ對シテ負擔ヲ過重スルト云フ憂モナイノミナラズ、臺灣ニ於ケル酒ハ内地ト異リマシテ釀造酒ト云フモノハ殆ド無イノデアリマス、蒸溜酒ダケデアリマスルカラシテ其製造ハ極メテ簡易デアル、ソレニ加ヘテ製造業者モ僅カ百八十八軒シカナインデ、是モ極メテ少イノデアル、カルガ故ニ此ノ酒專賣ヲ施行スルト云フコトハ臺灣ニ於テハ容易イコトト思ッテ居ル、左様ニ困難ナコトデハナイト考ヘテ居リマス、デ當業者ニ對スル補償金ノ如キモ、唯今デ内地ニ於テ行ハレ又朝鮮ニ於テ專賣ノ節ニ行ハレタ、ソレハ酒デハアリマセヌガ、所謂内地竝朝鮮ニ於テハ煙草ノ專賣ガ行レタ、其例ニ依リマスト云フト一箇年ノ賣上高ノ内地ハ二割、朝鮮ハ二割二分ト云フコトニナツテ居リマス、ソレニ較ベレバ、今回ハ成ベク當業者ノ有利ノヤウニ二割五分ヲ給スルト云フコトニ致シマシタ、左様ナコトデ此ノ酒專賣ヲ施行スルニ付マシテハ、當業者ニ對シマシテモ不利ノナイヤウニ十分ニ注意ヲ致シタ次第デアル、之ニ依テ約五百何十萬圓、六百万圓バカリノ收入ヲ得ル次第デ、之ヲ以テ臺灣ノ財源ヲ補填シテ行カウト云フ計畫デアリマス、斯ウ云フコトノ御説明デゴザイマシタ、之ニ付マシテ種々質問應答ガアリマシタ結果討議ニ移リマシタ所ガ、酒專賣ノコトニ付マシハ反對ノ御意見ノ理由ハ種々アリマスルガ、主ナルコトヲ申上ゲマスルト、酒ノ如キモノハ是ハ嗜好品デアル、嗜好品ト云フヤウナモノハ官業デヤルト云フコトニナルト、最モ嗜好ニ適スルヤウナ精神ノ出來難イト思ハレル、官業デ斯様ナコトヲ統一シヤウトシタ所ガ、各地方ノ嗜好ニ適スルヤウナ物ハ製出スルコトハ困難ト思フ、其點カラ申スト、酒專賣ハ不適當デナカラウカ、ソレカラ由來官業ハ資本ヲ固定セシムルノ弊ガアル、又酒專賣ヲ致スニ付テモ資本ヲ固定サセルト云フコトノ弊ニ陥リハシナイカ、ソレカラ次ニハ當局者ハ品質ノ低下ト云フコトハサセナイト斯ウ云フ御説明デアルケレドモ、内地ニ於ケル專賣ノ實例ニ照シテ見テモ、往々品質ガ低下スルト云フヤウナコトハアルノデアルカラ、是モ亦將來品質ガ低下スルヤウナコトニハナラナイデアラウカ、ソレカラ當局者ハ專賣ノ爲ニ負擔…消費者ノ負

擔ハ増加サセナイ、今日ノ時價ヲ標準トシテ價格ヲ定メルトスウ申サレルケレドモ、併ナガラ將來專賣ノ價格ヲ上スト云フコトハ容易イコトデアルカラ、矢張此價格ヲ自然ニ上サレテ財源ノ必要上專賣ノ價格ヲ上セテ消費者ノ負擔ヲ増加スルト云フコトニ至リハシナイカ、斯様ナ心配モアリ、ソレカラ尙ホ此流動物ノ專賣ト云フコトハ非常ニ取締リノ困難ナモノデアルカラシテ、餘程ノ警察制度ノ嚴密ナル制度ヲ敷カナイト云フト、此專賣ハ困難デハナカラウカ、失敗ニ終リハシナイデアラウカ、ソレカラ最後ニ殊ニ心配スルノハ、承ル所ニヨレハ酒專賣ハ當業者間ニ頗ル不平ガアルヤウニ承ッテ居ル、果シテサウ云フコトデアルナラバ新領土ノ統治上惡影響ヲ來シハシナイカ、此等ノ理由ヲ考ヘルト云フト……此等ノ事情ヲ考ヘルト云フト、臺灣當局者ニ於カレテハ財源ノ補填ニ御苦心ヲナサルト云フ御事情ハ寔ニ諒トスルニ足リルモノデアリマスルガ、併シは何トカ今一層經費ノ節約ヲナサレテ收支ノ權衡ヲ御圖リニナツテ、斯様ナ新領土ノ新附ノ民ノ不平ヲ招クノ虞アルヤウナ專賣制度ハ此際御見合セニナツテハ如何デアラウカ、少ナクトモ本年一年ハ御延期ニナツテハ如何デアラウカト云フノガ反對論ノ主ナル理由デゴザイマス、之ニ對シマシテ原案贊成ノ理由ハ、成程反對論者ノ言ハレル所モ一理アルガ、併ナカラ政府當局ノ御説明ヲ承ッテ見レバ、當業者間ニハ不平モナイト云フコトデアル、ソレカラ若シ他ニ適當ノ財源ガアリマシテ官業收入ノ缺減ヲ補フコトガ出來マスレバ格別デアリマスルガ、他ニ適當ノ財源ガナイトスレバ今日酒專賣ヲ認ムルト云フコトハ已ムヲ得ナイノデハナカラウカ、殊ニ專賣品トシテハ酒煙草ノ如キハ最モ適當ナモノデハナカラウカト信ズル、況ヤ臺灣又内地ニ於キマシテモ、現ニ臺灣ノ如キハ樟腦、阿片、煙草、何レモ專賣ヲシテ居ル、而シテ今日何等差支ノアルコトヲ見ナイノデアルカラシテ、之ニ專賣ヲ施行ニナツタ所ガ其爲ニ新領土ノ統治上ニ惡影響ヲ及ボスト云フガ如キコトハ、是ハ斷ジテナカラウト思フ、兎モ角臺灣ニ於キマシテハ製造家モ少ナイコトデアリ、種類モ簡單デアルカラ酒專賣ヲ御布キニナルト云フコトハ出來得ルコト思フ、故ニ此財源ノ關係上他ニ適當ノモノガ見出サレバ格別デアルガ、今日ノ所ニ於テハ之ヲ酒專賣ニ依テ財源ヲ得ルト云フコトハ最モ適當ノコトデアルヤウニ考ヘル、斯ウ云フノガ本案ニ贊成スル理由デアリマス、所ガ委員會デハ四名ト四名、即チ正半數ニ贊否が分レマシタ結果、委員長ガ原案ニ贊成ト云フコトニ致シマシテ可決ニナリマシ

タ次第デゴザイマス、次ハ樺太事業公債法中改正法律案、是ハ千九百六十萬圓ヲ二千九百四十萬圓、即チ九百八十萬圓ノ公債ヲ増額スルト云フ改正案デアリマス、是ハ鐵道ノ改良費ト道路ノ開鑿費、ソレカラ官行研伐、即チ官業デ伐木ヲスル、斯ウ云フ三件ノ費用ノ爲ニ……經費ノ爲ニ要求……公債額ヲ增加スルト云フコトデアリマス、鐵道ノ建設費ノ方ハ先年非常ナル水害ガアリマシタ爲ニ、其水害ノ復舊費トソレカラ合セテ鐵道ノ建設費ノ、目下建設中ニアルモノノ先キヨヤルノノ費用ヲ要求スル、ソレカラ道路ノ開鑿ハ約百三十七里バカリノ道路ヲ開鑿シナケレバイカヌト云フコトデ御要求ニナツタ、ソレカラ第三ノ官行研伐、官營デ伐木ヲ致シマスト云フノハ、樺太ノ森林ガ蟲害ヲ受ケテ非常ナ被害ヲ受ケタサウデアリマス、其材積ガ約三千万石ト云フモノガ蟲害ヲ受ケタ、此蟲害ヲ受ケタ所ノ材木ハ此際急速ニ伐採セナイト云フト其材質ニ變化ヲ來シテ役ニ立タナイヤウニナル、因テ此際之ヲ約三百万圓バカリノ費用ヲ……三百八十万圓バカリノ經費ヲ以テカラニ急速ニ此蟲害ヲ受ケマシタ所ノ木ヲ伐採スルノデアル、サウ致シマスルト云フト此木ガ約二千万圓……二千二百万圓ノ收入ニナツテ、ソレカラ其伐採ノ費用ハ總テ万圓バカリノ費用ヲ……三百八十万圓バカリノ利益ト云フモノガ出來アル譯デアル、是ハ急速ニ伐採ヲシテ、即チ今後五箇年ノ計畫ヲ以テ此蟲害木ヲ伐採シタイ、斯ウ云フコトノ計畫ガ出來マシタ、ソレ等ノ費用ヲ出ス爲ニハ公債ヲ九百八十万圓ノ増額ヲ要求スル……增加ノ改正案ヲ提出シタ次第デアルト云フコトデゴザイマス、是ハ何レモ已ムヲ得ナイ費途デアリマシテ、是ハ公債ニ其財源ヲ仰グト云フコトハ已ムヲ得ザルコトト認メマシテ、全會議員一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、唯茲ニ矢張委員カラ希望ガアリマシタノハ、樺太ノ森林ヲ拂下ゲラレルニ付テハ、願クハ慎重ナル注意ヲ取ッテ、物議ヲ醸セヌヤウニ慎重ナル注意ヲ希望スルト云フ希望ガアリマシタダケデ、全員一致ヲ以テ之ヲ可決スルコトニナリマシタ、次ニ關東州事業公債法案、是ハ今回初メテ制定ニナリマシタノデゴザイマス、唯今迄ハ關東州ニ於カレテハ公債ノ募集ハナカツタノデアリマス、今回ハ大連ノ上水工事ノ擴張ヲシナケレバナラヌ、上水工事ノ擴張ハ今回デ三回ダサウデアリマス、デ今回ノ擴張ハ去ル大正九年カラ致シマシテ五箇年ノ計畫……繼續費ヲ以テ著手ヲ致シタル理由デアリマス、所ガ委員會デハ四名ト四名、即チ正半數ニ贊否が分レマシタ、所デ大正九年、大正十年ノ二箇年度ハ普通ノ財源ヲ以テ支辨ヲ致シタガ、十一年度以後三箇年間ハドウシテモ此公債ノ支辨ニ待タナイト云フ

ト、此擴張工事ノ施行ヲ繼續シテ行クコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトデ今回其三箇年ニ要スル費用、即チ三百十万圓ト云フモノヲ公債ヲ募集シテ……事業公債ヲ募集シテ、之ガ財源ニ充テルト云フ趣意ヲ以テ本案ヲ提出ニナリマシタモノデ、是ハ寔ニ已ムヲ得ナイ經費ト認メマシテ、之ガ爲ニ公債ヲ募集セラレルト云フコトハ仕方ガアルマイト云フコトヲ、全會一致ヲ以テ本案ハ可決ニナリマシタ、ソレカラ次ニ南洋廳特別會計法案、是ハ今回大戰ノ結果帝國ニ委任統治トナリマシタ南洋廳ニ關スル特別會計法案デゴザリマス、唯今マデハ南洋ノ諸島ハ軍政ノ下ニ置カレテアリマシタノデアリマスガ、來ル四月一日カラハ南洋廳ヲ設置ニナリマシテ、其行政ヲ統轄セラレルト云フコトニナリ、ソレニ付テハ此南洋廳ヲ特別會計ニ致シテ置キタイ、唯今南洋廳ノ收入ハ「アンガウル」燐礦ノ收入ガ殆ド唯一ノ收入ト申シテモ宜シイト云フ位ノコトデアリマシテ、是ガ約百餘万圓ノ一年ノ收入ガ致サレルヤウデアリマス、其他二人頭稅等ヲ多少設ケテ居ルガ、ドウモ南洋廳ノ會計ハ暫クハ國庫ノ補給ヲ仰ガヌデハ獨立スルコトガ出來マセヌ、即チ今年ニ於キマシテモ、約三百三十萬圓ノ國庫ノ補給ヲ仰グ次第デアル、斯様ノ次第デアルカラシテ、南洋廳ハ特別會計ニ致シマシタ所ガ、唯今直チニ獨立ノ收支ヲ見ルト云フ譯ニハ至リマセヌガ、併ナガラ理想トシテハソコニ到達スルヤウニ希望スル、尙ホ是ハ一種ノ委任統治ノ下ニ置カレルモノデアルカラ、願クハ此收支ヲ明確ニシテ置キタイト云フ趣意ヲ以テ、今回此特別會計法案ヲ提出ニナリマシタト云フ政府ノ御説明デアリマシタ、是ハ何等ノ異議モナク全會一致ヲ以テ此法案ハ可決ニナリマシタ、次ニ大正五年法律第四號中改正法律案、是ハ

陸海軍ノ臨時軍事費ノ本年度ノ豫定額七千五百万圓ノ財源トシテカラニ法律案ヲ改正イタシマシテ、公債又ハ借入金ノ額ヲ七千万圓増加スル、即チ五億八千万圓ヲ六億五千萬圓ニ改メルト云フ法案デアリマス、是ハ已ムヲ得ザル費途ト認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第ゴザイマス、此際ニ於キマシテ或委員カラ、斯様ニ朝鮮特別會計、其他各新領土ノ特別會計、並ニ臨時軍事費ノ法律ニ依リマシテ、斯様ニ公債ガ殖エルガ、此公債ノ償還ニ付テハ豫ネテ政府ハ大正十三年度カラ減債基金ノ復活ト云フコトニナツテ居ル、是ハ必ズ御實行ニナルコト考ヘルガ、如何デゴザイマスト云フ御質問ガ出マシテ、ソレニ對シテ政府ヨリ是ハ既ニ法律デ大正十三年度カラ減債基金ハ復活ニナルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、其通リニ致スト云フ考デ

ゴザイマス、サウシテ公債ノ償還ヲ致シテ行ク、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマスト云フ御答辯ガアリマシタ、是デ各案ノ委員會ノ御報告ヲ終リマス

〔江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵德川家達君） 江木翼君ハ何デスカ

○江本翼君 委員長デモ但シハ政府ニデモ宜シウゴザイマスガ、極メテ簡單ニ質疑ヲ致シタノデアリマス

○議長（公爵德川家達君） 宜シウゴザイマス

○江木翼君 日程第十五ニ關聯イタシマシテ御尋ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、南洋ノ委任統治ノ諸島ハ「ヴエルサイユ」ノ平和條約ノ結果、「シイ」式ノ委任統治ニナツテ居ルノデアリマス、「シイ」式ノ委任統治ナルモノハ、其國ノ法律ガ其儘ニ實行セラレル、其國ノ法律ガ其儘ニ其委任統治ノ地方ニ行ハレルガ如キ形式ニ於ケル所ノ委任統治ガ、所謂「シイ」式ノ委任統治ニ當ルノデアリマス、所デ唯今マデ出マシタ所ノ法律ヲ見マスルト云フト、會計ニ關シマスル所ノ法律ハ總テ本院ニ提出ニナツテ居リマスガ、統治ノ根本原則ニ關スル所ノ法律案ナルモノハ少シモ提出ニナツテ居ラヌノデアリマス、例ヘバ臺灣ノ六十三號ニ當ルモノノ如キ、或ハ樺太ニモ左様ナモノガアルヤウデアリマスガ、朝鮮ニハ朝鮮總督ノ制令權ヲ認メタ所ノ根本法律ガ出來テ居リマスガ、斯ノ如キ法律ノ制定ヲ必要トシナイト云フコトデゴザイマセウカ、ソレトモ又憲法ニハ全然準據セズニ統治ヲ爲サル、斯ウ云フ意味合デゴザイマセウカ、其點ニ關スル政府ノ御方針ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

〔政府委員川村竹治君演壇ニ登ル〕

○政府委員（川村竹治君） 唯今ノ御質問ニ御答ヘイタシマスガ、南洋群島ハ「シイ」式ノ委任統治ニナツテ居リマスガ、大體ニ於テ南洋群島ニハ憲法ガ行ハレナイト云フ解釋ヲ執ツテ居リマス、從テ各種ノ法律ハ勅令ヲ以テ之ヲ南洋群島ニ行フト云フ主義ヲ執ツテ居リマス

○江木翼君 關東州ト云フガ如キ其領土ガ外國ノ領土デアッテ、其ノ外國ノ領土ノ上ニ租借權ガ設定セラレテ居ルト云フ如キ場合ニ於キマシテハ、之ニ憲法ガ行ハレテ居ルカト云フコトハ、如何ニモ不穩當千萬ナコトデアルノデ、アリマスガ、南洋諸島ノ如キハ他國ノ主權ト云フモノハナインデアル、國際聯盟ナルモノハ決シテ法人デハナイ、委任統治ヲ受ケタル國ガ主權ヲ行フヨリ外ニ行ハレヤウガナイト思ヒマス、何ガ故ニ憲法ガ行ハレテ居ラヌカ、斯

ウ云フ疑ガアルノデアリマスガ、政府ガ憲法ヲ施行サレナイト云フ御趣意ノ理由ヲ承リタイ

〔政府委員川村竹治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(川村竹治君) 委任統治ハ其文字ノ示スガ如ク委任統治デアリマス、從テ南洋群島ハ日本ノ領土デハナイノデアリマス、國際聯盟ノ委任ニ依テ日本ガ統治ヲ行フノデアリマス、故ニ日本ノ領土ト同一視スルコトハ出來マイト考ヘルノデアリマス、從テ日本ノ憲法ガ行ハレナイト云フ解釋ヲ執ッテ居リマス

○江木翼君 左様イタシマスト、國際聯盟ガ此領土權ヲ有ツテ居ル、日本帝國ハ此領土權ヲ有ツテ居ラヌ、斯様ナ意味合ヲ以テ憲法ガ行ハレテ居ナイ、斯ウ云フ御解釋デゴザイマスカ

〔政府委員川村竹治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(川村竹治君) 其ノ主權ガ何レニアルカト云フコトハ色々議論モアリマセウ、唯併ナガラ日本ノ領土デナイト云フコトハ明カナノデアリマス、從テ日本ノ領土ト同一ニ取扱フ、全ク同ジヤウニ扱フト云フコトハイケナイデアラウト考ヘマス

○江木翼君 「ヴエルサイユ」條約ノ確カ第二十六條デアリマシタカ、其國ノ領土ト同一ニ扱フ、同一ノ法律ヲ以テ支配スルト云フコトヲ許シテ居ルト私ハ信ズルノデゴザイマス、隨テ日本ノ他ノ領土ノ部分ト同様ナル扱ヒラスル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、帝國憲法ガ施行サレテ居ルト同ジ形ニ於テ統治シ得ル土地デアルト思フノデアリマスガ、若シ左モナクシテ領土權ト云フモノハ他ニアル、是ハ國際聯盟デアルト云フ意味デアリマシタラバ變ナ形ニナリハシナイカト思フノデアリマスガ、其點ニ關スル御見解ハ如何デアリマスカ

〔政府委員川村竹治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(川村竹治君) 江木君ノ御説ノ如ク日本領土ト同一ニ取扱フノデアルノデアリマス、故ニ憲法ガ行ハレヌト云フ解釋ハ決シテ不當ニ非ラズト信ズルノデアリマス

○江木翼君 委任統治地方ノ領土權ヲ有ツテ居ル者ハ誰デアリマス

〔政府委員川村竹治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(川村竹治君) 其點ハ色々説ガアルヤウデアリマス、隨テ私ガ茲

ニ自分ノ私見ハアリマスケレドモ、特ニ此處ニ主權ガアルト云フヤウナコトハ、明確ニ御答へスル譯ニハ行キマセヌ

○男爵佐竹義準君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) マダ早過ギマス、日程第十一ヨリ第十六マデノ法案全部ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵佐竹義準君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 議長

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ハ何デスカ

○男爵楠本正敏君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ六案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル佐竹男爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ハ何デスカ

○「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ六案ノ二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵楠本正敏君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十七、委員長報告、田所君
感化法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

田所 美治

貴族院議長公爵徳川家達殿

「田所美治君演壇ニ登ル」

○田所美治君 本案ノ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、本案ハ先程詳細御報告イタシマシテ通過ニナリマシタ少年法案及ビ矯正院法案ノ兩案ノ同一委

員ニ於テ審議ヲ致シマシタ、極メテ簡単ナル改正デアルノデアリマス、兩法案ニ伴ヒマシテ必要缺クベカラザル改正ヲ感化法中ニ施スト云フヤウナコト

ニナツテ居リマス、第五條ノ感化法ニ感化院ニ入院スル者ノ資格ガ定メテアルノデアリマス、ドウ云フ者ヲ入レルト云フコトヲ規定シテアルノデアリマス、是ガ「滿八歳以上十八歳未滿ノ者ニシテ不良行爲ヲ爲シ又ハ不良行爲ヲ

爲スノ虞アリ且ツ適當ニ親權ヲ行フモノナク地方長官ニ於テ入院ヲ必要ト認メタル者」數項アリマスガ、其一項ガ十八歳ト云フ者ヲ十四歳ニ改メタ譯デアリマス、先程御報告イタシマシタ通り、前回ノ委員會ニ於キマシテ感化院ト

少年裁判所ノ審判トノ關係ニ付テ、政府ニ於テ整理ヲ致シマシタ結果、感化院ノ方ヘハ八歳以上十四歳未滿ノ、刑事上デハ無能力ナル者ダケヲ入レルコトニナリマシテ、其十四歳以上ノ者ハ少年審判所ニ於テ地方長官ヨリヨリ以上ノ丁寧ナル審査ヲ致シマシテ保護處分ニ付スル、其結果ハ或ハ又感化院ノ方ヘ送付スル事モアルノデアリマス、或ハ又矯正院ノ方ヘ送付スルコトモアルノデアリマス、地方長官限リデ感化院ヘ送リマス者ハ十四歳未滿ニ限ルト云

フコトニ致シマシテ、矯正院少年審判法ノ下ノ處分ト相調和ヲ保ツヤウニ改正ガ出來タノデアリマス、少年審判所ガ出來マシタ結果、感化院ヘ送ラレマス者ノ種類ガ一ツ殖ヘマシテ、第五條ノ中ニ一號ヲ加ヘマシテ、少年審判所ヨリ送致セラレタル者、亦此感化院ニ入院スルト云フ意味デ四號ガ加ハッテ

居ルノガ一ツノ改正デアリマス、又第六條ニ續キマシテソレ等ノ者ガ入院イタシマス、在院スル期間ガ滿二十歳ヲ超ユルコトヲ得ナイガ、但シソレ等ノ者ハ二十歳ヲ超ヘテモ宜シイ、此限リニアラズトナツテ居リマスガ、ソレガ今ノ第四號ガ加ハリマシタニ依テ、少年審判所ヨリ送致セラレタル者、又其在院ノ期間ハ必要ガアレバ二十歳ヲ超ヘテ在院セシメテモ宜イ、斯ウ云フ趣意デ

六條ニ一號加ハリマシタ、是等ノ二條ノ改正ハ少年審判所及ビ矯正院ガ全國ニ出來ルノデハゴザイマセズシテ、今度ノ案デハ東京及ビ大阪ノ二箇所ニ限ツテアリマスカラ、其二箇所ノ管轄地方ダケ之ヲ適用イタスコトニナリマシテ、爾餘ノ地方ハ相變ラズ八歳以上十八歳未滿ノ者ガ感化院ヲ利用スル譯ニナルノデアリマス、同一委員デ一名ノ反対デ、アト全部可決ヲ致シタヤウナ

譯デアリマス
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ直チニ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○大山綱昌君 贊成

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 茲ニ諸君ニ御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、其一ツノ條件借地借家調停法案ニ修正ヲ加ヘラレマシテ、衆議院ニ回付スル必要ガゴザイマス、故ニ此際議事日程ヲ變更イタシマシテ、其一讀會ノ續キノ特別委員長ノ報告ヲ煩ハシタイト考ヘマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、松室君

借地借家調停法案
右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十二日

右特別委員長
松室 致

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔特別委員ノ修正ニ係ル條ノミチ印刷ス
小字ハ修正文、ハ同削除ノ符號ナリ〕

借地借家調停法
第一條 土地又ハ建物ノ貸借、地代、家賃其ノ他借地借家關係ニ付爭議ヲ生シタルトキハ當事者ハ爭議ノ目的タル土地又ハ建物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

當事者ハ合意ヲ以テ前項ノ區裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第一項ニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家ヲ謂フ

第七條 當事者及利害關係人ハ自身又ハ代理人出頭スルコトヲ要ス但シ_{ケ代理人}已_{ムコトヲ得サル事由アル}非ナル者ヲ代理人トスル場合ニ於テハ裁判所ノ許可ヲ受クヘシ_{チシテ出頭セシムルコトヲ得}
裁判所ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

〔松室致君演壇ニ登ル〕

○松室致君 借地借家調停法ノ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、本案ハ數回ノ會議ヲ開キマシテ、結局第一條ト第七條ノ修正ヲ致シマシテ、其他ハ全部原案通リニ可決サレタノデアリマス、其經過ヲ簡單ニ申上ゲマスト、昨年來四十四議會ニ於キマシテ、借地借家法ヲ審議イタシマスル際ニ色ゝ議論ガ起リマシテ、纏リガ甚ダ困難デアリマシタガ、結局二ツノ條件ヲ附帶決議ト

致シマシテ、サウシテ其案ヲ可決ニナリマシタノデアリマス、其一ツノ條件ニ借地借家法ガ實施サレマスト、多少此貸家ナドガ減少スルヤウナコトハナカ、又借地借家法ノミデハ到底爭議ヲ減少スルト云フコトモ甚ダ困難デアルデアラウカラ、第一ニ訴訟以外ニ於テ極ク平易ニ簡單ニ雙方ノ爭議ヲ調停スル方法ヲ設ケナケレバナラヌ、ソレカラ第二ニハ此借地借家ノ供給ヲ潤澤ニスル爲ニ建築會社ニ關スル法律ヲ造フタガ宜カラウ、斯ウ云フ希望ガ起リマシテ、原首相ニ出席ヲ求メマシテ、サウシテ其議ニ關スル意見ヲ聞キマシタ所ガ、原首相ニ於テハ至極ニ案共ニ必要デアルダラウ、ソレデ次ノ議會、即チ今議會ニハ其二案共提出スル、斯ウ云フコトヲ明言サレタノデアリマスルカラ、ソレデ借地借家法ハ全部可決サレタノデアリマス、即チ其首相ノ約束ヲ實行サレマスル爲ニ、其借地借家調停法ト云フモノガ此度此議會ニ提出サレタ譯デアリマス、他ノ建築會社ニ關スル法案ハ遂ニ此議會ニ提出サレマセヌノデアリマス、是ハ内務大臣、高橋首相、兩相ニ出席ヲ願ヒマシテ、サウシテ首相ニハ二度御意見ヲ承_タノデアリマス、所ガ政府ニ於テモ其法案ヲ提出スル必要ハ感シテ居ルノデアル、ケレドモ、今回ハマダ調査ガ十分出來ナイカラ此度ハ提出セナイ、斯ウ云フ御辯明デアッタノデアリマス、ソレデ之ニ付テハ附帶決議ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、其ハ後ニ申述ベマス、先づ借地借家法ノ修正カラ先キニ述ベタイノデアリマスルガ、茲ニ借地借家法ノ大體ノ趣意ヲ極ク簡略ニ搔摘ンデ述べテ置ク必要ガアルト思ヒマス、唯今モ申シマスル通りニ借地借家調停法ハ全ク訴訟デハナイ、訴訟以外ニ於テ極ク平易ニ調停ヲスルト云フ趣意デアリマスルカラ、丸デ訴訟ト毫モ關係ガナイノデアリマス、併ナガラ此立法ノ趣意ハ矢張裁判所ヲ中心ト致シマシテ、區裁判所ガ此調停ノ管轄ヲスルノデアリマス、即チ爭論ノ目的トナッテ居リマスル土地、家屋ノ存在スル土地ヲ管轄スル裁判所ニ於テ之ヲ管轄スル、ソレデ極ク平易ニ極ク簡単ナ争議デアリマスレバ、裁判所自ラ是ガ調停ヲ圖ルノデアリマス、併ナガラ裁判所ノ見込ミニ依リマシテ是ハ餘リ簡單ニハ濟マスト云フ見込ミガアリマスレバ、調停委員會ト云フモノヲ開クコトガ出來ルコトニナシテ居リマス、其調停委員會ト云フモノハドンナモノデアルカト申シマスレバ、此ノ地方裁判所長ガ毎年區裁判所ノ判事中カラ主任官ト云フモノヲ設ケテ置キマシテ、其主任官ガ指導トナリマシテ、他ニ普通ノ官吏ニ何モ別ニ資格ヲ限ラズニ二人以上ノ委員ヲ選任シマシテ、之ヲ矢張調停

委員ニ加ヘルノデアリマス、結局三人以上ヲ以テ組織スルコトニナルノデアリマス、サウシテ委員ニ選バレルト云フ人ハ、唯今申シマス通リ資格ニ何モ差支ガアリマセヌノデアリマスガ、是ハ當事者ガ合意デ委員某ヲ調停委員ニ選ブト云フコトヲ決メテ居リマスレバ、ソレガ即チ委員ニナル、ソレカラ又サウ云フコトガ決メテナイ場合ニハ毎年豫メ地方裁判所所長ガ調停委員ニナルベキ者ヲ選任シテアルノデアリマス、其中カラ主任官ヲ選ミ出シテ二人以上ノ委員ヲ採ル譯ニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ此調停委員會ハ當事者双方ヲ呼出シマシテ、サウシテ調停ヲ圖ル、調停ガ出來レバモウソレデ宜シウアリマスルガ、若シ調停が困難ニナリマシタ場合ニハ、調停委員會ハ當事者一箇月以内ニ異議ヲ申立テナイ時分ニハ、其調停事項ヲ定メマシラ、ソレカラ費用ノ額モ決メマシテ、サウキマシテ適當ナル條項ヲ定メマシラ、ソレカラ費用ノ額モ決メマシテ、サウシテ是ヲ當事者双方ニ通知イタシマス、サウシテ其通知ヲ受ケタル當事者ガレルノデアリマス、サウシテ任意ニ調停ガ出來マシタ場合モ、唯今申シマスシテ是ヲ當事者双方ニ通知イタシマス、サウシテ其通知ヲ受ケタル當事者ガレルノデアリマス、一體政府ノ第七條ノ原案ハ、先刻カラ申述ベマスル通りシウアリマスルガ、是ハ極ク角立タズニ極ク簡易ニ爭フ決スルト云フ精神デアリマスルカラ、是ハ衆議院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家ヲ謂フ」是デ此上ノ委員ヲ採ル譯ニナツテ居ルノデアリマス、其中カラ主任官ヲ選ミ出シテ二人以上ノ委員ヲ採ル譯ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ即チ委員ニナル、ソレカラ又サウ云フコトガ決メテナイ場合ニハ毎年豫メ地方裁判所所長ガ調停委員ニナルベキ者ヲ選任シテアルノデアリマス、其中カラ主任官ヲ選ミ出シテ二人以上ノ委員ヲ採ル譯ニナツテ居ルノデアリマス、其中カラ主任官ヲ選ミ出シテ二人以上ノ委員ヲ採ル譯ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ即チ委員ニナル、ソレカラ又

スルト、地代ト云フコトガアル、此地代ト云フ中ニハ小作モ含マレルヤウニ解説ガ出來ルノデアリマスルカラ、文字ガ少シ廣過ギルト云フ所デ此點ニ少シ修正ヲ加ヘタノデアリマス、ソレハ此第一條ニ一項ヲ加ヘマシテ、即チ第三項ヲ加ヘマシテ、サウシテ斯ウ云フ趣意ノ規定ヲ入レマシタノデ「第一項ニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家ヲ謂フ」是デ此地代ト云フモノハ確ト意味ガ決タツト云フコトニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ今一つハ第七條デアリマスルガ、是ハ衆議院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、一體政府ノ第七條ノ原案ハ、先刻カラ申述ベマスル通りニ、是ハ極ク角立タズニ極ク簡易ニ争フ決スルト云フ精神デアリマスルカラ、雙方共ニ本人ガ出ナケレバナラヌ、之ガ原則ナノデス、併ナガラ已ムコトヲ得ナイ場合ニハ、裁判所ノ許可ヲ得テ代理人ヲ出スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居タノデアリマス、然ニ衆議院ニ於キマシテハ、當事者及關係人ハ自身又ハ代理人ノ……サウデヤアリマセヌ、チヨット讀替ヘマス「當事者及利害關係人ハ自身又ハ代理人出頭スルコトヲ要ス」斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシタカラ、自身出テモ宜ケレバ代理人ガ出テモ宜イト云フコトニ變ツタノデトニ居リマスルカラ、モウ普通認可ヲ申請スレバ必ズ許可ニナルト云フコトニ殆ド決マッタヤウナモノデアラウト思ハレルノデアリマス、此認可ヲ……認可ノ濟ンダ場合、ソレカラ裁判所ノ……裁判所自カラ調停ヲ圖リマシテ其調停ガ整ヒマシタ場合、此二ツノ場合ニ於キマシテハ何レモ和解ト……民事訴訟ニ於ケル和解ト同一ノ效力ヲ生ズルノデアリマスカラ、茲ニ多少ノ手續ヲ履行イタシマスレバ、若シ其當事者ガ調停通リニ實行シナイト云フ場合ニハ強制執行ヲスルコトガ出來ルヤウナ譯ニナルノデアリマス、是ガ極ク簡略ニ申上ゲタ此法案ノ要領デアリマシテ、マア之ニ色々ノ御趣意ガ付イテ法案ハ結局三十一條アルノデアリマス、ケレドモ趣意ハ其要領ニ外ナラヌグシテ其調停ガ整ヒマシタ場合、此二ツノ場合ニ於キマシテハ矢張原案通リニ、當事者本人ガ出頭イタシマシテ、所謂膝ヲ突合シテ懇談ヲシタ結果、調停ガ整フト云フコトニナリマスルノガ、誠ニ穩カデ宜カラウ、斯ウ云フコトニナリマシテ、一ツニハ全ク訴訟ガマシイ嫌ヒヲ避ケマスルシ、又一方ニハ調停ガ却テ是ノ方ガ出來易イト云フ所カラ、一言デ申シマスレバ、此衆議院ノ修正ヲスッカリ削リマシテ、サウシテ政府ノ原案ヲ復活サシタノデアリマス、ソレカラ今一つノデアリマス、ソレデ當事者ノ……當事者デハアリマセヌ、ソレデ此政府委員ノ説明ヲ聽キマスルト、此第一條ニ規定シテアリマスル所ノ土地又ハ建物ノ貸借、地代家賃其ノ他借地借家關係ニ付爭議ヲ生ジタルトキハ裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得ト云フ此箇條ハ、小作ノ場合ヲ含シデ居ラナイト云フ辯明デアルノデアリマス、併ナガラ唯何ノ氣モナク此第一條ヲ讀ンデ見マ

スルト、地代ト云フコトガアル、此地代ト云フ中ニハ小作モ含マレルヤウニ解説ガ出來ルノデアリマスルカラ、文字ガ少シ廣過ギルト云フ所デ此點ニ少シ修正ヲ加ヘタノデアリマス、ソレハ此第一條ニ一項ヲ加ヘマシテ、即チ第三項ヲ加ヘマシテ、サウシテ斯ウ云フ趣意ノ規定ヲ入レマシタノデ「第一項ニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家ヲ謂フ」是デ此地代ト云フモノハ確ト意味ガ決タツト云フコトニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ今一つハ第七條デアリマスルガ、是ハ衆議院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、一體政府ノ第七條ノ原案ハ、先刻カラ申述ベマスル通りニ、是ハ極ク角立タズニ極ク簡易ニ争フ決スルト云フ精神デアリマスルカラ、雙方共ニ本人ガ出ナケレバナラヌ、之ガ原則ナノデス、併ナガラ已ムコトヲ得ナイ場合ニハ、裁判所ノ許可ヲ得テ代理人ヲ出スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居タノデアリマス、然ニ衆議院ニ於キマシテハ、當事者及關係人ハ自身又ハ代理人ノ……サウデヤアリマセヌ、チヨット讀替ヘマス「當事者及利害關係人ハ自身又ハ代理人出頭スルコトヲ要ス」斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシタカラ、自身出テモ宜ケレバ代理人ガ出テモ宜イト云フコトニ變ツタノデトニ居リマスルカラ、モウ普通認可ヲ申請スレバ必ズ許可ニナルト云フコトニ殆ド決マッタヤウナモノデアラウト思ハレルノデアリマス、此認可ヲ……認可ノ濟ンダ場合、ソレカラ裁判所ノ……裁判所自カラ調停ヲ圖リマシテ其調停ガ整ヒマシタ場合、此二ツノ場合ニ於キマシテハ何レモ和解ト……民事訴訟ニ於ケル和解ト同一ノ效力ヲ生ズルノデアリマスカラ、茲ニ多少ノ手續ヲ履行イタシマスレバ、若シ其當事者ガ調停通リニ實行シナイト云フ場合ニハ強制執行ヲスルコトガ出來ルヤウナ譯ニナルノデアリマス、是ガ極ク簡略ニ申上ゲタ此法案ノ要領デアリマシテ、マア之ニ色々ノ御趣意ガ付イテ法案ハ結局三十一條アルノデアリマス、ケレドモ趣意ハ其要領ニ外ナラヌグシテ其調停ガ整ヒマシタ場合、此二ツノ場合ニ於キマシテハ矢張原案通リニ、當事者本人ガ出頭イタシマシテ、所謂膝ヲ突合シテ懇談ヲシタ結果、調停ガ整フト云フコトニナリマスルノガ、誠ニ穩カデ宜カラウ、斯ウ云フコトニナリマシテ、一ツニハ全ク訴訟ガマシイ嫌ヒヲ避ケマスルシ、又一方ニハ調停ガ却テ是ノ方ガ出來易イト云フ所カラ、一言デ申シマスレバ、此衆議院ノ修正ヲスッカリ削リマシテ、サウシテ政府ノ原案ヲ復活サシタノデアリマス、ソレカラ今一つノデアリマス、ソレデ當事者ノ……當事者デハアリマセヌ、ソレデ此政府委員ノ説明ヲ聽キマスルト、此第一條ニ規定シテアリマスル所ノ土地又ハ建物ノ貸借、地代家賃其ノ他借地借家關係ニ付爭議ヲ生ジタルトキハ裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得ト云フ此箇條ハ、小作ノ場合ヲ含シデ居ラナイト云フ辯明デアルノデアリマス、併ナガラ唯何ノ氣モナク此第一條ヲ讀ンデ見マ

スルト、地代ト云フコトガアル、此地代ト云フ中ニハ小作モ含マレルヤウニ解説ガ出來ルノデアリマスルカラ、文字ガ少シ廣過ギルト云フ所デ此點ニ少シ修正ヲ加ヘタノデアリマス、ソレハ此第一條ニ一項ヲ加ヘマシテ、即チ第三項ヲ加ヘマシテ、サウシテ斯ウ云フ趣意ノ規定ヲ入レマシタノデ「第一項ニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家ヲ謂フ」是デ此地代ト云フモノハ確ト意味ガ決タツト云フコトニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ今一つハ第七條デアリマスルガ、是ハ衆議院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、一體政府ノ第七條ノ原案ハ、先刻カラ申述ベマスル通りニ、是ハ極ク角立タズニ極ク簡易ニ争フ決スルト云フ精神デアリマスルカラ、雙方共ニ本人ガ出ナケレバナラヌ、之ガ原則ナノデス、併ナガラ已ムコトヲ得ナイ場合ニハ、裁判所ノ許可ヲ得テ代理人ヲ出スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居タノデアリマス、然ニ衆議院ニ於キマシテハ、當事者及關係人ハ自身又ハ代理人ノ……サウデヤアリマセヌ、チヨット讀替ヘマス「當事者及利害關係人ハ自身又ハ代理人出頭スルコトヲ要ス」斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシタカラ、自身出テモ宜ケレバ代理人ガ出テモ宜イト云フコトニ變ツタノデトニ居リマスルカラ、モウ普通認可ヲ申請スレバ必ズ許可ニナルト云フコトニ殆ド決マッタヤウナモノデアラウト思ハレルノデアリマス、此認可ヲ……認可ノ濟ンダ場合、ソレカラ裁判所ノ……裁判所自カラ調停ヲ圖リマシテ其調停ガ整ヒマシタ場合、此二ツノ場合ニ於キマシテハ何レモ和解ト……民事訴訟ニ於ケル和解ト同一ノ效力ヲ生ズルノデアリマスカラ、茲ニ多少ノ手續ヲ履行イタシマスレバ、若シ其當事者ガ調停通リニ實行シナイト云フ場合ニハ強制執行ヲスルコトガ出來ルヤウナ譯ニナルノデアリマス、是ガ極ク簡略ニ申上ゲタ此法案ノ要領デアリマシテ、マア之ニ色々ノ御趣意ガ付イテ法案ハ結局三十一條アルノデアリマス、ケレドモ趣意ハ其要領ニ外ナラヌグシテ其調停ガ整ヒマシタ場合、此二ツノ場合ニ於キマシテハ矢張原案通リニ、當事者本人ガ出頭イタシマシテ、所謂膝ヲ突合シテ懇談ヲシタ結果、調停ガ整フト云フコトニナリマスルノガ、誠ニ穩カデ宜カラウ、斯ウ云フコトニナリマシテ、一ツニハ全ク訴訟ガマシイ嫌ヒヲ避ケマスルシ、又一方ニハ調停ガ却テ是ノ方ガ出來易イト云フ所カラ、一言デ申シマスレバ、此衆議院ノ修正ヲスッカリ削リマシテ、サウシテ政府ノ原案ヲ復活サシタノデアリマス、ソレカラ今一つノデアリマス、ソレデ當事者ノ……當事者デハアリマセヌ、ソレデ此政府委員ノ説明ヲ聽キマスルト、此第一條ニ規定シテアリマスル所ノ土地又ハ建物ノ貸借、地代家賃其ノ他借地借家關係ニ付爭議ヲ生ジタルトキハ裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得ト云フ此箇條ハ、小作ノ場合ヲ含シデ居ラナイト云フ辯明デアルノデアリマス、併ナガラ唯何ノ氣モナク此第一條ヲ讀ンデ見マ

フコトデアリマシテ、是ハ委員會全會一致ヲ以テ可決シタルモノデアリマス、

ソレデアリマスカラ、ドウゾ御賛成ヲ願フ次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌ

カ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵佐竹義準君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○阪本彰之助君 賛成

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ、御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、

全部委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵柳筍隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十八、委員長報告、吉井伯爵——唯今ハ議長ノ誤リデゴイザマス、副島伯爵

露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月二十日

右特別委員長
伯爵副島道正

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵副島道正君演壇ニ登ル〕

○伯爵副島道正君 露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案、特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ簡單ニ申上グマス、本案提出ノ理由

三回開キマシタ、先づ第一ニ政府委員ノ説明ヲ申上グマス、本案提出ノ理由トシテ政府委員ガ申サレルノハ、露國ニ於ケル政變並ニ西比利亞ニ於ケル事變ノ爲ニ、我ガ同胞デ以テ引揚ゲニ際シ非常ナル損害ヲ被ッタ者モアル、又遭難ノ爲ニ、我ガ同胞デ以テ引揚ゲニ際シ非常ナル損害ヲ被ッタ者モアル、又

トシテ政府委員ガ申サレルノハ、露國ニ於ケル政變並ニ西比利亞ノ事變ノ爲ニ損害ヲ被ッタ者モ多々アルノデアリマス、一例ヲ舉ゲテ見レバ「ルーブル」ノ下落ノ爲ニ損害ヲ被ッタ者モアル、又鐵道ノ不通ノ爲ニ商品ノ輸送ガ意ノ如クナラズ、商品ガ停滞シテ、其結果損害ヲ被ッタ者モアル、又稅關ニ於テ荷物ノ荷揚ゲガ出來ズシテ損害ヲ被ッタ者モアル、色々ノ損害ガアルケレドモ、併ナガラ本案ノ目的トスル所ハ、唯露國ノ政變並ニ西比利亞ノ事變ノ結果引揚ゲニ際シ竝ニ遭難ノ爲ニ損害ヲ被ッタ、此二點ダケヲ救濟スルノデアル、其他ノ商賣上ノ損害ニ至テハ本法ハ決シテ目的トシテ居ナイノデアルト云フ説明デアリマス、又其遭難ノ種類ニ付テ政府委員カラ説明ガゴザイマシタガ、固ヨリ尼港ニ於ケル所ノ遭難者ガ是ガ一番主ナルモノデ、此尼港ニ於キマシテハ、軍人軍屬ヲ除イテ約三百人程我ガ同胞ガ非常ナル殺戮ノ不幸ニ遭遇シタノデアル、而モ彼等ハ一家ヲ擧ゲテ全滅シタモノモ多イノデアルカラ、今日マテニ申請シテ來タモノハ、僅カ四件ニ過ギナイト云フヤウニ誠ニ悲痛ナ話デアリマス、其外「オコック」方面ニ於ケル損害者モアリ、其他有ラユル遭難者ヲ入レマシテ、約八百件程今日マテ損害ノ申請ヲシテ來テ居ルノデアル、而シテ其金額ト云フモノハ無慮三千萬圓ニ達スル、併ナガラ茲ニ百五十萬圓ト云フ額ヲ規定シタノハ、ドウ云フ譯デアルカト申シマスルト、日露戰爭當時ニ於テ矢張二十分ノート云フ額ヲ規定シタノデアル、即チ其例ニ倣ウテ此度モ二十分ノ一、即チ申請額ノ五分ニ當ル所ノ金額ヲ茲ニ規定シタノデアリマ

ス、又本法ノ目的トスル所ハ損害賠償ニアルノデナクシテ、救恤ニアルノデアル、即チ救フ、困難者ヲ救フト云フノガ目的デアルト云フ政府ノ説明デアリマス、又引揚ゲニ際シテ政府ガ引揚ヲ命ジタトカ、或ハ強制シタト云フコトハ断ジテナイノデアル、引揚ゲタ方ガ宜カラウト言ウテ勸誘シタコトハアルト云フ、是ガ大要政府委員ノ説明サレタ本案提出ノ理由デゴザイマス、之ニ對シテ質問ガ約二十バカリデゴザイマシタガ、其主ナルモノヲ一二御紹介申上グマスレバ、一委員ハ救恤ト云フ以上ハドウシテモ困難ノ程度ヲ標準トシナクテハナラヌ、政府ハサウ云フ積リデアルカト云フ質問ガ出マシタガ、之ニ對シテ政府委員ノ言ハレルノニ、多少ハ困難ト云フ所ニモ斟酌ハスルデアラウ、併ナガラ本案ノ原則トスル所ハ困難ノ程度ト云フモノハ眼中ニ置カナイデ、斟酌シタノハ額ノ二十分ニ相當スル所ノモノヲ普ク支拂フ、支給スルト云フノガ即チ目的デアル、ソレカラ矢張一委員ハ、二十分ノ一茲ニ支給スルト云フ話デアルガ、後ノ二十分ノ十九ト云フモノハドウスルカト云フ質問モアッタ、之ニ對シテ政府ハ固ヨリ支拂ノ義務ハナイノデアル、併ナガラ他日露西亞ニ中央政權ガ確立シタ場合ニ於テハ、政府ニ於テモ損害賠償ヲ要求スルコトモアリ、又個人ノ賠償モ要求スルコトガアルノデアル、其場合ニハ固ヨリ全額支拂フコトニナラウ、又一委員ハ申請ガ八百件カラアルト云フ話デアルガ、是ハ政府ガ勸誘シタノカト云フ質問ガアリマシタ、ソレニ對スル政府ノ答辯ハ決シテ政府ガ勸誘シタ譯デハナイ、任意ニ彼等ガ申請シテ來タノデ、任意ニ政府ガ之ヲ受理シタト云フニ過ギナインオデノル、併ナガラ本法發布後ハ改メテ本法ノ第六條ニ從ツテ申請シテ來ナクチヤナラヌノデアルト云フ政府ノ御答辯デアリマス、今日マデノ申請ト云フモノハ申請ト云フヨリハ寧ロ請願ノ類ニ等シイト云フ政府ノ説明デゴザイマス、審査會ハドウ云フ風ニ組織スルト云フ御質問ガゴザイマシテ、之ニ對シテ政府委員ノ申サレルニハ、關係官廳ノ官吏ヲ以テ充テル積リデアルト云フ御答辯デアリマシタ、又一員ハ他日露國ニ確實ナル政府ガ出來テ、公私損害賠償ヲ支拂フ場合ニハ、今日救恤スル所ノ二十分ノ一ト云フモノハ差引ク積リデアルカドウカカト云フ御質問ガ出タ、之ニ對スル政府委員ノ御答辯ハ、固ヨリ救恤ト云フノガ目的デアル以上ハ差引クト云フヤウナコトハ断ジテナイ譯デアル、ソレカラモウ一つ御質問ガゴザイマシタ、今後更ニ申請ガアッテ、申請額ガ三千萬圓ヲ超エルヤウナ場合ニハドウスル積リデアルカト云フ御質問ガアッタ、ソ

レニ對スル政府委員ノ御答辯ニハ、今日マデノ三千万圓ト云フモノノ中ニハ、隨分豫想利益ヲ含有シテ居ル、例ヘテ見レバ遭難ニ遭ハナカツタナラバ、自分等ハ斯クスクノ利益ヲ儲ケテ居ル、サウ云フヤウナ豫想利益マデ申請額ノ申入レテ居ル、是等ハ固ヨリ審査會ニ於テ否決サレルノハ明カデアル、然ラバ假ニ今後申請ガアッターシテモ、此三千万圓ヲ超エルコトナクシテ、其二十分ノ一即チ百五十万圓デ十分デアラウト云フノガ政府委員ノ答辯デゴザイマシタ、尙又勝手ナ申請ヲスル人モアッタラウ、即チ自分ノ損失額以上ノモノヲ要求シタ者モ隨分アルダラウガ、之ニ對シテ公平ナル取扱ヲシナクチャナラヌカト云フ御質問モゴザイマシタ、之ニ對シテ政府委員ハ、斯ウ云フ場合ニ際シテ勝手ナ要求ヲスルト云フノハ蓋シ是ハ人情デアル、人情デアルケレドモ審査會ニ於テハ極メテ公平ヲ主トシナクチヤナラヌ、故ニ審査委員モ其人ヲ遭難地ニ派遣シテ、十分ニ調査シタ上デ支拂フ積リデアルト云フ意見デアル、又一委員ハ七月三十一日ガ期限ニナツテ居ル、少シ短カ過ギハシナイカト云フ意見デゴザイマシタガ、餘リ長クスルト救恤金ヲ支拂フノモ遲レルノデアル、故ニ七月三十一日トシタノデアル、若シ七月三十一日後ニ申請シテ來タ者ガアッタナラバ、是ハ事實問題トシテ然ルベク考慮スルト云フ御答辯デアッタ、又救恤ト云フ以上ハ貧乏人ヲ救恤スルノハ分ツテ居ルケレドモ、中ニハ金持デ遭難ニ遭ツタ者モアラウシ、金持デ損害ヲ被ツタ者モアラウガ、彼等ニ對シテ救恤ヲスル必要ガアルダラウカト云フ御質問ガアリマシタガ、政府委員ノ御答辯ニハ、救恤ハ固ヨリ救恤ガ目的デアル、併ナガラ決シテ慈善行爲デハナイ又損害賠償デハナイ、サウシテ貧乏人ニ對シテ困難ヲ救ウテヤル、金持ニ對シテハ慰藉料、謂ハバ涙金、サウ云フモノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、而シテ此法案ハ満場一致可決イタシマシタ、右御報告イタルニハ、關係官廳ノ官吏ヲ以テ充テル積リデアルト云フ御答辯デアリマシタ、

○阪本彰之助君 唯今委員長ノ御報告デ具ニ經過ハ分リマシテゴザイマスニハ、今日救恤スル所ノ二十分ノ一ト云フモノハ差引ク積リデアルカドウカカト云フ御質問ガ出タ、之ニ對スル政府委員ノ御答辯ハ、固ヨリ救恤ト云フノガ目的デアル以上ハ差引クト云フヤウナコトハ断ジテナイ譯デアル、ソレカラモウ一つ御質問ガゴザイマシタ、今後更ニ申請ガアッテ、申請額ガ三千萬圓ヲ超エルヤウナ場合ニハドウスル積リデアルカト云フ御質問ガアッタ、ソ

第一回 政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

先例モアル、先例モアルカ存ジマセヌガ、三千万圓ト云フ要求ハ矢張ソレダケノ懸値ガアルカ否ヤ甚ダ疑ハシイ、而モ此「ニコライエフスク」ノ遭難ト云フコトハ實ニ空前ナコトデゴザイマシテ、當時如何デアリマセウカ、殆ド真ニ國民ノ耳目ヲ聳動シタ問題デ、時ニハ内閣ノ運命ニ關スルガ如キニマデ立至ツタ大問題デアリマス、所ガ僅ナ歲月ヲ經マスルト、最早忘レラレタコトニナリマシテ、百五十万圓位デ宜カラウ、此中ニドノ位尼港ノ分ガアルカ存ジマセヌガ、政府ノ措置ガ冷淡デハナイカト云フコトヲ感ズルノデアリマス、果シテ三千万圓ハ非常ニ不當デアルカ、百五十万圓ノ中ヲ「ニコライエフスク」ノ遭難者ニ與ヘテ、ソレガ我國民ガ彼等ニ對スル態度トシテ相當デアルカ否ヤ、其他百五十万圓ノ外ニ何カ「ニコライエフスク」ノ遭難者ニ對シテハ、相當弔慰ノ方法ガ講ゼラレテ居ルノデアリマスカ、是等ノ點ニ付テ寧ロ政府委員ヨリ一應御答ヲ願ヒタイト存ジマス

〔政府委員田中都吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中都吉君) 最後ノ御質問ニ答辯イタシマス、尼港ノ事件ノ損害ヲ將來ドウ云フ風ニシテ補償ヲ致シマスカト云フコトハ別問題デゴザイマシテ、只今ノ所デハ救恤ノ問題ト致シマシテ他ノ問題ト引括メマシテ、百五十万圓ノ見當ニ於テ救恤ヲスル、斯ウ云フ考デゴザイマス

○阪本鉄之助君 少シ皆サンノ御咳拂ヒナドガ高ウゴザイマシテ、能クハッキリ致シマセヌデシタガ、尼港ヲドウナサルト云フコトデスカ、モウ少シ明瞭ニ御答辯ヲ願ヒタイ

〔政府委員田中都吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中都吉君) 尻港ノ損害ヲドウ云フ風ニシテ補償スルカト云フコトニ付マシテハ、將來ノ問題デアリマシテ、只今ノ法案ノ問題ト致シマシテハ、他ノ事件ト引括メマシテ救恤ヲスルノデゴザイマス、其損害ノ補償ト云フコトハ又別ナ問題ニナリマス

○阪本鉄之助君 成程損害賠償ト救恤ト云フコトトハ自ラ別ガアルカ存ジマセヌガ、其損害ハ他日ノ問題ト云フコトハ、完全ナ政府デモ出來タ後ト云フコトデアルカ存ジマセヌガ、是ハ誠ニ前途遼遠ナ話デアリマシテ、既ニ我國ハ彼ノ地ヲ占領イタシテ、相當ニ後ノ出來ルマデ待ツト云フ今日ノ狀況ニナツテ居リマス、即チ救恤ト云フコトヲ致ス以上ハ、彼等遺族ノ満足ヲ致ス、又死ンダ所ノ亡靈ヲ慰メルト云フコトニ付テハ、出來ルダケノ我國民ニ弔慰

ヲ與ヘタイト存ズルノデアリマスガ、損害賠償ト云フコトハドウ云フコトニナルノデアリマスカ、今度ヤリマス人ハ生命ノ損害賠償……語弊ガアリマスガ、生命ニ付テノ損害賠償デアリマスカ、或ハ唯香奠ト云フヤウナ意味デアリマスカ、損害賠償ト云フコトニナリマスト、ドウ云フコトニナリマシテ、凡ソドウ云フ風ニ御取扱ニナル御腹案ガアルノデアリマスカ、之ヲ伺ッテ置キタイ

〔政府委員田中都吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中都吉君) 只今問題ニナツテ居リマスル法案ノ趣意ハ、損害賠償デハゴザイマセヌ、救恤ト云フコトニナツテ居リマス、損害賠償ハ只今申シマス通り、是ハ將來ノ問題ニ讓ルヨリ外ニ仕方ガナイト思ヒマス

○阪本鉄之助君 聰イヤウデアリマスガ、隨分モウ尼港事件モ久シイコトデゴザイマスガ、他日ノ問題ト云フノハドウ云フコトデス、他日ト云フノハドウ云フ時ヲ云フノデアリマスカ、全ク是ハ只今中シタ通リ香料同様ナ誠ニ唯、一時ノ慰問ノ爲メ御出シニナルノデアッテ、全體ノ財産ヲ失ヒシタ者トシテハドウ云フヤウニ見積リヲ致シテ御要求ニナルノデアリマスカ、或ハ政府ガ御出シニナルノデアリマスカ、唯他日ノ問題ト云フコトデハ如何ニモ賴リナイヤウニ存ジマスガ、政府ハドウ云フヤウナ御考デ居ラッシャルカト云フコトモウ一度伺ヒタイ

〔政府委員田中都吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中都吉君) 尼港事件ノ解決ニ付マシテハ、御承知ノ通り其解

決ガ著キマスルマデ、即チ露西亞ニ交渉スベキ正當ノ政府ガ出來マスマデハ占領ハシキ軍隊ヲ派遣シテ占領マデシテ、其解決ノ時機ヲ待ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、從ヒマシテ此解決ノ日ハ成程只今阪本サンノ仰セラレタヤウニ、多少將來漠然デアリマスルケレドモ、併シ今カラシテ明確ニ何時解決スル、ドウ云フ方法ヲ以テ解決スルト云フコトハ申上ゲル譯ニ行カナイト考ヘマス

○矢口長右衛門君 本員ハ本案ニ對スル質疑ガアリマス、御許シヲ願ヒタウゴザイマス、過日本案ノ提案サレマシタ時分ニ、外務大臣ハ斯様ナル御答辯ヲ本員ノ質問ニ對シテ致シタ心得テ居リマス、是ハ所謂應急的ノ救恤デアル、ソレデ所謂損害賠償トカ云フコトハ、是ハ露國ノ公認政府ト十分ノ協定ヲ相當ノ時機ニ於テスルト云フコトニ、私ハ承知イタシテ居リマス、外務大

臣ガ斯様ナル主要ナ問題ニ當テ出席ノナイコトハ甚ダ遺憾ト致シマスルガ、本員ハ斯様ニ了解イタシテ居リマス、尙ホ條項ニ付テ伺ヒタノハ、本法ノ

第五條ニ救恤審査會ト云フコトガゴザイマスガ、是ハ法案ガ通過イタシマスレバ、直ク組織イタスト云フ御考デゴザイマスカ、又如何ナル方法等ニ依テス、政府委員ヨリ御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員田中都吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中都吉君) 前段ニ申サレマシタコトニ付マシテハ、別ニ私カヲ答辯ノ必要ハナイカト存ジマスガ、後段ニ御述べニナリマシタ事柄ニ付マシテハ、此法律ガ出來マシタ後ニ、勅令ヲ以テ審査委員會ノ規定ヲ拵ヘル筈ニナツテ居リマス、委員ノ構成ニ付マシテハ大體只今委員長ノ御報告ノ通リ、各省ノ吏員ヲ以テ之ニ充テマスルガ、尙ホ必要ナラバ其他ノ者ヲ加ヘルコトモアラウト存ジマス

○矢口長右衛門君 第一ノ質問ハソレデ宜シウゴザイマス、速記等ニモ載テ居ルコトデアリマスカラ、此上御答辯ハ求メマセヌ、第二ノコトハ唯今委員長ノ報告ガ頗ル聲ガ小サイガ爲ニ聽取レナカツタノデゴザイマスガ、唯今ノ御答辯ハ是デ了解イタシマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 本案ヲ第二讀會ニ移シテ、御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵柳筍隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 贊成
○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵柳筍隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマスカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第三讀會ノ開催ニ關スル法律案異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十九、第一讀會ノ續、委員長報告、吉井伯爵

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十日

右特別委員長

伯爵吉井幸藏

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 銅真鍮及青銅ノ輸入税ニ關スル法律案、此法案ヲ提出ニナリマシタ理由ハ、近來銅ノ價格ガ安クナリマシテ、サウシテ外國カラ銅ノ輸入ガアルヤウニナリマシテ、本邦ノ銅產業ノ廢滅ヲ來サムトスル虞レガアリマスノデ、之ヲ豫防スルガ爲ニ關稅ヲ増課シヤウト云フ案デアリマス、委員會ニ於キマシテハ數回開キマシテ、政府ノ説明及ビ委員カラ多數ノ質問ガアリマシタガ、其多クハ先日本案ヲ本院ニ提出ニナリマシタ時、東郷男爵カラ誠ニ精シイ御質問ヲナサレマシテ、多クハ其範圍内ノモノデアリマシテ、尤モ其外ノ委員カラセ色ニナ質問ガアリマシタガ、事柄ハ多クアノ範圍内デアリ少精シイコトモアリマシタケレドモ、特ニ茲ニ其經過ヲ御報告申上ゲル程ノモノモアリマセヌ、デドウ云フ譯デ斯ウナツタカト云フト、委員會ノ調査ノ結果銅ノ生産高ガ戰前ニ於キマシテハ、本邦デハ六七万噸、戰時中ニ於キマシテハ殆ド十七万噸ノ生産高ニ達シタコトガアリマスノガ、戰後ニ段々減リマ

シテ昨年ハ僅ニ五万餘噸ニナツタノデアリマス、サウシテ價格モ大變下落致シ
マシテ、前ニ七十圓モシタモノガ昨年ハ、又今日ニ於キマシテハ四十圓内外
ニ下落シマシテ、内地ノ生產費ヨリモ餘程下ニナツテ居ル、ソレガ爲ニ銅產
業者ハ非常ニ困難イタシテ居リマス、日本ニハ銅ノ礦山デ重要礦山トスル、
毎年五万斤以上生產スル銅山ガアツタノデアリマスガ、ソレモ遂ニ休山或ハ
廢山ヲ致シマシテ、今日ハ七十位ニ減ジテ居リマス、斯様ナ場合ニ於キマシ
テ大戰後世界ニ銅ガ餘リマシテ、殊ニ亞米利加ニ大變ナ滯貨ガアリマシテソ
レガ爲ト、ソレカラ亞米利加ノ方ノ生產費ガ安イ爲ニ、内地ニ、日本ニ、外國
カラ日本ノ生產費ヨリモ安ク銅ガ到著スルヤウニナリマシテ、益、生產業者
ハ困難ヲ來シタ譯デアリマシテ、此儀ニ放任シテ置ケバ到底殘ッテ居ル山モ
ソレヲ維持スルコトガ出來ナクナツテ、遂ニ古來ヨリ日本ニアル原料ヲ以テ
營ンデ來テ居ツタ、此重要ナル產業ガ廢滅ニ歸セムトスルノデアリマス、ソ
レデ之ヲ關稅ヲ增加シテ豫防シヤウ、斯ウ云フノデアリマス、ソレデ外國銅
ガ今横濱ニ著キマスノハ三十八圓餘、本邦ノ生產費ガ四十五圓以上ニナツテ
居ル、差引七圓位ノ差ニナリマス、ソレデ茲デ五圓八十錢ダケヲ從來ノ稅額
ニ増加イタシマシテ、銅百斤ニ付テモ七圓ノ關稅ヲ掛ケルト云フコトニスル
案デリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ、前申シマシタ通り多數ノ質問ガ
ゴザイマシタガ、大體ノコトハ先日東郷男爵ノ御質問ヤラ政府ノ答辯等ガア
リマシテ、ソレデ盡シテ居リマス、ソレデ委員會ニ於キマシテ、特ニ御報告
申上ゲルヤウナコトモゴザイマセヌガ、委員ノ一人ヨリ御希望ガアリマシ
タ、ソレハ此銅ノ產業ガ斯ノ如キ慘狀ニ至ルマデノ間ニ、當業者ハドウ云フ
コトヲシタカト云フ問題ガ、質問中ニ度ニアリマシタガ、ドウモ其ヤリ方ガ
不誠實ナ點ガアツタヤウニ思ハレタノデアリマス、且ツ又政府モ十分ニ此コ
トニ付テ指導注意ヲシナカツタヤウナコトニモ思ハレルノデアリマス、ソレ
デ委員ノ一人ヨリ將來ニ對シテ、銅業者モモウ少シ唯自身ノコトノミ考ヘ
ズ、此事業ニ付テハ日本ノ重要ナル事業デアルカラ、少シク國ノ爲ニモ考ヘ
テ、サウシテ成ヘク此事業ノ將來ノ維持ガ出來ルヤウニ
シテ費ヒタイ、政府モ亦之ヲ指導監督スルコトニ注意サレタイト云フヤウナ
意味デアリマシタ、外ニ反對ノ御意見モナクテ、斯クシテ保護シテ置イタナ
ラバ、世界ノ經濟界ガ直リ、銅ノ需要ガ多クナツテ來タラバ、又價格モ上ルデ
アラウ、從來ニ復スルコトガアルデアラウト云フ意味デ委員會ハ全會一致デ

本案ハ可決スベキモノナリト決定イタシマシタ、此段御報告イタシマス
○議長(公爵德川家達君) 本案ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌ
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵樺笥隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、
全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵樺笥隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ニ御諮詢致シタイコトガゴザイマス、衆議院
ヨリ送付ニ相成リマシタ狩獵法中改正法律案、並ニ取引所稅法中改正法律案
ノ兩案ノ第一讀會ヲ、此際議事日程ヲ變更シテ開キタイト存ジマスガ、御異存
ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 狩獵法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付狩獵法中改正法律案候也

大正十一年三月二十二日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

(小字衆議院ノ修正、一同削除ノ符號ナリ)

狩獵法中左ノ通改正ス

第八條 狩獵免許ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免許稅ヲ納ム
ヘシ

一等 所得稅二百圓以上ヲ納ムル者又ハ其ノ家族

五十圓

二等 所得稅ヲ納ムル者又ハ其ノ家族

三十圓

三等 一等ト^{○及}二等及四等以外ノ者

十五圓

四等 主トシテ狩獵ヲ以テ生計ヲ立ツル者

五圓

前項四等ニ該當スル者ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ免許稅ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第十一條中「狩獵ヲ爲ス」ヲ「鳥獸ヲ捕獲スル」ニ改ム

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 本改正案ノ目的ハ、免許稅ノ増額ニ依リマシテ、狩獵者ノ數ヲ相當ニ制限ヲシタイト云フコトト、御獵場、禁獵區等ニ於ケル鳥獸ノ捕獲ヲ禁止シテ、鳥獸保護ノ目的ヲ達セムトスル趣旨ニアリマス、狩獵者ノ數ハ近年益々増加イタシマシテ、現行法制定當時、免許稅率ニ多少ノ引上ヲ行ヒマシタノニモ拘リマセズ、追々増加ヲ來シツツアルノニアリマス、斯ノ如ク相成リマスルト野生鳥獸ノ激減ハ勢ヒ免カレヌノニアリマス、税率ノ引上ヲ茲ニ行ヒマシテ、狩獵者ノ數ヲ相當ノ程度ニ抑制スルノ必要ガアルノニアリマス、而シテ現行法ニ於キマシテハ、御獵場禁獵區公道等ニ於

キマシテ單ニ狩獵ヲ禁止スルニ止マリ、法定獵具ノ使用以外ノ方法ニ依ル鳥獸ノ捕獲ハ之ヲ認容シテ居リマス、鳥獸ノ繁殖ヲ妨ゲルコトガ少ナクナインデアリマス、斯ノ如キ次第ニアリマスカラシテ、是等ノ場所ニ於テハ鳥獸ノ捕獲ヲモ禁止シ、前者ト相俟チマシテ一層鳥獸保護ノ目的ヲ達セムト致シマス次第ニアリマス、而シテ此案ニ付キマシテハ衆議院ニ於テ修正ヲ加フル所ガアリマシタガ、政府提出ノ趣旨ニ付キマシテ、少シモ變ツタコトガゴザイマセヌ故ニ、其衆議院ノ修正案ニ同意イタシタル次第ニアリマス、何卒御協賛アラムコトヲ願ヒマス

〔男爵毛利五郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 毛利男爵ハ御質疑デスカ

○男爵毛利五郎君 質問ガアリマス

○男爵毛利五郎君 唯今狩獵法ノ改正ニ付テ農商務大臣ヨリ御説明ガアリマシタガ、私ハ斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ、唯徒ニ狩獵稅ヲ上ゲマシタ所デ、決シテ取締ノ付クモノデハナイト思ヒマス、此主ナル目的ハ狩獵稅金ヲ上ゲテ

收入ヲ殖ヤサウト云フノデハアリマセヌカト思ヒマス、又取締取締ト仰シヤイマスガ、實際ニ於テ一ツモ取締ガ付テ居ラヌ、現ニ私ノ存シテ居リマス所ニ依リマスト、十月十五日ヨリ雉ノ獵ヲ始メテ居ル者ガ澤山アリマス、サウシテ公然其鳥ヲ持ッテ歩イテ居ルノヲ見テモ、巡查ガソレラ咎メナイ所ガ多クアルノニアリマス、如何ニ鳥獸ヲ保護スルト仰シヤリマスガ、此取締ガ十分デナニ以上ハ、假令狩獵稅ヲ御上げニナリマシテモ、是ハ完全ニ行ハ困ルノニアリマス、サウ云フ次第ニアリマシテモ、是ハ完全ニ行ハヌコトト思ヒマス、現ニ益々近來ニ於テ密獵ヤ犯罪人ノ數ガ非常ニ殖エテ

カ、之ヲ第一ニ伺ヒタイト思ヒマス、第二ニ鳥ノ繁殖ヲ圖ル爲ニ獵區ヲ設定サレテ居リマスガ、此獵區ト云フモノガ設定サレタ後ニ、如何ニ獵區ガ出來タカト云フト、東京附近ニ十箇村ニ獵區ガ出來マシタガ、全國デハ僅ニ三四箇所シカナ、是ハ獵區ノ制度ガ不完全デアル、即チ鳥獸ヲ保護スルニハ費用ガ要リマス、其費用ハ僅ニ二圓三圓ノ入場料デハソレヲ補フト云フコトハ非常ニ困難ニアリマス、若シ鳥ノ繁殖ヲ圖ルナラバ、或方法ヲ以テ完全ナル方法デヤツタラ宜カラウト思ヒマス、多數ノ人ヲ入レマシテ、無暗ニ鳥ヲ捕リマシタ所デ、ソレハ保護シ繁殖サセル目的ニハ叶ハナイヤウニ考ヘテ居リ

マス、私ハ獵區ノ數ヲ御尋シタイ、此獵區ノ數デハ鳥ノ繁殖ハ十分デナイト思ヒマスカラ、此コトヲ伺ヒタイ、又第三ニ御尋シタイノハ、政府ハ衆議院ノ修正ニ同意サレテ居ルヤウデアリマスガ、衆議院ハ多大ナル此稅金ニ對シテ削減ヲシタノデアリマス、即チ一等ノ稅金ガ唯今ハ四十五圓ト思ヒマスガ、五圓シカ増サナイノデアリマシテ、二等同様デ、之デ政府ノ目的トセラレル所ノ稅額ヲ上ゲテカラニ、鳥ノ繁殖ヲ圖ルト云フコトニ對シテ、甚ダ矛盾シテ居リハシナイカト思ヒマス、此衆議院ノ修正ニ御賛成ニナッタノハ如何ナル理由デアリマスカ、此三點ニ對シテ御答辯ヲ願ヒタイ

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) チヨト御質問ヲ委シク聞取リマセヌカラ、或ハ間違フカ知レマセヌガ、第一番ニハ是マデ狩獵法ニ依テ捕獲ノ色ノノ制限又監督ナドヲシテ居ツタガ、ドウモ效能ガ少ナイ、是ハ如何ナルモノカト云フ問ヒノヤウニ承知イタシテ居リマスガ、政府ニ於キマシテモ御同感ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ドウモ是マデノ取締ニ於キマシテハ、十分ニナッテ居ルト考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソレハ矢張經費ニ於テ十分ニ掛ツテ居リマセヌ爲ニ、遂ニ監督ニ於テ十分ニ行届カズ、又獵區ニ於キマシテモ取締ノ如キモノモ十分デナシ、又數モ少ナインデアリマスカラシテ、此度稅ヲ變ヘマシテ、サウシテ多クノ免許稅ヲ得マシテ、其金ノ多クヲバ此後ニ於キマスル監督ト、サウシテ禁獵區又獵區ナリニ付テノ數モ殖シマシテ、完全ニシタイト云フ考デアリマス、ソレカラ衆議院ニ於キマシテ此免許料ニ付マシテ修正ヲ加ヘラレマシタノヲ見マスルト、高イ方ノモノヲヒドク減ジマシテ、サウシテ政府デ出シマシタル職業稅ノ一番低イモノヲ高クスルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、元ト捕獲ガ餘リ多ク、爲ニ段々減ジテ來ルト云フ其激變ヲ防イデ、サウシテ繁殖ヲ圖リタイト云フコトデアリマス、所デ此職業トナルベキ下ノ方ノモノガ、多ク其方ニ專心掛ツテ來ルモノデアリマスカラシテ、此方ガ餘リ盛ニナリマスト、遂ニハ保護ノ目的ヲ遂ゲナイコトニ相成リマスカラ、却テ其下ノ是等ノモノヲ上ゲテ置イタナラバ、捕獲ニ付テ多少ノ緩和ガ起ルモノト思フノデアリマス、斯ク衆議院ノ修正ニ依リマスト、矢張鳥獸ノ捕獲ヲ減ズル上ニ付、サウシテ其捕獲者ノ數ヲ減ズルコトニ付マシテ目的ヲ遂ゲルコトト思ヒマスカラシテ、衆議院ノ修正案ニ同意シタ次第デアリマス

○男爵毛利五郎君 獵區ノ制度ニ付マシテハ他日御話イタシマス、今日ハソレデ措キマシテ、唯今ノ御辯明ニ依リマスト、是ダケノ稅ヲ増シマシテモ、此稅額ヲ以テカラニ、密獵其他ヲ十分ニ取締ルト云フ御答辯ダッタト思ヒマスガ、左様デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、其次ニ初メ政府ガ御出シニナッタ原案通リデアツタナラバ、凡ソ稅額ハドノ位ニモノデアリマスカ、又衆議院ノ修正ノ通リニナリマスト、凡ソドノ位ニナルカト云フコトヲ伺ヒタイ、私ハ百圓ヲ五十圓ニ下ケタノデアルカラ、非常ニ收入ガ違ヒハセヌカト思フノデアリマスガ、ソレヲ御伺シタイノデアリマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此度免許稅ヲ改正イタシマシテ、ソレヨリ收得ガアリマスレバ、其方ノ多クハ此獵區監督ニ付マシテ、多クヲ費シタイ考デアリマス、元ト原案デ出シマシタモノハ、約金額ニ於テ百二十萬位ヲ目的トシタコトデアリマス、此度衆議院ニ於テ改正ライタシマシタル其案ニ依リマシテモ、總額ニ於テハ餘リ増減ノナイ稍、同シ位ノ額ニ達スルデアラウト考ヘルノデアリマス

狩獵法中改正法律案特別委員

候爵德川 團順君	伯爵川村 鐵太郎君	子爵伊集院 兼知君
男爵宇佐川 一正君	玉利 喜造君	男爵永山 盛興君
仁尾 惟茂君	山田 敏君	高橋 隆一君

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發言モナイト認メマスカラ、本案特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス
〔長書記官朗讀〕

取引所稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十一年三月二十二日

衆議院議長 奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

取引所稅法中改正法律案

取引所税法中左ノ通改正ス

第五條 取引所ニ於ケル賣買取引ニシテ差金ノ授受ニ依リテ決済ヲ爲シ得ルモノニハ其ノ賣買各約定金高ニ對シ左ノ税率ニ依リ取引税ヲ課ス

第一種 地方債證券又ハ社債券ノ賣買取引

甲 七日以内ノ期限ヲ以テ履行期ト爲スヘキ
乙 取引ニ屬スルモノ

萬分ノ〇・六

第二種 有價證券ノ賣買取引

甲 七日以内ノ期限ヲ以テ履行期ト爲スヘキ
乙 其ノ他ノモノ

萬分ノ一

第三種 商品ノ賣買取引

甲 取引ニ屬スルモノ
乙 其ノ他ノモノ

萬分ノ一・五
萬分ノ二・五
萬分ノ二・五

第六條 削除

第七條中「定期取引」ヲ「賣買取引」ニ改ム

第八條中「仲買人」ヲ「取引員」ニ、「毎月分ノ定期取引」ヲ「取引税ヲ課セラルヘキ毎月分ノ賣買取引」ニ、「種別」ヲ「種別及其ノ區分」ニ改ム

第九條乃至第十四條、第十六條、第十八條、第十九條及第二十一條中「仲買人」ヲ「取引員」ニ改ム

第十七條中「定期取引」ヲ「賣買取引」ニ改メ第三項ヲ削ル

第十七條ノ二 取引所ニ於ケル賣買取引ニシテ第五條ニ規定スル賣買取引ニ該當セサルモノニ付差金ノ授受ニ依リテ決済ヲ爲シタルトキハ取引物件ノ種別ニ從ヒ其ノ最高税率ノ取引税ヲ課セラルヘキ賣買取引ヲ爲シテ脱税シタルモノト看做シ其ノ税率五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ其ノ税率ヲ徵收ス但シ税金二十圓未滿ナルトキハ罰金額ヲ百圓トス
前項ノ場合ニ於ケル税額ハ賣買各約定金高ニ依リ計算ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ爲シタル取引所ノ賣買取引ニ付テハ其ノ取引ノ結了ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル
〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 本案ノ説明ヲ致シマス、今回取引所法ガ改正

ヲサルルニ伴ヒマシテ、取引所税賦課方法並ニ税率ニ關スル規定ヲ改正スルノ必要ヲ認メマシテ、本案ヲ提出致シタ次第ニアリマス、其要點ヲ申上ダマス

レバ、第一ニハ現行取引所税法ニ依リマスト、定期取引ニ對シ取引税ヲ課税スルコトナツテ居リマス、今回ノ取引所法改正案ニ於テハ、定期取引ナ

ル要項モ取引所法カラ削除サレマシタ、故ニ取引所税法ニ於テ取引税ヲ課スベキ取引ヲ明カニスルコトガ必要トナツテ參リマシタ、依テ取引所ニ於ケル

取引中差金ノ授受ニ依リマシタ、依テ取引所税法ニ依リマスルト、新規ノ賣買ニ對シテ百分ノ五ノ税率ヲ以テ課稅ヲ致シ、轉賣買戻ニハ課稅致サナイコトニナツテ居ル、之ガ爲ニ自然轉賣買戻ニ依ル差金取引ヲ助長スルガ如キ

傾向ガアルノデアリマス、然ニ取引所法改正案ハ力メテ現物ノ授受ヲ獎勵イタシ、堅實ナル取引ヲ助長スルノ趣旨ヲ以テ立案セラレテ居ルノデアリマス

ノデ、此精神ニ順應スルガ爲ニ、取引所税法ニ於テ轉賣買戻ニモ課稅スルコト致シ、税率ニ付キマシテハ從來ノ萬分ノ五ノ税率ヲ折半致シマシテ、新規賣買タルト轉賣買戻タルトヲ問ハズ、總テノ賣買取引ニ付テ萬分ノ二・五ノ税率ヲ以テ課稅スルコトニ改正ヲ致シマシタ、第三ニハ取引所税法ノ改正案ニ依リマスルト、有價證券ノ取引ニ付キマシテハ、其最長期ヲ二箇月トスルコトニナツテ居リマスガ、尙此長期取引ノ外ニ、命令ヲ以テ短期ノ差金取引ヲ認ムルコトニ致シテ居リマスルガ、此短期ノ取引ハ有價證券ノ堅實ナル取引ヲ助長スル趣旨ニ出デタモノデアリマスカラ、其税率モ長期ノ取引ニ比シマシテ輕減スルコトヲ適當ト認メマシテ、其税率ヲ萬分ノ一・五ト致シマシタ、以トヲ希望致シマス

ムルコトニ致シテ居リマスルガ、此短期ノ取引ハ有價證券ノ堅實ナル取引ヲ認メマスルコトヲ適當ト認メマシテ、其税率モ長期ノ取引ニ比シマシテ輕減スルコトヲ適當ト認メマシテ、其税率ヲ萬分ノ一・五ト致シマシタ、以トヲ希望致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致セマス

取引所税法中改正法律案特別委員

伯爵奥平昌恭君 子爵榎本武憲君 和田彦次郎君

上山満之進君 男爵赤松範一君 男爵藤村義朗君

谷森眞男君 若槻禮次郎君 中村圓郎君

〔伯爵松平頼壽君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 松平伯爵ハドウ云フコトデスカ

○伯爵松平頼壽君 私ハ日程變更ノ動議ヲ提出イタシタウゴザイマス、ソレハ日程第二十ノ次ニ、即チ佐佐木侯爵外三名ノ發議ニ係ル綱紀肅正ニ關スル建議案ノ次ニ、前田子爵ノ發議ニ係ル綱紀肅正ニ關スル建議ヲ加フル、日程變更ノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵西大路吉光君 贊成

○子爵青木信光君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 只今ノ松平伯爵ノ侯爵佐佐木行忠君外三名發議ノ綱紀肅正ニ關スル建議案ノ議事ノ後ニ、前田子爵發議ノ建議案ヲ加ヘタイト

云フ動議ニ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ休憩ヲ致シマシテ

午後八時三十分ヨリ開會イタシマス

午後六時五十五分休憩

午後八時三十八分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セ

贊成者

侯爵佐佐木行忠 江木千之 男爵阪谷芳郎
谷森眞男

發議者

大正十一年三月二十日
右貴族院規則第六十九條ニ依リ提出候也

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ先刻ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、綱紀肅正ニ關スル建議案、侯爵佐佐木行忠君外三名發議、建議案ヲ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

綱紀肅正ニ關スル建議案

擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

簡易生命保險法中改正法律案可決報告書

裁判所構成法中改正法律案可決報告書

身元保證ニ關スル法律案修正報告書

民事訴訟法中改正法律案可決報告書

請願文書表第九回報告書

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案

土地收用法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ先刻ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、綱紀

肅正ニ關スル建議案、侯爵佐佐木行忠君外三名發議、建議案ヲ朗讀ヲ致サセマス

男爵南岩倉 具威	中村 是公	上山 满之進
男爵平野 長祥	男爵山内 豊政	男爵若王子 文健
男爵徳川 厚	男爵船越 光之丞	男爵千秋 季隆
男爵北大路 實信	男爵斯波 忠三郎	男爵安場 末喜
男爵永山 武敏	男爵坪井 九八郎	男爵長松 篤棐
男爵島津 長丸	男爵神山 郡昭	男爵土屋 光金
男爵伊達 宗曜	男爵福原 俊九	男爵清水 資治
男爵永山 盛興	男爵横山 隆俊	男爵岩倉 道俱
男爵赤松 範一	男爵今園 國貞	男爵佐竹 義準
男爵藤村 義朗	男爵二條 正磨	男爵郷 誠之助
男爵小畑 大太郎	男爵調所 恒徳	男爵野田 龜喜
男爵東郷 安	男爵池田 長康	男爵中川 良長
男爵辻 太郎	男爵矢吹 省三	男爵島津 健之助
男爵周布 兼道	男爵寺島 敏三	男爵高崎 弓彥
男爵藤田 平太郎	三宅 秀	何 禮 之
鍋島 桂次郎	若槻 禮次郎	高田 早苗
阪本 彰之助	菅原 通敬	伊澤 多喜男
田所 美治	西久保 弘道	江木 翼
湯淺 倉平	永田 秀次郎	星島 謙一郎
西川 甚五郎	高橋 隆一	
貴族院議長公爵徳川家達殿		
綱紀肅正ニ關スル建議		

第四十四回 帝國議會貴族院豫算委員會ハ時弊ニ鑑ミ綱紀肅正ノ緊要ナルヲ認メ政府ニ對シ切ニ勸告スル所アリ、然ルニ爾來政府ノ施設スル所殆ンド見ルヘキモノナク綱紀ノ弛廢益甚シキヲ加フルノ情況依然タリ貴族院ハ國家ノ爲深憂措ク能ハス當局ノ所爲ニ付テハ斷シテ満足スルコトヲ得ス政府ハ速ニ適切ノ措置ヲ執ルヘシ

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ唯今日程ニ上ボリマシタ建議案ノ、提出ノ理由ヲ

説明イタシタイト考へマス、本議會ノ初リヨリ綱紀肅正ノ問題ヲ以テ、盛ニ質疑應答ガゴザイマシタ、今日ニ至ルマデ豫算委員會其他鐵道敷設法等ノ案ニ付マシテモ、綱紀肅正ト云フ問題ハ、始終我ミノ頭ヲ離レズシテ、其問題ガ論議セラレタノデアリマス、此議會ニ於テ如何ニ本院ガ重キヲ綱紀肅正ノ問題ニ置イタカト云フコトハ誠ニ明瞭デアルノデアリマス、是ハ偶然デナイト考ヘマスノデ單リ本院ガ其問題ニ付テ始終重キヲ置イタバカリデハナイ、世間一般此綱紀ノ肅正ト云フコトニ付テ、深イ皆考ヲ有シテ居リマス、所謂國論ト稱シテ差支ナイ、殆ド綱紀肅正ハ全國ノ問題デアリマス、デ此綱紀ノ肅正ノ問題ニ付マシテハ、昨年三月二十三日ノ本議場ニ於テ、豫算委員長ヨリ此綱紀肅正ニ付テノ本院ノ意思ノアル所ヲ希望ヲ述べラレ、滿場何等異議ノナカッタコトデゴザイマス、是ハ皆様ノ御記憶ニ存シテ明カルコトデハゴザイマスルケレドモ、一應其時ノ本院ノ希望ノ條文ヲ朗讀イタシタイト考ヘマス

近來國家ノ綱紀ノ漸ク弛廢シ外國威ノ進暢ヲ礙ケ内民心ノ安定ヲ缺キ征利私ヲ計リ義勇奉公ノ氣節將ニ萎靡セントス國家ノ大患之ニ過クルモノナク沟ニ深憂ニ堪ヘサルモノアリ政府ハ速ニ適切ノ方途ニ由リ時弊ヲ矯正シ庶政ヲ釐革シ公正ヲ主トシ民心ヲシテ倦怠ナカラシメンコトヲ望ム

誠ニ明瞭デアル、デ是ハ豫算委員總會ニ於テ一員ヨリ發議ニナリ、全會一致豫算委員會ガ通過イタシマシテ、三月二十三日ニ此議場ニ於テ其コトヲ委員長ヨリ述ベラレ、滿場異議ガナカッタコトデゴザイマス、其後現政府ガ何ヲ爲サレタカ、斯ウ考ヘマスルト云フト、獨リ此趣旨ノ實行ヲ政府ガ努メラレタト云フ形跡ヲ認メルコトガ出來ザルノミナラズ、事ハ豫期ニ反シテ益々綱紀ト云フモノハ紊亂ニ紊亂ヲ加ヘ、色ニナル忌ムベキ事實ガ世間ニ暴露シテ參ッタノデアリマス、茲ニ於テ昨年六月頃ニ世間一般ニ此綱紀肅正ト云フ議論ガ喧シカマシクナリマシテ、全國此綱紀肅正ト云フコトニ付テノ色ニナ議論ガ喧シクナッタノデゴザイマス、ソレデ我ニ同僚ノ中ニモ當時議會ハ會期中デハナイノデゴザイマスルケレドモ、此貴族院ノ希望ニ對シテ、又世ノ中ノ事柄ガ日ニ非ナルニ慨嘆イタシ、又世ノ中ノ議論ノ囂然タルニ深ク憂ヘマシテ、七月ノスル通リノ次第アルノデゴザイマス、然ニ其後又更ニ此綱紀肅正ニ付テ政

府ノ施設ノ何等著手セラレタル形跡モ亦實行ニ現ハレタモノモナク、世間ノ空氣ハ甚ダ險惡ニ傾イテ、一部ノ人々ハ非常ニ國家ノ前途ニ對シテ憂ヒテ居。タノデアリマスル、此際ニ於テ昨年十一月四日東京驛ニ於テ原總理大臣ガ一兎漢ノ爲ニ非命ノ最後ヲ遂グラレルト云フ、如何ニモ不祥ナル事件ガ發生致シタノデアリマスル、デ本院ト政府トノ關係ニ於キマシテ、此問題ガ今年ニ於テ愈々喧シクナッタト云フコトハ其理ノアルコトデ、是ハ當然ノコトデアルト本員ハ考ヘマスル、試ニ綱紀ノ紊亂弛廢ニ付テノ事實ヲ列舉致シテ見マスルト、實ニ其數多クシテ届指ニ暇アラズ、或ハ枚舉ニ暇アラズト申サナケレバナラナイ、殆ド數フルノ暇ガナイ、其主モナルモノニ付テ舉ゲテ見マシテモ、殆ド十本ノ指デハ足リナイ、斯ウ云フ有様デアリマスル、第一ニ所謂滿鐵問題ナルモノハ何事デアルカ、實ニ此滿鐵ノ重役ガ背信ノ行爲ヲシテ、非常ナル驚クベキ事柄ガ世間ニ暴露セラレタト云フコトデアリマスル、又大連ノ阿片問題、堂々タル政府ノ官吏、而モ民政署ノ長ヲシテ居ル者、又拓殖局ノ重要ナル位置ニ居ル堂々タル政府ノ官吏ガ、此事ニ關係シテ甚シク驚クベキ醜穢ナル事實ガ暴露セラレタノデアリマス、又大連取引所問題ト稱スルモノ如キハ、未ダ上奏裁可ヲ經ザル勅令ヲ、恰モ豫約シタル如キ方法ヲ以テ、此取引所ノ設立ヲ許シ賄賂ヲ強要スルト云フヤウナ、驚クベキ事柄デアリマス、又東京市ノ疑獄、是亦驚クベシト云フノ外評ノ仕様ノナイ出來事デアリマス、而モ其出來事ニ堂々タル府知事、或ハ警視廳ノ高等官ガ關係シテ居ルト云フニ至テハ、何事デアリマス、又寶塚ノ郵便局長事件ト稱スルモノニ至テハ、實ニ其綱紀ノ紊亂茲ニ至テ極マル、數百萬圓ノ印紙ガ盜取ラレテ、局长ニ依テ盜取ラレテ、サウシテ其事ガ容易ニ暴露セズニ居ツタ、暴露シテ見レバ其狀態ノ醜穢ナルコトハ、實ニ言フニ忍ビザル有様デアリマス、其不正ナル金錢ト云フモノハ、甚ダ面白カラザル人々ニ依テ使用セラレテ居ル、斯様ナ事實デアル、其他稅務官吏ノ疑獄、稅關官吏ノ疑獄、又選舉法ニ付テノ種種ナル忌ムベキ出來事、又郵便電信等ニ付マシテノ、甚シキハ配達スヘキ配達物ヲ途中ニ棄テ仕舞フトカ、或ハ其ノ有價證券ニ類スルモノヲ拔取ルトカ、實ニ綱紀ト云フモノハ地ヲ拂フト云フヤウナ有様デアリマスル、其外警察官ノコトナリ、各省一般ニ瓦ツテ新聞ニアリマスコトヲ學ゲ來ツテ見レバ、斯クマデニ綱紀ガ紊亂スルト云フコトハ、ドウシタコトカト驚ク程デアリマスル、又大連ニ於ケル所謂金建問題ト稱スル如キモノハ、金デアレ、銀デア

レ、是ハ即チ商賣人ノ自由デ宜イ事柄デアル、然ニ何デモノヲ使ハナケレバナラヌ、金建ニセナケレバナラヌト云フ所カラ、大連ニ於ケル有力ナル支那人ヲ逐出ストカ、或ハ命ニ從ハザル者ニ警察官ヲ附ケルトカ、種々ナル暴政ヲ行ウテ居ル、取引ノ自由ヲモ認メヌト云フヤウナ有様デアル、又朝鮮銀行ガ大連ノ株式信託ト云フモノニ關係イタシテ居ル事件ノ如キハ、監督官廳トシテ特殊銀行ノ監督ハドウシテ居ルノデアルカ、特殊銀行ガ相場ニ手ヲ出シテ居ル、一會社ノ株十萬株ノ中ノ殆ド九萬何千株ト云フモノヲ、抱キ込ンデ居ルト云フヤウナ事柄モ起ツテ居ルノデアル、又現在ニ於テ學校騷動、京都ニ於ケル高等學校ノ騷動、是モ即チ昨今ノ事柄デアル、文部大臣ノ威信ト云フモノハ何所ニアルノデアルカ、殊ニ昇格問題ト云フモノハ、是ハ立法府ノ仕事デアル、其昇格問題ニ付テ是非ノ未ダ決定セザルニ、關係ノ學校ノ教員生徒ハ非常ナ運動ヲシテ居ル、殆ド日々ノ學事ヲ拋擲シテ運動ヲシテ居ル、文部大臣ノ威信ト云フモノハ地ヲ拂ツテ居ルト言ハナケレバナラナイ、今舉グマシタノハ如何ニ綱紀ガ弛廢シ、紊亂イタシテ居ルカト云フコトニ付テノ、主モナル事項ヲ例證シタノニ過ギマセヌノデ、前申ス如クニ殆ド數ヘ盡スコトセ出來ヌ、デ恐ラクハ唯今舉グマシタ事項ノ一つノ事ガアツテモ、若モ是ガ歐シタノハ如何ニ綱紀ガ弛廢シ、紊亂イタシテ居ルカト云フコトニ付テノ、主モナル事項ヲ例證シタノニ過ギマセヌノデ、前申ス如クニ數多ノ不都合ナル事件ガ續出イタシテ居ツテ、而モ貴族院ハソレガ爲ニ希望ヲ述べ、又會期中デナクテモ有志トシテ、時ノ總理大臣ニモ忠告ヲ與ヘルト云フ、種々ナル手續ヲ執ツテ居ルニモ拘ハラズ、更ニ綱紀ノ肅正ノ實ヲ見ヌノハ、抑、政府ガ力ノナイノデアルカ、又爲サヌノデアルカ、殊ニ唯今列舉イタシマシタ不都合ナル事件ノ多クハ、九年二月衆議院ノ解散後ニ多ク起ツテ居ルノデアリマス、是ハ仲小路君モ屢々論ゼラレタル如クニ、二月ノ解散ト云フモノニ對シテ、次ノ總選舉即チ五月十日ノ總選舉ニ於テドウシテモ政府ガ多數ヲ得ナケレバナラヌト云フ事情ニ迫ツテ、次第次第ニ斯ル不都合ナル事態ヲ簇生シタト云フコトヲ述ベテ居ラルノデアリマスケレドモ、事實ハ九年二月ノ解散後ニ起ツタコトガ多イ、而モ其檢事ノ調べニ依テ見ルト、其金錢ノ行先ト云フモノハ總選舉ノ費用ニ使ツタ、總選舉ノ費用ニ使ツタト云フコトガ事實デアル、デ固ヨリ此歐羅巴大戰以後ニ於キマシテ、一時我國ノ貿易ガ非常ナル増進ヲ爲シ、即チ世界列強ガ專ラ戰爭ニ從事シテ、我國カラ多クノ需要品ヲ求メルト云フ時

代ニナツタガ、非常ニ日本ノ商工業ガ繁昌シテ、是ガ爲ニ所謂此成金氣分ト云フモノガ日本ニ生ジテ參ツテ、大成金モアル、中成金モアル、小成金モアルガ、上下舉ツテ此不時ノ儲ケノ爲ニ、個人道徳社會道徳ト云フモノガ著シク破壊セラレタト云フ事實ハ、無論認メナケレバナラヌ、高橋總理大臣ガ國民ノ自覺ニ俟タネバナラヌト云フコトヲ屢々仰シヤルノハ即チ此點デアル、即チサウ云フヤウナ狀態モアルト云フコトハ固ヨリ我ム認ムルノデアル、アルケレドモ、併ナガラソレガ爲ニ綱紀ヲ頽廢セシメ、斯ル不都合ヲ生ジタト云フコトノ責任ヲ、其罪ノミニ歸シテ免ルルト云フ譯ニハ私ハ到底イカヌモノト思フ、殊ニ現内閣ガ此戰時ノ財政經濟ニ付テ執ラレタ其方針ト云フモノハ、其宜シキヲ得ズシテ、財政經濟ハ非常ナル放漫ナル政策ヲ執ラレ、物價ノ調節ハ其宜シキヲ誤リ、今日ノ財政ニ現レタル不健全ナル事實ト云フモノハ、其責任ノ大半ハ内閣ノ方針其宜シキヲ得ナカツタト云フコトニ歸セナケレバナラナイ、此事ニ付テハ本員ガ屢々政府ニ向ツテ警告シ論議シタコトデアリマス、併シ私ハ今日其政府ノ幾多ノ失敗、財政經濟ニ付テ、外交教育其他ニ付テノ幾多ノ政府ノ失政ハアルガ、其失政ニ付テ今日論ゼムトスルノデハアリマセヌ、唯其綱紀ノ弛廢ニ關スル點ニ付テ論ズルニ止メルノデアリマス、如何トナレバ綱紀ト云フモノガ萬事ノ本デアル、苟モ此綱紀ガ素レタナラバ、決シテ此ノ國家ノ健全ナル發達ヲ期スルコトハ出來ヌ、綱紀……即チ國ニ綱紀ガナクナリ、國ノ綱紀ガ弛ンダナラバ、萬事悉ク紊亂ニ陥ル、ドウシテモ此綱紀ト云フモノガ健全ナル効ガ出來ナクナツテ仕舞フ譯ニナルノデス、殊ニ現内閣ハ所謂政黨内閣ノ始リデアル、政黨内閣ト云フコトニ付テモ色ムナ解釋モゴザイマセウガ、兎ニ角現内閣ハ政友會ヲ基礎トシテ、陸海軍大臣ヲ除クノ外ハ其黨員ヲ以テ組織セラレテ居ル、所謂政黨内閣デアル、ソレ故ニ我ムハドウカ此内閣ガ政治ニ於テモ成功セラレ、又其ノ内閣ノ交代セラル場合ニ於テ行クノデアル、然ニ若シ餘リニ此政治ノ濃厚ナルガ爲ニ、又自黨自派ニ濃厚ナルガ爲ニ、責任ガアツテモ少シモ其責任ヲ顧ミヌト云フヤウナコトデアルト、遂ニ累ヲ皇室ノ方ニ及ボスト云フ虞ガナイトモ限ラナイノデアリマス、モ、政黨内閣ノ取ルベキ立憲的ノ順路ヲ踏マレルヤウニ致シタイト云フコトヲ望ンデ已マヌノデアリマス、然ニ今申シマシタ如クニ、現内閣ニ於テ一般ノ財政經濟、外交等ノ失政ノ多イト云フコトハ暫ク措イテ、此綱紀ノ問題ニ付テ斯ノ如クニ不都合ナル事件ノ、甚シク續出シタト云フコトニ至リマシタノハ、本員等ノ最モ嘆息ニ堪ヘヌ、ドウゾ現内閣ヲシテ成功セシメ、日本ニ於テ立憲政治ノ運行ノ良クナルヤウニト希望シテ居タノデアルニモ拘ラズ、斯ノ如クニ不都合ガ特ニ此内閣ノ時代、又九年二月ノ解散以後續出スルニ至

タト云フコトハ、非常ニ慨嘆ニ堪ヘヌノデアリマス、デ既往ノコトハ既ニ追フコトハ出來ヌ、出來タコトハ出來タコトデ既ニ追フコトハ出來ヌノデアルガ、ドウカ成ベク今後ノ處置ニ於テ、内閣ガ立憲的ノ順路ヲ採ラレルヤウニ希望シテ止マヌノデアル、元來此立憲政治ト云フモノハ餘リ濃厚ニナツテハナラヌ、先日高橋總理大臣モ政治ナリ又政權ナリガ、宗教ニナツテハ困ルト云フコトヲ言ハレタノハ、誠ニ當ヲ得タ御言葉ト思フノデアリマシテ、ドウカ其御考ガ總理大臣ニモアリタイ、政治ト云フモノガ餘リニ濃厚ニナツテ、何デモ自分ノ内閣、自分ノ黨派ノシタコトニハ誤リハナイ、又他ノ黨派ノモノ、他人ノ言フコトハ皆間違テ居ル、斯ウ云フ風ニナツテ仕舞フト云フト、殆ド立憲政治ト云フモノハ行ハレナイコトニナツテ仕舞フ、歐米ノ政治ガ圓滿ニ行ハレルト云フモノハ、其政治ニ對シテハ勿論熱心デアリマスケレドモ、各、主義方針ト云フモノヲ以テ互ニ政友トナツテ、サウシテ此進退若クハ局面轉換等ノ場合ニ於テ、極メテ淡白ニ行ハレルト云フコトガ、立憲政治ノ善良ナル發達ヲ爲ス所以デアルト、本員ハ信ズルノデアリマス、然ニ現内閣ノ御處爲ニ付テ見マスト云フト、事務ガドウモ餘リニ黨派ニ偏シテ、自黨ニ偏シテ、所謂政治ガ濃厚ニナリ過ギタト云フ嫌ガアリハセヌカト、本員ハ思フノデアリマス、其結果遂ニ責任内閣ト云フモノノ實ガ薄ライデ來ル、如何ナルコトヲシテモ多數デアレバ宜イ、斯ウ云フ風ニナツテ來テ、責任内閣ト云フモノノ實ガ薄ラダト、其責任ト云フモノノ、責任内閣ノ薄ライダ點ト云フモノガ、畏レ多クモ累ヲ皇室ニ及ボスヤウニナツテ來ヤシナイカ、即チ天皇ハ神聖ニシテ侵スペカラズ、其所ニ内閣ガアツテ總テノ責任ヲ取ルカラ、是ガ圓滿ニ行ハレテト、遂ニ累ヲ皇室ノ方ニ及ボスト云フ虞ガナイトモ限ラナイノデアリマス、ナルガ爲ニ、責任ガアツテモ少シモ其責任ヲ顧ミヌト云フヤウナコトデアルト、遂ニ累ヲ皇室ノ方ニ及ボスト云フ虞ガナイトモ限ラナイノデアリマス、早ク例ヲ取ツテ見マスレバ、三月十七日ニ二重橋ノ上デ藤田某ナル者ガ上奏文ヲ携ヘテ爆弾ヲ以テ自殺シタト云フ一つノ事件、是ハ警視廳ノ方面ノ考ニ依ル狂人デアルト云フコトデアル、ドウゾ狂人デアルコトヲ本員モ希望スルノデアリマスルガ、併シサウ云フ狂人ノ出ルト云フノハ何デアルカト云フコトデス、此責任ヲ取ルベキ人ガ責任ヲ取ラレヌモノダカラシテ、ソレデ遂ニスルノ餘リニ、斯ウ云フヤウナ舉動ノ者ヲ生ゼシムルト云フコトガナイトモ言ヘナイ、是ハ殊ニ我國ノ國體ノ上ニ於テハ畏れ多イコトデアツテ、苟モ累

ヲ寸毫タリトモ皇室ノ方ニ及ボスヤウナコトニ付テハ、努メテ内閣ガ其責任ノ歸スル所ヲ明カニシタイト云フ觀念ヲ持タナケレバナラヌト思フノデアリマス、デ本員ハ此點ニ付テハ政府ガ十分ニ反省セラレテ、綱紀ノ肅正ト云フコトニ付テハ大ニ努メラレタイ希望ヲ持ツノデアリマス、即チ此建議ニ申述ベテ置キマシタ通リニ「政府ノ施設スル所殆ンド見ルヘキモノナク綱紀ノ弛廢益、甚シキヲ加フルノ情況依然タリ貴族院ハ國家ノ爲深憂措ク能ハス當局ノ所爲ニ付テハ斷シテ満足スルコトヲ得ス政府ハ速ニ適切ノ措置ヲ執ルヘシ」斯ウ申シマシタノハ、前段ニ本員ガ申上ゲマシタ如クニ、貴族院トシテハ度々手ヲ盡シテ此コトニ付テハ政府ニ御注意ヲ申上ゲ、希望モ申述べテ居ッタソデアル、デドウゾ國家ノ大切ナル綱紀ガ紊レルヤウナコトガアツテハ、實ニ存亡ニモ關スル時代デアルカラ、度々此コトヲ申上ゲ、又殊ニ今議會ニ於テハ開會ノ初メヨリ念ニ念ヲ入レテ此コトヲ申上ゲタノデアルガ、今日マデドウモ政府ノ爲サル所ニ付テ満足ヲスルコトガ出來ヌノヲ遺憾トスルノデアリマス、デ此演壇ハ嘗テ私共ノ先輩タル村田保翁ガ山本内閣ニ對シテ「シーメンス」事件ノコトニ付テデス、最後ノ悲壯ナル演説ヲセラレタ所デアリマス、若シモ政府ニ於テ顧ミル所ナク日ニ日ニ時勢ガ日ニ非ナリト云フ狀況ニナツテ、國家ノ前途棄テ置キ難イト云フ狀況ニ立到リマシタナラバ、必ズヤ又村田翁ノ例ニ倣フ人ガナイトモ限ラスト本員ハ思フ、私ハ實ニ痛心ニ堪ヘヌ、斯ノ如キ綱紀ガ紊亂シ、斯ノ如ク人ノ不眞面目トナリ、上下舉ゲテ綱紀ノ紊亂弛廢ヲ極メテ居ルト云フコトノ狀態ガ、若シ繼續シタナラバ國家ハ如何ニナル如キ綱紀ガ紊亂シ、斯ノ如ク人ノ不眞面目トナリ、上下舉ゲテ綱紀ノ紊亂弛廢ヲ極メテ居ルト云フコトノ狀態ガ、若シ繼續シタナラバ國家ハ如何ニナルカ、實ニ痛心ノ至ニ堪ヘヌノデアリマス、デ、此建議ハ適切ノ措置ヲ執ルヘシ、此建議ハ決シテ政府ヲ不信任スルト云フ意味デ申スノデハアリマセヌ、併シ局面展開ガ或ハ最モ良キ一ツノ綱紀肅正ノ手段デアルカトモ思ハレル、若シ何カ案ガ……或ハ如何ナル手段ガ宜キヤト問フ者ガアツタナラバ、局面展開モ一ツノ良キ手段、或ハ最良ノ手段カトモ思ハレルノデアリマス、併ナガラ此建議ハ決シテ不信任ト云フ意味ヲ以テ申スノデハナイ、篤ト政府ノ反省ヲ求メ督勵鞭撻イタス譯デアリマス、是ダケ意見ヲ陳述イタシマス○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ通告順ニ依リマシテ討論ノ發言ヲ許シマス、松平伯爵

〔伯爵松平頼壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平頼壽君 本員ハ唯今阪谷男爵ヨリ御説明ニナリマシタ綱紀肅正ノ

建議案ニ付マシテ、我ニドモ同志ニ於キマシテハ、誠ニ遺憾ナガラ御同意ヲ致シテ、御供ヲ致スコトガ出來ナイト云フコトハ、誠ニ遺憾ニ存ジマスガ、茲ニ御同意ガ出來マセヌト云フ意味ヲ一言申上ゲテ置キタイト存ジマス、理由ニ於キマシテハ綱紀肅正ト云フコトニ付マシテハ、世間一般ニドナタニ於テモ異存ノナイコトト私ハ存ズル、參ル道ハ同ジデアリマスケレドモ、我ニモ出發點及ビ其意味ニ於テ甚ダ違フテ居リマスル次第デゴザイマス、ソレ故我ニ共ハ此次ノ日程ニ於キマシテ建議案ヲ提出イタシマスルノデザゴイマス、此提出イタシマスル理由ニ付マシテハ、今私ガ茲デ申上ゲルノモ重複ト存ジマス、後ニ提出ノ節ニ提出者ヨリ説明ヲ致シマシテ、御了解ヲ得タイト存ジマス、唯私ハソレ故ニ殘念ナガラ我ニ共ハ、唯今ノ阪谷男爵ノ御説明ニナリマシタ建議案ニ、御同意ガ出來ナイト云フ意味ヲ茲ニ明カニ申上ゲテ置ク次第デゴザイマス

○議長（公爵徳川家達君） 仲小路廉君

〔仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○仲小路廉君 本員ハ唯今阪谷男爵ヨリ御説明ニナリマシタ本建議案ニ賛成ヲ致ス一人デアリマス、唯今松平伯爵ヨリ本建議案ニ對シテ同意ノ出來難イ理由ヲ御述べニナリマシタ、定メシ之ニ付テハ十分ナル理由ヲ御包藏ニナツテ居ルコトト存ジマシタノデアリマス、態、御登壇ニナリマシタニ拘ラズ、唯別種ノ提案ヲ致シテアルカラ、其提案ヲシテアルコトノ爲ニ本案ニ同意ハ出来ヌ、斯様ナ趣旨デアリマシタ、此點ニ於テハ此重大ナル案ヲ討議スルニ付テ甚ダ遺憾ニ存ジタノデアリマス、併ナガラ綱紀ノ肅正ヲ必要トスル此點ニ付テハ、既ニ本議場内ニ於テモ殆ド滿場ノ御意見ガ其處ニアルト存ジマス、唯其間ニ於テ多少ノ意義ヲ異ニスルコト、若クハ其程度ニ於テ多少ノ輕重ノアルコトハ避ケラレヌノデアリマセウケレドモ、大體ニ於テ綱紀ノ肅正ヲ必要ナリトスルト云フ御意思ニ於テ、殆ド當議場内ニ於テ滿場諸公ノ御意思ガ其處ニアルコトト、私ハ信ズルノデアリマス、綱紀ノ肅正ヲスル其コトガ必要ナリトスレバ、其前提トシテハ綱紀ノ紊亂シテ居ルト云フコトヲ、一面ニ認メラレタニ外ナラヌト存ズルノデアリマス、實ニ今日ノ如クニ綱紀ノ頽廢秩序ノ紊亂、殊ニ世道人心ノ頽廢ニ至テハ、是程國家トシテ憂慮スペキコトハナリト信ズルノデアリマス、實ニ一般ノ人ニ、殊ニ何レカト申セバ上位ニ位スル人ニシテ、責任ノ觀念ハ甚ダシク麻痺シテ、時トシテハ廉恥ノ思想地

ヲ拂ヒハセヌカト云フヤウナ感ジヲ致スコトモ少カラヌノデアリマス、又假ニモ公義ノ爲ニハ殉ズルト云フ考ハ漸次衰頽ヲ致シテ、上下交々利ヲ征シテ、何レモ利ノ爲ニ總テノ義心ヲ消磨セシムル状況ハ、實ニ近來ニ至テ甚ダシイ景況ヲ呈シテ居ラヌカト存ズルノデアリマス、殊ニ最モ憂フベキコトハ總テノ事柄ガ、理非ニ依ラズシテ唯多數ニ依テ事ヲ決スル、一轉スレバ理非ヲ問ハズシテ唯力ノ作用ニ依テ萬事ヲ解決セムトスル、此一般ノ情勢ガ今日中央ヨリシテ各地方ニ及ンデ居ル状況ハ、如何ナル状態ヲ呈シテ居ルデアリマセウカ、多クノ事柄ガ全ク正理公道ニ依ラズシテ、唯數ヲ賴ミ、多數ノ相結托スル下ニ於テハ、如何ナルコトモ爲シ遂グ得ラルモノダト云フ感ジヲ一般ニ與ヘテ居ル、ソレガ爲ニ今日各地方農村ノ各種ノ紛擾ヲ生ズルコトモ、皆ソレニ原因スル、殊ニ各地方ニ於ケル各種ノ行政ニ至テハ、實ニ近年ニ至テ甚シイ状況ヲ呈シテ居ルノデアリマス、殊ニ一面ニ於テハ近年著シク人々ノ困難ヲ致スノハ物價騰貴デアリマス、此ノ物價暴騰ノ爲ニ幾許ノ人々ガ生活ニ脅威セラレ、非常ニ困難ノ地位ニ立ツテ居ル者ハ、近來ニ至テ別シテ其著シキヲ見ルノデアリマス、物價騰貴ノ爲ニ生活ハ脅威セラレ、而シテ一面ニ於テハ唯今申シマスル如ク、理非ニ依ラズシテ唯力ノ作用、多數ノ力ニ依テ如何ナルコトデモ出來得ルト云フ其結果ガ、遂ニハ不義不道ノ者ガ世ノ中ニ跋扈シテ、一面ニ營々トシテ刻苦勤勞ニ從事イタシテ居ル正直ナル者ハ、却テ路頭ニ窮スルト云フヤウナ状態ニナツテ居ル、斯様ナコトガ漸次是ガ積シテ參リマスレバ、人心ヲ惡化ニ導クコトハ實ニ避ケ難イコトデアルト考ヘル、此故ニ昨年貴族院ニ於テ綱紀肅正ニ關スル附帶決議ヲナシタノハ、決シテ偶然ノ所以デハナイノデアリマス、實ニ綱紀ノ紊亂、世道人心ノ頽廢ニ付テハ是程國家ノ前途ニ對シテ憂フベキコトハナイト考ヘル、其結果トシテ政府ニ向テ要求イタシタ點ハ、一日モ速ニ適切ノ方途ニ依テ時弊ヲ矯正スル、此ノ時弊ヲ矯正セムトスルニ付テハ、先づ以テ庶政ヲ釐革シナケレバナラヌ、又萬事ノ事柄ハ公正ヲ主トシ、殊ニ必要ナコトハ人心ヲ倦マシメナシイ途ヲ講ズルコトデアル、人心ヲ倦怠セシムルト云フコトニナレバ、最早政治ノ要道ハナイノデアリマス、努メテ人心ヲ倦マザラシムル途ヲ講ズルコト、是等ノ數點ハ此ノ時弊ヲ匡救スル上ニ於テ、最モ大切ダト考ヘタ點ニ付マシテ、當貴族院ニ於テハ満場一致ノ贊同ヲ以テ政府ニ其希望ヲ致シタノデアリマス、然ニ茲ニ別案トシテ望ノ結果ニ付テハ政府ニ於テ如何ナル施設ヲナシ、如何ナル行動ニ依テ此希

望ニ副ハルルカ否ヤ、貴族院トシテハ其點ニ深ク注目ヲ致スハ當然ノコトデアリマス、ソレ故ニ昨年本希望決議ヲ提案シテ以來、常ニ政府ノ行動ニ付テ何卒我ニ貴族院ノ希望ニ叶フダケノ途ヲ取ツテ、一日モ此ノ時弊ノ爲ニ疾苦ヲ致シテ居ルモノガ匡救サルルヤウニト切ニ望ンダノデアリマス、又本議會開會ノ初メヨリシテ我ニハ此コトヲ爲スニ付テ、決シテ輕卒ノ舉動ハ取ラヌ積リデアリマス、ソレ故ニ本議場ノ初メヨリ數回政府ニ對シテ、政府ハ我ニノ決議ニ對シテ如何ナル施設ヲナサレタカ、ドウ云フ御考デアッタカト云フコトハ、再三御尋ヲ致シタノデアリマス、殊ニ豫算委員會ノ開ケテ以來ハ數日ニ瓦リ、各種ノ方面ヨリ數回ノ質問ヲシテ應答ヲ得タノデアリマス、然ニ其結果ハ實ニ我ニ於テハ甚シク失望ヲ感ジ、甚シク不滿足ノ感ジヲ起スノデアリマス、爾來政府ノ施設ヲ見ルニ、殆ド時弊革正ニ付テノ施設ハナイト申シテ宜シイノデアリマス、革正ニ關スル施設殆ド見ルベキモノガナインミナラズ、爾來政府ノ措置ニ依レバ、或ハ地方長官ニ關スル監督ノ上ニ於テ何等戒飭ノ途ヲ加ヘナインミナラズ、却テ地方長官ヲシテ公正ノ地位ヲ去ッテ偏頗ニ導クガ如キコトモ少ナクナインノデアリマス、殊ニ廉恥心ヲ銷磨セシメ、甚シキニ至ツテハ責任觀念ヲモ中央ヨリシテ之ヲ麻痺セシムルコトガ少ナクナインノデアリマス、又最モ國民トシテ今日ノ場合大切ニ考ヘテ居ル司法官ニマデ、司法ノ大ナル高官ニ對シテマデモ、其選敍ノ道ニ於テ、其任用ノ道ニ於テ、實ニ世論ヲ憚ラズ、世ヲ憚ラナイト認メル行爲ハ少ナクナインノデアリマス、是等ノ事蹟ニ付マシテハ、本日本議場ニ於テ事實ニ瓦ルコトノ指摘スル要ハナイ、此點ハ既ニ豫算委員總會ニ於テ、數回ニ瓦ツテ各、根據ヲ示シ事實ヲ示シテ、此事ヲ指摘イタシタノデアリマス、實ニ我ニ貴族院トシテ綱紀肅正ニ關スル昨年ノ希望ニ付テハ、風馬牛相關セズ、殆ド之ニ付テ一顧ヲ拂ハナイ状況デアリマス、啻ニ拂ハナイノミナラズ、益、近來ニ至テ其弊害ノ助長スル形ヲ見ルノデアリマス、茲ニ本日ハ二箇ノ建議案ガ出タノデアリマスルガ、我ノ贊成ヲ致ス建議案ハ、其點ニ付テ「爾來政府ノ施設スル所殆ド見ルベキモノナク綱紀ノ弛廢益甚シキヲ加フルノ情況依然タリ貴族院ハ國家ノ爲深憂措ク能ハス當局ノ所爲ニ付テハ斷ジテ満足スルコトヲ得ス」是ガ本員等ノ賛成ヲ致サムトスル建議案ノ一部ノ理由デアリマス、然ニ茲ニ別案トシテ提出来サレタル一案ガアリマス、其建議案ノ趣旨ニ依レバ、是亦同様「爾來政府ノ施設未ダ所期ノ效果ヲ見ルニ至ラザルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ」言葉ニ多少

ノ變リガアリマシテモ、此兩案共ニ何レモ昨年我ミニ於テ政府ニ對シテ希望ヲ致シテ居ル點ニ於テハ、何等施設ノ見ルベキモノガナカッタ云フ點ハ、殆ド同一デアリマス、又一方ノ提案ハ其結果トシテ「政府ハ速ニ適切ノ措置ヲ執ルヘシ」ト斯ウ言ッテアル、然ニ他ノ別案ハ「政府ハ銳意綱紀肅正ノ實ヲ舉ゲムコトヲ望ム」此兩案ヲ對比イタシテ見マシテ、茲ニ幾何ノ差ガアリマスカ、曾テ五十歩ヲ以テ百歩ヲ嗤ッタ者、此兩案ヲ對比スレバ五十歩百歩ノ差デハナクシテ、其間僅ニ一步ノ差ノ外ハ無イノデアリマス、唯、一方ノ案ハ所謂高言厲色堂々トシテ事ヲ論ジテ居ル、一方ノ案ハ極メテ低聲喃語諄々トシテ軟カナル言葉ガ使ハレテアルノデアリマス、言葉ハ一方ハ極メテ嚴厲ナル、言葉ヲ使ツテアルノト、一方ハ優シイ言葉ヲ使ツテアルト云フコトノ外ハ無イノデアリマス

〔「ノウノウ」ト呼フ者アリ〕

此ノ兩案ノ趣旨ヲ對比シテ見テ、ソコニ幾何ノ差ガアリマセウカ

〔「ノウノウ」ト呼フ者アリ〕

若シモ「ノウノウ」ト言ハルル諸君ガアリマスナラバ此點ヲ明瞭ニ致シテ貰ヒタイト思フ

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

場合ニ依レバ更ニ此壇上ニ登リマシテ、「ノウノウ」ト言ハルル諸君ニ對シテ、此兩案ノ本旨ニ於テ如何ナル差ガアルカ明瞭ニ致シタイト思フ

〔「ヒヤヒヤ」ト呼フ者アリ〕

私思フニ言語ノ嚴厲ナルモノハ寧ロ其意味ハ朴質デアリマス、實直デアリマス、之ニ反シテ柔軟ナル言葉ノ内ニハ寧ロ銳イ針ガ含マレテ居ラメカト思フノデアリマス、然ニ政府ノ人ミニ於テ嚴厲ニシテ朴質ナル言葉ニ對シテハ之ヲ忌ム、柔軟ニシテ却テ針ヲ含ム其言葉ニ對シテハ喜ンデ迎フルト云フガ如キ、若シモ此案ニ等差ヲ付ケマシタナラバ、其付クルモノハ甚ダ誤ツテハ居ラヌカト私ハ思フノデアリマス、斯ノ如ク昨年我ミノ希望ヲ提案イタシタ點ニ付テハ、兩案共ニ政府ニ於テ何等我ミノ滿足スベキ施設ヲ爲サナカッタ云フコトハ明瞭デアリマス、私ハ更ニ論歩ヲ進メテ申シタイコトガアル、政府ニ於テ我ミノ希望ニ對シテ何等ノ施設經營ノ見ルベキモノ無キノミナラズ、司法ノ審究ニ依レバ満鐵事件、阿片事件、取引所ニ關スルコト、或ハ津下某ニ關スルコト、此多クノ罪犯ハ悉ク皆政府當路者ニ關連ヲ有シテハ居ラヌカ、

此點ニ付マシテモ過日豫算委員會ニ於テ、私ハ一々據ルベキ根據ヲ示シ、事實ヲ指摘シテ此點ニ付テ質問ヲ致シタノデアリマス、今日此議場ニ於テ斯ル事實ヲ指摘イタスコトスラ、議場トシテノ汚レヲ思ヒ、一面ニ其影響スル所少カラヌト存ズルノデアリマス、故ニ却テ本議場ニ於テハ事實ノ内容ニ立込ンデ、一々忌ムベキ事實ヲ指摘スルト云フコトハ、之ヲ見合セ置ク方ガ却テ政治上ノ德義デアルト考ヘマス、併ナガラ是等多クノ罪犯ガ、決シテ尋常一樣ノ罪犯ニ非ズシテ、所謂政治的ニ因縁結合ヲ持チ、之ニ依テ現在今日ノ此政治ノ根據ガ是ヨリ築カレタモノデハナイカト思フ、私ハ實ニ此點ヲ確信イタス、大體ヲ申サバ大正九年二月二十六日ノ解散ハ確ニ不當デアリマシタ、其當時本議場ニ於テ、憲法ノ趣旨ニモ背反スルコトヲ私ハ痛論イタシタノデアリマス、此一ツノ無理ヨリ百ノ無理ガ生ジタノデアル、ソレヨリ多クノ事柄ガ積累シテ參ツタノデアリマス、但シ私ハ當時選出サレタ二百八十有餘名ノ諸君、悉ク面白カラヌ關係ガアルナドトハ申サナイ、其中ニ確ニ純潔ノ人ガ多イ、去ナガラ其幾分部ヲ成シテ居ルモノハ、確ニ此罪犯ト密接ノ關係カアルコトハ爭ハレヌコト思フノデゴザイマス、之ガ所謂玉石同架、他ノ純潔ナル人ミモ迷惑ヲ蒙ルノデアリマス、斯ノ如クニ此問題トナッテ居ル各種ノ罪犯ガ、直接當路者ニ關係ヲ持ツ、或ハソレニ依テ政治上ノ關係ト密接ナル連絡ヲ有スルモノダト云フコトノ事情デアリマスレバ、果シテ現内閣諸公ニ於テ廓清ノ實ヲ舉ゲ得ルコトガ出來ルノデアルカ、此點ニ付マシテモ高橋首相ニ對シテ、數回ノ質問應答ヲ致シテ見タノデアリマス、遂ニ高橋首相自ラガ憮然タル態度ヲ以テ、自分ハ廓清ノ誠意ハ有スルケレドモ、併ナガラ諸君ガ考ヘラレテ甚ダ不行届デアルトカ、實ニ齒痒イコトダト云フ御感ジモアリマセウ、唯如何セム周圍ノ事情心ニ委セヌコトモアル、誠ニ痛切ナコトヲ述べラレタノデアリマス、私ハ高橋君ニ同情イタス、高橋首相御自身トシテドコ迄モ綱紀ハ廓清シタ、從前ノコトヲ誤ツテ居タ云フ御考モアリマセウ、併ナガラは所謂矛盾ノ地位ニ立ツテ居ラレルノデアリマス、高橋君御自身ガ新ニ内閣ヲ組織セラレタモノデアリマスナラバ、ソレハ御考ノ通リニ實行ヲセラレルコト難カラヌノデアリマス、如何ニセム原内閣ト高橋内閣トハ異ナルトハ申シナガラ、其實ニ於テ一ツコトデアリマスル、此間ニ強ヒテ前内閣現内閣ト云フコトノ區別ヲ付ケルナドト云フコトガ無理デアリマス、原内閣

ナケレバナラヌ、況ヤ高橋君ガ是マデ閣外ニ居ラレタ御方ナラバマダシモノコトデアリマス、原君ト既ニ數年間閣僚トシテ而モ重要ナ地位ニ居ラレタト云フ其關係ヨリ見テ、如何ニシテモ人ノ使ヒ方ヲ誤ッタノモ原君デアッタ、選叙ヲ失シタノモ原君デアッタ、左様ナコトハ言ハレナイコトニナル、故ニ廓清ノ實ヲ舉ゲムトスレバ、心ナクモ前代ノコトヲ暴露シナケレバナラヌ、此暴露ノ苦痛ハ避ケムトスレバ廓清ノ實ガ舉ラナイ、誠ニ御氣ノ毒ナコトデアリマスケレドモ、是ガ即チ矛盾ノ立場ニ立ツテ御出デニナルノデアリマス、此點ニハ蓋シ高橋君ニ於テモ決シテ私ノ申ス事柄ガ、唯此壇上ニ於テ徒ニ無理ナコトヲ申スモノダトハ御考ヘニナラヌコトヲ私ハ信ズルノデアリマス、此點ニ付テ數回高橋君ニ對シテハ屢々苦言ヲ呈シ、時トシテ禮讓ヲ失スルカト思フ位ノ質問ヲ致シタノデアリマスケレドモ、自身トシテハ心中ニ於テハ深ク同情ヲ致シタノハ其所以デアリマス、斯ノ如クニ今日迄ノ四圍ノ事情、又現在ノ情勢及ビ將來ノコトヲ考ヘテ見マスレバ、ドウシテモ此内閣ニ於テ廓清ノ實ヲ完ウセラルト云フコトハ、難イコトデハナイカト思フ、啻ニ此廓清ノ實ヲ舉ゲ得難キノミナラズ、遂ニハ人心ノ厭倦ニ厭倦ヲ重ネラレテ、其結果ハ遂ニ衆怨ノ府トナラヌコトハ期セラレナイノデアリマス、昨年十一月四日東京驛ニ於テ慘憺タル悲慘事、近クハ三月十七日二重橋畔ニ於ケル不祥事、決シテ是ノコトヲ等閑ニ付シ去ル譯ニハ參リマスマイト思フ、固ヨリ是等ノ人ミガ爲シタ行爲ノ誤レルコトハ疑モナイ、議論ハナイ、併ナガラスル人ミヲシテ、其誤レル行動ヲ爲サシムルニ至ツタニ付テハ、由テ生ズベキ理由ガアル、是等ノ點ハ深ク御考慮ニナッテ然ルベキコトデアルト思フ、私ハ常ニ申ス、

政治ハ決シテ院内バカリデハゴザイマセヌ、少ナクモ天ヲ畏レル、天ヲ畏レ

人ヲ敬スル位ノ觀念ハアッテ然ルベキモノダト思フ、又政治ノ要道トシテハ努力メテ民心ヲ安シズルニアリ、努メテ人心ヲ新タニスルノガ必要デアル、是皆政治ノ要道デアルト考ヘル、是等ノ點ハ深ク高橋君初メ其他ノ閣僚諸公ニ於カレテモ、我ミガ今日ナス言ハ唯徒ニ或一部論者等ガ、自己ノ心ヲ以テ人ヲ忖度シ、小人方常ニ利ニ喩ルガ如ク、唯徒ニ政權ノ爭奪ニアルナドト云フ考ハ甚シク誤ツテ居ル、私自ラ此壇上ニ明言ヲ致スニ、我ミ不肖ト雖モ徒ニ政權ニ憧憬ルト云フ如キ、左様ナ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、唯貴族院ノ一議員トル、其職責ノ全ウナラムコトヲ期スルガ爲ニ、私自身トシテハ一切名利ノ關係ヲ去ツテ、何等ノ係累ヲ身ニ及ボサヌコトヲ期シテ居ルノデアリマス、唯

我ミハ今日斯様ナ言説ヲ爲スハ、近年ノ綱紀頽廢世道人心ノ墮落、外ニ對シテハ我國ノ威信ヲ妨ゲ、延イテハ遂ニ商工業ヲ始メ、有ラユル事柄ニマデ總テ衰頽ノ因トナル、止ムニ止マレズシテ此言ヲナスノデアリマス、尙ホ最後ニ私ハ我ミガ建議案ニ贊成ヲ表スルト云フ其理由ヲ一言イタシテ置キタイト思フ、私ハ初ハ考ヘタ、貴族院ニ於テ或意思ノ表示ヲ爲スニ付テハ、建議ノ途ニ依ラズシテ決議ノ方法ニ依ルコトガ至當デハナイカト一時ハ考ヘタ、併ナガラ熟考フルニ、建議ナルモノハ或場合ニハ言ヲ當路ニ進メルコトノミヲ目的トスルコトガアル、又或場合ニハ策ヲ當路者ニ獻ズルトキモアリマス、併ナガラ時トシテハ單リ言ヲ現在當路者ニ進メルノミナラズ、貴族院自ラガ確固不拔ノ意見ヲ樹立シテ、現代ニ於ケル當局者ハ勿論、續イテ相次イデ來ル當局者ニ對シテモ、貴族院トシテハ此確固不拔ノ意見ヲ枉グルコトハ出來ナイト云フコトノ、此表示ヲ爲シ置クコトヲ最モ必要ナリト考ヘル、綱紀案亂、此肅正ニ付テハ我ミハ單リ現當路者ヲ目的ト致ス如キ、左様ナ狹小ナル範圍デハゴザイマセヌ、現當路者ノミナラズ、次イデ來ル者ト雖モ、假ニモシテ是ノノコトヲ等閑ニ付シ去ル譯ニハ參リマスマイト思フ、固ヨリ是等ノ考ヲ以テ、斯ル行動ニ付テ之ヲ排除スルニ憚ラヌ積リデアリマス、此意見ヲ以テ本建議案ニ贊成ヲ致スト云フノハ、此建議案ヲシテ重大ナル意義ヲ有セシメ、茲ニ建議案自身ニ生命ヲ有セシムル所以デアルト存ジマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、本員ハ本建議案ニ贊成ヲ致シ、滿場諸君ノ御賛成ヲ得テ、本案ノ成立セムコトヲ希望スルノデアリマス

○議長（公爵徳川家達君） 上山君

〔上山滿之進君演壇ニ登ル〕

○上山滿之進君 私ハ本建議案ニ贊成ヲスル者ノ一人デアリマス、聊カ其理由ヲ述ベマシテ贊成ノ意ヲ明カニシタイト考ヘル、實ハ反對ノ御意見ガアルト云フコトヲ承リマシタノデ、反對ノ御意見ノ趣旨ノアル所ヲ十分ニ伺ツテ、ソレニ對シテ尙ホ愚見ノ存スル所ヲ申述ベタイト思ツテ居リマシタノデアリマスガ、不幸ニシテ反對意見ヲ御述ベニナリマシタ松平伯爵ヨリ、御趣意ノ存スル所ヲ詳シク伺フコトノ出來ナカツタコトヲ誠ニ遺憾ト致スノデゴザイマス、出發點ガ違フト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、此問題ノ出發點ハ綱紀ヲ肅正スルト云フコトヨリ外ニハ私ハ無イト思フ、綱紀ヲ肅正スルコトヲ可ナリトスルノガ出發點デアル、若シソレガ違ヘバ是レハ非ナリトスルコト

デナケレバナラヌノニアリマスガ、併シ松平伯爵モ綱紀肅正ヲ非ナリト云フ
御意見デナイコトヲ明瞭ニ御述べニナツタ、サウスルト何處ガ出發點ガ達フノ
カ分ラナイノニアリマス、他ノ機會ニ於テ其意味ヲ述べル人ガアルカラ重複
ヲ避ケルト云フ仰セデアリマシタガ、前ニアッタコトト重ナルカラ重複ヲ避ケ
ルト云フコトハ能ク分リマスガ、後デ出テ來ルコトト重複ヲ避ケルカラ此場
合ニ述べナイト仰セニナリマスト、實ハ甚ダ眞面目ニ此問題ヲ攻究シヤウト
シマス私ニ取りマシテハ、深ク遺憾ヲ感ゼザルヲ得ナイ、併シ幾ラ遺憾ヲ感
ジマシテモ、是ハ已ムヲ得マセヌカラ何トモ申上ゲヤウガナイ、唯御反對ト
云フコトハ承知イタシマシタガ、御反對ノ理由ガ分リマセヌノデ、御反對ノ
理由ニ對シテ愚見ヲ申上ゲタイト思フ其機會ヲ得ルコトノ出來ナイコトガ
頗ル殘念デアルノニアリマス、綱紀ノ廢頽シテ居ル近年ノ實狀ニ付テハ、事
新シク茲ニ私ガ申上ゲルマデモナク、天下總テ詳知ノコトデアル、滿場ノ諸
君、勿論深ク御了解ニナツテ居ルコトデアリマス、從フテ何等詳シク説明スル
必要ハ無イノニアリマスガ、唯、往々ニシテ此綱紀問題ナルモノヲ刑事問題
ノ如ク心得ル方面ガアル、現内閣モ議會開會當初ニハサウ云フ風ニ御考ヘニ
ナツタヤウ、ニアリマス、是ハ甚ダシキ誤デ、今日ノ綱紀問題ハ政治問題ニ於ケ
ル萬般ノコトニ亘ツテ、遺憾ナク發達ヲシテ居ルノニアリマス、惡ク發達ヲシ
テ居ル、大ニ政治社會ヲ害シテ居ル、此總テノ問題ヲ包括シテ私ハ綱紀問題
ト稱スルノデアル、是ダケ申上ゲマスレバ、各事項ヲ擧ゲテ述ブルマデモナ
ク、十分ニ御承知下サルコト考ヘル、サテ此綱紀紊亂ト云フコトハ、イツ
ノ時代ニモアルコトデアル、何モ今日ニ始マツタコトデハナイノニアリマス、
五千年七千年ノ昔建テラレタア弗利加ノ「ヒラミット」ノ内壁ニ世ガ澆季ニナツ
タコトガ膨付ケテアルサウデアリマス、五千年七千年ノ昔ニモ世ハ澆季ニナツ
タト思ツタ、今日モ澆季ニナツタト思ツテ居ル、是カラ五千年一萬年經テモ矢
張サウ思フデアリマセウ、是ハ各人ノ感シテ、如何ナル世ノ中ニ於テモ綱
紀ガ廢頽シテ居ル、綱紀ノ紊亂シテ居ルト云フ聲ガ起ルノニアリマス、是ハ
已ムヲ得ナイ、唯我ノ憂フルコトハ、我國ノ政治社會ニ於テ、近年加速度
ノ勢ヲ以テ綱紀ガ著シク廢頽シタト云フコトニ對スルノニアリマス、近年ノ
政界ヲ見レバ申スマデモナク、現在ノ政友會内閣ガ最モ近キモノニアリマス、政
友會内閣ノ成立以來、綱紀ガ著シク廢頽シタト云フコトハ、爭フベカラザル
事實デアリマス、毎々申上ゲル通り、私ハ何レノ政黨派ニモ恩怨ハアリマ

セヌ、一ツノ黨派ヲ惡ク言テモ何ノ益スルコトモナク、良ク言ッテモ亦何ノ
損スル所モナイ、併ナガラ事實ハ事實、是ハ何人モ争フコトガ出來ナイノデ
アリマス、私ハ政友會内閣ノミヲ惡ク言フノチャアリマセヌ、何レノ内閣デ
モ、又何レノ黨派ニモ弊害ガアル、併シ近年ノ政界ニ於テ殊ニ弊風ノ著シイ
ト云フコトハ、爭フコトノ出來ナイコトハ、高橋總理大臣閣下ニ對シテ頗ル
遺憾ニ私ハ感ズルノニアリマス、近年綱紀ガ著シク廢頽シタト云フコトハ私
ノ一家言デハアリマセヌ、先日以來豫算總會ニ於テ、豫算委員ノ諸君ヨリ種
種ノ質問ヲナサレ、又首相初メ其他之ニ御答辯ニナリマシタ所ニ依テ、政府
側ノ御答辯ニ於テ明瞭ニ御認メニナツテ居ルンデアリマス、即チ近年綱紀ノ廢
頽シタ事柄ガ非常ニ多イト云フコトハ、明カニ御認メニナツテ居ルノニアリマ
ス、必要ガアレバ茲ニ速記録デモ引用イタス準備ヲ致シテ居リマスガ、是ハ
此場合差控ヘテ置キマス、後ニ他ノ項目ニ付テ速記録ヲ引用スル積リデアリ
マスガ、其中ニ高橋總理大臣ハ明カニ近年ニ於ケル綱紀廢頽ノ事實ヲ、御認
メニナツテ居ルコトヲ申上ゲル機會ガアリマスカラ、此場合ハ差控ヘテ置キマ
ス、要スルニ豫算總會ニ於ケル質問應答ニ依テ、高橋首相初メ其他ノ大臣、
總テ近年綱紀ノ大ニ廢頽シタコトヲ御認メニナツテ居ルノニアリ、是デモ私ノ
申スコトハ僞デナイコトハ疑ヲ容レナイト思フノデ、何故ニ近年綱紀ガ斯ノ
如ク廢頽シタノニアラウ、是ハ私ハ本會議ニ於テモ、又豫算總會ニ於テモ曾
テ述ベタコトガゴザイマス、是ハ要スルニ政界ノ墮落デアル、不法不正ノ手
段ヲ以テ黨勢ヲ維持擴張シヤウト云フコトニ急ナル爲ニ、其他ヲ顧ル暇ナク、
知ラズ識ラズシテ全國ノ綱紀ヲ今日ノ如ク廢頽セシメタノニアルト、私ハ確
信ヲ致スノデ、斯ク申セバトテ、私ハ決シテ政黨ヲ否認スル考デハ勿論アリ
マセヌ、立憲政治ニ於テ、議院政治ニ於テ、政黨ヲ否認スル程見當ノ著カナ
イ論ハナイト思フ、世ノ中ニサウ云フ愚論ヲ吐クモノハナイト思ヒマス、不
肖ナリト雖モ私モ斯ノ如キ愚論ハ吐カナイ政黨内閣ハ如何ニモ憲政ノ常道デ
アル、唯私ノ申スコトハ之ニ伴フ餘弊ヲ去ルコトガ必要デアルト云フ點ニ歸
著スルノニアリマス、今日ノ綱紀廢頽ハ即チ之ニ伴フ大ナル餘弊デアルト云
フノガ私ノ意見デアリマス、斯ノ如ク綱紀ノ紊亂シタ責任ハ、何處ニアルノ
ニアリマセウカ、申スマデモナク綱紀ガ獨リデニ紊亂シタモノニアリ、綱
紀ノ紊亂ガ社會ニ起ル事實デアル以上ハ、社會一般ガ之ニ對シテ責任ヲ持ツ
コトガ當然デアル、總理大臣ハ屢々仰セニナル、一般民心ノ復興ヲ圖ルコトガ、

併ナガラ私ハ唯徒ニ言葉ヤ文章ヲ以テ、社會ノ一般ヲ責メテ見テモ、何ノ效能ノナイコトハアルト思フ、綱紀紊亂ニ對スル最モ大ナル責任者ガ、何處ニアルカト云フコトガ今日ノ問題デアル、近年綱紀ガ著シク廢頽シタコトガ事實デアル以上ハ、其近年政柄ヲ執ノテ居ッタ内閣ガ、最モ重キ責ヲ負ハナケレバナラナイコトハ、當然ノ推理ノ結果デハアルマイカ、果シテ然ラバ原内閣之ニ續ク高橋内閣、之ガ此綱紀ノ廢頽ニ對シテ重大ナル責任ヲ持タナケレバシタト同ジク、私ハ政友内閣ノミヲ責メルモノデハアリマセヌ、過去ノ歴代ノ内閣ニモ其責ガアリマセウ、又政友會ノミナラズ、他政黨ニモ其責ガアリマセウ、是ハチヨットモ爭ハレナイノデアリマス、又其事實ヲ明カニ認メルノデアリマス、併ナガラ最近ニ於テ著シク綱紀ノ廢頽シタル時ニ、國政ノ衝ニ當ッテ居ッタ政友會内閣ハ、最モ重キ責任ヲ持タナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマセウ、内閣ガ責任ヲ持ツト同時ニ、内閣ノ基礎ヲナシテ居ル政友會ガ之ニ對シテ重大ナル責任ヲ持ツテ居ルト云フコトモ、斯ル責任アルガ故ニ、直ニ辭職ヲナサッタラ宜カラウト云フコトヲ申上ゲルノデヤアリマセヌ、責任ト辭職トハ必シモ伴フモノデハアリマセヌ、内閣總理大臣ハ萬般ノ國務ヲ總理シテ居ラル以上ハ、其萬般國務ニ對シテ細大トナク總テ責任ヲ負ハルルコトガ當然デアリマス、其責任ヲ總理大臣ガ負ヘバトテ、一々間違ガ起シタ度ニ辭表ヲ出シテ居ッタナラバ、時々刻々辭表ヲ出サナケレバナラヌ譯ニナル、從テ責任ト云フコトト、辭職ト云フモノハ相伴フモノデハナイ、必シモ相伴フモノデナイト云フコトヲ明カニ申上ゲテ置クコトガ、此場合必要デアリマス、辭職ヲナサレイトハ申上ゲマセヌ、責任ノ重大ナルコトハ否定サレルコトハ出來ナイダラウト考ヘル、サレバコソ我ガ貴族院ハ第四十四議會ノ終ニ於テ總豫算ヲ可決スル場合ニ、附帶決議ヲ以テ政府ノ綱紀ノ振肅銳意努力セラレムコトヲ希望シタノデアリマス、我ニハ政府ガ必ズ此希望ヲ容レテ、大ニ今日ノ紊亂シタル綱紀ヲ振肅シテ、國家ヲ泰山ノ安キニ置ク計ヲ定メラルコトト信ジタノデアリマス、其結果ハ如何デアリマス、一言ニシテ之ヲ申セバ原首相ト云ヒ、高橋首相ト云ヒ、貴族院ノ此熱誠ヲ籠メタル此希望決議ニ對シテ、殆ド一顧ノ價值モナイヤウナ御扱ヒヲナ

サッタト云フコトヲ、此壇上ニ於テ申上ゲナケレバナラナイ立場ニ至ツタコト
ヲ私ハ深ク悲ムノデアリマス、原首相ノ下ニ於テモ、高橋首如ノ下ニ於テモ、
リマスカ、先達テ本會議ニ於ケル質問及ビ豫算總會ニ於ケル質問、其質問ニ
對シテ總理大臣ノ申述べニナツタコトハ、今尙諸君ノ耳ニ新ナルコトデアルト
思フノデアリマス、諸君ハ高橋首相ノ御述べニナツタコトガ、果シテ我ガ貴族
院ノ要求シタ核心ニ觸レテ居ルト御聽キニナツタデアリマセウカ、高橋首相ガ
昨年以來内閣ノ綱紀肅正ニ付テ爲シタル施設ノ要項トシテ御舉ゲニナツタモ
ノヲ、重ネテ茲ニ諸君ニ御紹介イタスコトハ極メテ適當デアルト考ヘマス、
其要項ハ内務省文部省等ニ於テ民心作興ノ爲ニ教化宣傳ニ努力シタ、是ガド
レダケ綱紀肅正ニ效能ガアルト諸君ハ御考ヘ下サルデアリマセウ、又吏僚ニ
對スル監督ヲ嚴ニシ戒飭ヲ加ヘ官吏ノ選敍ヲ慎重ニスル、是ガ一ノ項目デア
リマス、是ハ何時デモシナケレバナラナイ、所謂通常茶飯事デアルノデアリ
マス、我ミガ綱紀肅正ノ手段トシテ要求スル所ハ、斯ル日常ノ事務的ノコト
デハナイノデアリマス、又事務ノ組織ニ改正ヲ加ヘタト云フコトヲ、綱紀肅
正ノ手段ノ一トシテ御舉ゲニナツテ居リマス、初ハ何事デアルカト思ツテ、
更ニ書類ヲ要求シテ拜見ヲ致シマスト、阿片ノ取扱ノ規則ヲ御變ヘニナツタノ
ト、尙ホ收入印紙ノ出納手續ヲ御換ヘニナツタ、是ガ高橋首相ガ綱紀肅正ノ一
ノ項目ナリトシテ茲ニ擧ゲラレタ、事務ノ組織ノ改正ト云フモノダサウデア
リマス、是ガ果シテ昨年諸君ノ要求サレタ綱紀肅正ノ手段トシテ要求セ
ト、尙活動寫眞ノ取締ヲ嚴重ニシタト仰セニナル、活動寫眞ノ取締ハ誠ニ結構デ
ゴザイマスガ、諸君ニ伺ヒマスガ、諸君ハ昨年綱紀肅正ノ手段トシテ要求セ
ラレタ中ニ、活動寫眞ノ取締ヲスルト云フコトヲ豫想サレタデアリマセウカ、
マスガ、併シ是モ所謂日常茶飯事デハアリマスマイカ、其訓誠ガ如何ナル效
果ヲ及ボシタノデアリマセウカ、甚ダ私ハ疑ハザルヲ得ナイ、尙又何カ民法
ノ規定ニ改正ヲセラル御計畫ガアル、是ガ矢張現内閣ノ綱紀肅正ノ一ノ手
段ダサウデアリマス、又刑事訴訟法ヲ改正シテ、父母祖父母ニ對シテ告訴權
ヲ認メナイヤウニスル、是ガ我國ノ淳風良俗ヲ保持スルノデアル、斯ウ云フ
コトガ一ノ項目トシテ舉ゲラレテ居ルノデアリマス、是ガ果シテ我ミノ昨年

要求シタ綱紀肅正ノ一ノ手段トナルノデアリマセウカ、尙ホ高橋首相ハ法權ノ活動ヲ峻嚴ニシタト云フコトヲ仰セニナツテ居リマス、如何ニモ昨年以來二三ノ大事件ガ司法事件トシテ繫屬スルニ至リマシタ、併シ是ハ私何モ内閣ガ綱紀肅正ヲ爲サッタ一ノ事蹟トハ考ヘナイ、凡ソソコニ犯罪ガアレバ司法權ハ之ニ向ッテ活動スルト云フコトハ、司法權當然ノ職務デアル、若シ司法權ヲ活動サセナイヤウニ束縛ヲシテ置クコトガ、過去ノ事實デアッテ、而シテ昨年以來ソレヲ束縛シナイヤウニシタト云フコトデアリマスレバ、是ハ確ニ内閣ノ行爲デアリマスガ、併シ是ハ内閣ノ行爲デアルト同時ニ、ソレハ手柄デナリ、過去ガ大罪惡デアッタト言ハザルヲ得ナイ、正シイ方カラ申シマスレバ法權ノ活動ヲ峻嚴ニシタト云フコトハ、何等内閣ノ綱紀肅正ノ手段方法デハナインデアリマス、再應伺ヒマシテ唯今申述べタ以外ニ、唯ノーツモ綱紀肅正ヲ斯ノ如キ方法デシタト云フコトノ、御陳述ヲ承ハルコトガ出來ナカッタ、諸君唯今述べ上ダタヤウナ事柄ガ、果シテ我ミガ總豫算ニ附帶シテ全會一致ヲ以テ政府ニ希望シタ所デアリマセウカ、申スマデモナク決シテ我ミノ希望ハスノ如キ淺薄ナモノデハナカッタト云フコトヲ私ハ信ズルノデアリマス、高橋首相ハ綱紀問題ノ質問ニ對シテ、常ニ國民ノ自覺ヲ要求スルト云フコトヲ仰セニナリマス、國民ノ自覺ハ勿論必要デアリマス、社會一般ノ覺醒モ勿論必要デアリマス、併ナガラ如何ニシテ國民ヲ自覺セシムルカト云フコトガ、我ノ政治家ニ向ッテ問ハムト欲スル所デアル、我ガ帝國ノ内閣總理大臣ニ向ッテ、其明答ヲ得ムトスル所ノモノデアリマス、唯、國民ノ自覺ヲ要求スルト言ハレルノデハ、サウシテ之ニ何等ノ施設、何等ノ手段ガ伴ハナケレバ、少シ言葉ガ荒クナリマスガ、畢竟無用ノ言ト言ハザルヲ得ナイ、我ミノ綱紀ヲ肅正セムトスルノハ國民ノ自覺ヲ求ムヨリ、先づ以テ國民ノ上流ニ立ツ、政權ノ中権ニ立ツ、自ラ綱紀ヲ紊亂スル者ヲ大ニ取締ルコトガ目下ノ急務デアルノデアリマス、我ミノ綱紀ヲ肅正スルコトヲ内閣ニ向ッテ望ムノハ、此方面ニ向ッテ著々ト其手ヲ著ケラレムコトヲ欲スルノデアリマス、過去ニ於テ欲シタノデアリマス、今日ニ於テモ亦欲スルノデアリマス、然ニ何等特別ニ數へ上グベキ有效ナル手段ヲ施サレズシテ、唯國民ノ自覺ヲ求メラレルト云フコトニナリマスト、我ミ國民ハ少カラズ失望セザルヲ得ナイノデアリマスト、我ミハ當時ノ實情ニ顧ミテ、昨年斯ノ如キ希望ヲ鄭重ニ内閣ニ向ッテ進言シタニ拘ラズ、爾來内閣ノ施設、是ト舉ゲテ言フベキモノノナイコトヲ甚ダ遺憾

ト致シマスガ、ソレノミナラズ、其以後更ニ内閣自ラ綱紀ヲ紊亂シタ事實ガ、少カラズアルヤウデアリマス、私自身ガ豫算總會ニ於テ事實ヲ擧ゲテ、内閣諸公ニ御尋ヲ致シマシタ、其事柄ニ於テモ、明瞭ニハ各大臣トモ仰セニナリマセヌケレドモ、其仰セニナツタコトヲ仔細ニ承ハレバ、私ノ疑ツテ居ッタ事ヲ自ラ否認ヲセラレナイ、少ナクトモ否認ヲセラレナイ程度ニ於テ、其以後ノ新ナル綱紀紊亂ノ事實ヲ認メラレタノデアリマス、最近ニ於テ故ナク政黨員ノ要求ニ依テ故ナク地方長官ヲ更迭シタ、又鐵道ヲ餌ニシテ盛シニ黨勢ノ擴張ヲシテ居ル、又政治界ノ一部ノ人ミノ爲ニ、行政權ノ完全ナル活動ヲナスコトヲ得ズシテ、投機熱ヲ到ル所ニ蔓延セシメタ事實ガアル、最モ驚クベキコトハ豫算ノ祕密會ニ於テ、總理大臣ノ御述ベニナツタ言葉ガ元ニナツテ、少ナカラズ豫算總會ニ混亂ヲ來シタノデアリマス、其混亂ノ結果ハ如何デアリマシタカ、總理大臣ハ祕密會ニ於テ御述ベニナツタコトヲ、而モ我ミカラ見レバ總理大臣ノ御意見ヲ至極御尤デアルト思フ其事柄ヲ、其後ニ至テ變更ヲセラレザルヲ得ナイヤウニナツタデハアリマセヌカ、何人ガ之ヲ變更サレタノデアリマスカ、多ク言フヲ須ヒズ、諸君ハ直チニ此意見ヲ了解サルルト考へル、斯ノ如キ甚シキ黨弊ト云フモノハ、多ク曾テ見ザル所デアルヤウニ私ニハ思ハレルノデアリマス、總理大臣ノ仰セニナツタコトガ惡ケレバ兎モ角、大體ノ趣意ニ於テ如何ニモ御尤ナコトデアツタニ拘ラズ、三月二日ノコトヲ次ノ一日置イテ、三月四日ニ翻然トシテ此言葉ヲ改メラレナケレバナラヌヤウニナツタノハ、是ハ何事デアリマセウ、我ミハ我ミ國民ガ國家ノ綱紀ノ肅正ヲ求ムルト云フコトハ、斯ノ如キ點ヲ申スノデアリマス、然ニ昨年以來、其決議シテ此場合彼レ此レ批評ヲ加ヘルコトハ、適當デナイト思ヒマスカラ、ソレハ申シマセヌガ、高橋首相ガ新ニ大宰相ノ印綬ヲ帶ビラレタニ付テ、私ハ我ガ多年、少ナクトモ昨年以來熱心主張シテ居ル綱紀肅正ガ大ニ其實ヲ擧ゲシテ此場合彼レ此レ批評ヲ加ヘルコトハ、適當デナイト思ヒマスカラ、ソレハ申シマセヌガ、高橋首相ガ新ニ大宰相ノ印綬ヲ帶ビラレタニ付テ、私ハ我ガ多年、少ナクトモ昨年以來熱心主張シテ居ル綱紀肅正ガ大ニ其實ヲ擧ゲルコトデアラウト云フコトヲ少ナカラズ期待シタノデアリマス、然ニ本年一月二十日議會再開ニナリマシタ時、私ハ忽チ失望イタシマシタ、ソレハ高橋首相ガ一月二十日此壇上ニ於テ御述ベニナツタ施政方針ノ演説ノ中ニ、必ヤ首相

ハ綱紀肅正ノ問題ニ付テ熱血ヲ注イデ其方針ヲ我ゝ國民ニ示サルルコトト期待イタシマシタ所ガ、何ゾ測ラム、綱紀問題ニ付テ首相ノ言ハレタ所ハ極メテ簡単デ而モ高橋首相ハ綱紀問題ト刑事問題ト同一トハ御覽ニナラヌガ、少ナクトモ綱紀問題ノ大部分ハ刑事問題デアル、斯ウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ル、即チ綱紀問題ニ對シテ高橋首相ハ餘リニモ無理解デアルコトニ付テ私ハ大ニ失望シタノデアリマス、即チ施政方針ノ中ニ殊ニ司法權ノ活動ヲ盛ニスルコトガ綱紀問題ノナモ大部分ダト解釋シ得ルモノデアルカノ如ク御考ヘニナッテ居ルコトヲ承ッテ、大ニ失望イタシマシタ、ソレデ私ハ質問ヲ申上ゲマシタガ、ドウ云フ譯デアリマスカ、私ノ質問ノ趣旨ヲ一切御了解下サラナイノデ、甚ダ不深切ノ御答辯ヲ伺ッテ一層失望イタシマシタ、所ガ其後豫算總會ガ開ケマシタ、豫算總會ガ開ケルニ至リマシテ、高橋首相ハ綱紀問題ヲ十分ニ了解セラレテ居ル、又之ニ對シテ熱心ナ努力ヲナサレ、誠意ヲ披瀝セラレタコトヲ承ッテ、再ビ私ハ首相ニ對スル期待ヲ大ニ深クシタノデアリマス、二月二十八日豫算總會ノ質問ガ綱紀問題ニ入りマシタ日、委員ノ質問ニ對シテ高橋首相ノ御述ベニナッタコトハ如何ニモ正々堂々タルモノデアル、大ニ我ゝノ意ヲ強クシタモノガアリマス、其要點ヲ少シバカリ讀上ゲテ見タイト考ヘマス、首相ノ答辯ノ中ニ「私ガ就職以來、或ハ黨員ニ訓誡シタコトモゴザイマス、又施設ノ方針ニ依テ私ノ執ルベキ方針ハ明カニナッテ居リマス、ソレニ反シタコトヲシタト云フ事實ガアルナラバドウカソレヲ事實ヲ摘發シテ戴キタイ、私ハ言フコトヲシナイト云フ考ハ更ニナイ、又シナイ考ヲ以テスルト云フヤウナコトハ言ハナイノデアリマス、何等カ或ハ黨員ノ中ニ私ガ知ラナイデ何カ不正ナコトヲシタ、黨勢擴張ノ爲ニ不正ナコトヲシタト云フヤウナ事實ガアルナラバ、ソレヲ承ハリタイト考ヘマス、私ハ遠慮ナクサウ云フコトガアレバ押ヘル、或ハ黨員ガ從ハナケレバ除名ヲシマス、又政府部内ニ於テモ其通ニ決シテ假借ハ致シマセヌ」云々、ソレカラ「假令今日政友會ハ二百八十名ノ絕對多數ヲ有シテ居リマシテモ、此會員ノ中デモ政府ノ執ル所ノ政策主義ト云フモノガ、自分ノ主張ト合ハナイト云フ時分ニハ、ズンズン脫黨スルガ宜イノデアル、ソレデ始メテ政治ハ能ク行ハレルノデアル」、又斯ウ云フコトヲ仰セラレタ「成程從來地方ヘ出テ演説ヲスルハ何ゾ獨リ政友會ノミデハナイ、凡ソ政黨ナルモノガ地方ヘ行ッテ隨分實際出來ナイコトマデ出來ルガ如ク演説ヲスル

ノデ、是ハ甚ダ短見デアル、國民ノ信用ヲ得ルト云フノハサウ云フモノデナリ、出來ルコトヲ以テ國民ニ話ス、出來ナイコトハ初メカラ出來ナイト明カニ言ハナケレバナラナイ、出來ナイコトヲ出來ルガ如クニ言フテ國民ヲ誘フサウ國民モイツ迄愚デハナイ、「云々、又「從來ノ如ク所謂政商ナルモノガ陰デ金ヲ寄付シテ私慾ヲ圖ルト云フヤウナコトハ、無論イケナインデアル、」「今日ノ如ク主義政策ニ依ラズシテ、唯一個人若クハ一會社ノ利益ヲ圖ル爲ニ金ノ授受ヲ窃ニスルト云フヤウナコトハイケナイ、」「云々、一會社、一個人ヲ利益スル爲ニ、政府ハ茲ニ何カ政策ヲ定メテ寄付ヲ促スト云フヤウナ、サウ云フ下劣ナ考デハナイノデアリマス、サウ云フコトヲナクナシタイ、今日私ガ此位置ヲ恥シメルヤウニナッテモ、實ヲ申セバ隨分驚イタ、色ムナコトヲ言ッテ費用ガ要リマセウカラシテ、金ヲ寄付シヤウト云フヤウナコトヲ促シテ來ル者モアル、是ハ私ハ再ビサウ云フコトヲ言フナラバ面會ヲ謝絶スルト云フ位ニ、嚴重ニヤツテ居ル、黨員ニ對シテモ私ハ其コトヲ言ウテ居ル、ソレ故ニ私ハ今度就職シテ見テ成程ト思ッタ、從來モ成程ヒドカッタラウト思ウタノデアリマス、是ハ正直ニ私ハ言フノデス、斯ウ云フ弊害ヲ早ク除キタイト云フノガ、私ノ熱心ニ考ヘテ居ル點デアル」、斯ウ云フ風ニ肺肝ヲ吐露シテ總理大臣ハ御述ベニナッテ居リマス、此御答辯ヲ伺ヒマシテ如何ニモ威風ノ颯爽タル所ニ私ハ敬嘆ヲ致シマシタ、例ヘテ言ハバ古ノ大將軍ガ長劍ヲ横ヘ鐵馬ニ跨ッテ采配ヲ振シテ敵陣ヲ遙ニ睥睨スル趣ガ、確カニ高橋内閣總理大臣ノ御答辯ニハアッタノデアリマス、之ヲ伺ッテ私ハ大ニ意ヲ強ク致シマシタ、昨年我ゝガ全會一致ヲ以テ政府ニ希望シタ綱紀肅正ハ必ズ高橋首相ニ依テ其效ヲ完ウスルコトヲ得ルモノナリト私ハ信ジタノデアリマス

〔簡簡單簡單ト呼フ者アリ〕

然ニ何ゾ圖ラム、唯ダ一日ヲ措イテ總理大臣ノ態度ハ一時ニ豹變ラシタノデアル、豹變ノ狀況ハ諸君ハ新聞ニ依テモ詳シク御承知ノコトデアル、簡單ト云フ御希望ガアリマスカラ餘リ之ヲ述ベナイデ置キマセウ、又述ベナイ方ガ多少禮儀デアルカトモ思フ、此豹變ノ事實ヲ見テ更ニ私ハ大ニ失望ヲ致シ、如何ニモ私ハ自分ノ薄志弱行ニ驚イタノデアリマス、是ガ今日迄私ノ綱紀問題ニ付テ承知シテ居ル事實ノ大要デアリマス、總テ事實デアリマス、扱此後綱紀問題ガ是デドウシテ貴ハレルノデアリマセウカ、私ハ決シテ内閣不信任ヲ唱ヘルモノデアリマセヌ、併ナガラ誠ニ心細サヲ感ズル一人デアリマス、

内閣諸公ハスル事實ノアルコトヲ勿論御承知デ、斯ノ如キ事實ガアルニ拘ラズ、矢張國民ヲシテ我ヲ信賴セヨト仰セニナルコトガ出來ルノデアリマセウカ、如何ニモ絶對多數ヲ擁シテ強力ナル内閣デアリマス、併ナガラ綱紀ノ肅正ハ今日國民ノ休戚ノ岐ル所、國家安危ノ岐ル所ト深ク信ズルノデアリマス、政黨派ノ外ニ立ッタ貴族院ガ此問題ニ對シテ熱中スルノハ寧ロ當然デモ、是ハ非常ナ重大問題デ、爾ク輕々ニ看過スベキモノノデナイ、輕々ニ葬リ去ルベキ事柄デナインデアル

〔ヒヤヒヤ」ト呼フ者アリ〕

ドウカ申ス迄モアリマセヌガ、我ミハ共ニ熱心ニ眞面目ニ此問題ノ爲ニ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、私ハ此建議ニ賛成イタシマス理由ハ以上ノ事實デアリマスニ付テハ、内閣ハ是非此綱紀ヲ肅正シテ貰ヒタイ、如何ニモ心細ク感ジマスルケレドモ、併ナガラ現ニ大命ヲ奉ジテ國政變理ノ任ニ當ツテ居ラレル人ノアル以上ハ此人ニ對シテ此大問題ノ解決ヲ迫ルト云フコトハ、國民ノ當然權利デアルト私ハ思フノデアリマス、私ハ決シテ轉職ヲ迫ルモノデハアリマセヌ、併ナガラ斯ル國家ノ重大問題、目前ニ迫ッタ此重大問題ヲ若シ解決スルコトガ出來ナケレバ、ソレハ御罷メナサルヨリ外仕方ガナイ、御罷メナサレトハ申シマセヌ、是非綱紀ヲ肅正シテ貰ハナケレバナラスト思ヒマス、併シ綱紀ノ肅正ガ出來ナケレバ、此重大問題ノ解決ガ出來ナケレバ……サウシテ其地位ニ居ルノハ、是ハ戸位素餐デアル、御上ニ對シテ申譯ノナイコトデアル、國民ニ對シテ演説ニ申譯ノナイコトデアル、ソレナラバ御罷メニナルヨリ外ニ仕方ガナイ、御罷メナサレトハ私ハ申スノデハアリマセヌ、何所マデモ肅正シテ貰ヒタイ、初メカラサウ思ツテ居ル、非常ニ期待シテ、非常ニ喜ンデ居リマシタガ、其中非常ニ失望ヲ致シマシタ、失望ヲ致シマシタケレドモ、矢張今日デモ其位ニ御出デニナル以上、其位ニ御出デニナルダケノコトヲシテ貰ハナケレバナラスト云フコトガ私ノ所論デアリマス、ケレドモ是ガ出來ナケレバ御罷メニナルヨリ仕方ガナイ、斯ウ云フノガ私ノ論デアリマス、大變長クナリマシテ諸君ノ御倦怠ヲ買ツテ甚ダ恐縮イタシマシタ

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 此案ニ御賛成ノ演説中ニハ、或ハ事實ヲ誤ッテ居ラレルコトモアリマス、併シソレ等ニ付テハ茲ニ私ハ敢テ辯解ヲ致シマセ

ス、昨年本院ノ豫算委員會ニ於テ綱紀肅正ニ關スル希望ヲ述べラレマシタガ、爾來政府ニ於キマシテハ御希望ノ趣旨ヲ尊重シテ、銳意肅正ノ實ヲ舉ゲルコトニ苦心シテ居ルコトハ識者ノ齊シク認メテ居ルコトト確信イタシマス、然ニ唯今御審議中ノ建議案ヲ拜見イタシマスレバ、斯様ナコトガアル、「爾來政府ノ施設スル所殆ント見ルヘキモノナク綱紀ノ弛廢益甚シキヲ加フルノ情況依然タリ」斯ウ云フ斷定ヲ下ダサレテ居ルノデアリマスルガ、事實ノ觀察ニ於テ政府ノ見ル所ト甚シキ相違ノアルコトヲ遺憾ト存ズルノデアリマス、

政府ハ昨年以來綱紀ノ弛廢益甚ダシキヲ加フル情況ナリトハ考ヘマセヌ、政府ノ施設ト輿論ノ刺戟トニ依リマシテ、綱紀ハ漸次肅正サレツツアルモノト存ジマス、併ナガラ斯ノ如キ事柄ハ固ヨリ其原因頗ル複雜ニシテ、又其由テ來ル所遠ク、一朝一夕ニシテ其效果ヲ完ウスベキモノノデハアリマセヌ、政府ニ於テ一層此事ニ努力ヲ致ス決心ヲ有シテ居ルコトハ、私ノ施政方針ニ關スル演説、並ニ其他ノ機會ニ於テモ度々申述ベマシタ通リデアリマス、故ニ斯ノ如キ政府彈劾ノ嫌アル建議案ニハ御同意致シ兼ネルノデアリマス、念ノ爲メ此場合、政府ノ所見ヲ陳述シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モアルマイト考ヘマスカラ、本建議案ニ付テ採決ヲ致サウト考ヘマス、採決ノコトニ付マシテ中川伯爵外十九名、木越男爵外二十四名ヨリ何レモ記名投票ヲ以テ表決セラレルコトヲ望ムト云フコトガ申出デラレマシタ故ニ、規則百八十條ニ依リマシテ記名投票ヲ行ヒマス、唯今議長ハ……少々御靜肅ニ願ヒマス、唯今議長ハ誤リ申シマシタ、中川伯爵ヨリノ要求ハ前田子爵ノ提出セラレマシタ建議案ノ票決ノ時デゴザイマシタ、故ニ此事ハ取消シマス、木越男爵外二十四名ヨリノ要求ニ依リマシテ記名投票ヲ行ヒマス、書記官ヲシテ氏名點呼ヲ致サセマス、此演壇ヘ御出テ御投票ヲ請ヒマス、念ノ爲申上ゲテ置キマスガ、規則百十九條ニ依リマシテ、建議案ヲ可トスル諸君ハ白色票ヲ、否トスル諸君ハ青色票ヲ此函ヘ御投入ヲ請ヒマス

〔書記官氏名ヲ點呼ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票漏レハゴザイマセヌカ……投票漏ハナイト認メマス、是ヨリ書記官ヲシテ投票ノ計算ヲ致サセマス

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數ニ居ラレルコトモアリマス

百六十二票、白色票ヲ投ジタル者、即チ建議案ヲ可トスル者百一、青色票ヲ投ジタル者、即チ建議案ヲ否トスル者百六十一、建議案ハ否決セラレマシタ

〔參照〕

贊成

百一名
百六十一名

贊成者氏名

侯爵鍋島直映君 侯爵德川圓順君 侯爵細川護立君 田所美治君 湯淺倉平君 片岡直輝君 星島謹一郎君 橋本辰二郎君 根津啓吉君 高橋隆一君

侯爵大隈信常君 侯爵佐佐木行忠君 侯爵木越安綱君 石谷傳四郎君 甚五郎君 鈴木摠兵衛君

子爵藤波言忠君 侯爵佐佐木行忠君 侯爵細川護立君 菅原通敬君 若槻禮次郎君

男爵山中信儀君 侯爵佐佐木行忠君 侯爵細川護立君 西久保弘道君 伊澤多喜男君

男爵山根武亮君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 德富猪一郎君

男爵宇佐川一正君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 江木健一君 石橋謹二君

男爵古市公威君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 浅田徳則君 石橋謹二君

男爵高千穂宣麿君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 荒川義太郎君 石橋謹二君

男爵西村精一君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 菅原通敬君 若槻禮次郎君

男爵宇佐川一正君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 荒川義太郎君 石橋謹二君

男爵太秦供康君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 仲小路廉君 石橋謹二君

男爵内田正敏君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 北條時敬君 石橋謹二君

福原鑑二郎君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

中村是公君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 内田嘉吉君 高橋隆一君

男爵若王子文健君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵千秋季隆君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵安場末喜君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵長松厚君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵千秋季隆君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵安場末喜君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵永山武敏君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵土屋光金君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵赤松範一君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵藤村義朗君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵小畑大太郎君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵東郷安君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵矢吹省三君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

男爵寺島敏三君 侯爵坂本俊篤君 侯爵細川護立君 岩田良平君 高橋隆一君

三宅秀君

阪本彰之助君

若槻禮次郎君

菅原通敬君

西久保弘道君

伊澤多喜男君

高田早苗君

江木翼君

勝田銀次郎君

矢口長右衛門君

石橋謹二君

鈴木摠兵衛君

星島謹一郎君

片岡直輝君

湯淺倉平君

星島謹一郎君

橋本辰二郎君

根津啓吉君

高橋隆一君

原保太郎君

高田昌恭君

若槻禮次郎君

菅原通敬君

西久保弘道君

伊澤多喜男君

高田早苗君

江木翼君

勝田銀次郎君

矢口長右衛門君

石橋謹二君

鈴木摠兵衛君

星島謹一郎君

片岡直輝君

湯淺倉平君

星島謹一郎君

橋本辰二郎君

根津啓吉君

高橋隆一君

仁尾惟茂君

高田早苗君

伊澤多喜男君

江木翼君

勝田銀次郎君

矢口長右衛門君

石橋謹二君

鈴木摠兵衛君

星島謹一郎君

片岡直輝君

湯淺倉平君

星島謹一郎君

橋本辰二郎君

根津啓吉君

高橋隆一君

子爵大給	近孝君	子爵本多忠鋒君	子爵豊岡圭資君
子爵藪	篤麿君	子爵伊東祐弘君	子爵松平乘長君
子爵片桐	貞央君	子爵白川資長君	子爵野村益三君
子爵堤	雄長君	子爵丹羽長徳君	子爵米津政賢君
子爵池田	政時君	子爵大河内正敏君	子爵伊東祐弘君
子爵清岡	長言君	子爵秋月種英君	子爵松平乘長君
子爵新庄	直知君	子爵白川資長君	子爵野村益三君
子爵牧野	一成君	子爵丹羽長徳君	子爵伊東祐弘君
子爵大浦	兼一君	子爵大河内正敏君	子爵松平乘長君
子爵板倉	勝憲君	子爵秋月種英君	子爵野村益三君
北里	柴三郎君	子爵白川資長君	子爵伊東祐弘君
犬塚	勝太郎君	子爵丹羽長徳君	子爵松平乘長君
渡邊	廉吉君	子爵大河内正敏君	子爵野村益三君
小松	謙次郎君	子爵秋月種英君	子爵伊東祐弘君
玉利	喜造君	子爵白川資長君	子爵野村益三君
笠井	信一君	子爵丹羽長徳君	子爵伊東祐弘君
男爵黒川	幹太郎君	子爵大河内正敏君	子爵野村益三君
山之内	一次君	子爵秋月種英君	子爵伊東祐弘君
小山	健三君	子爵白川資長君	子爵伊東祐弘君
市來	乙彥君	子爵丹羽長徳君	子爵伊東祐弘君
江原	素六君	子爵大河内正敏君	子爵伊東祐弘君
佐藤友右衛門君		子爵秋月種英君	子爵伊東祐弘君
津村	紀陵君	子爵丹羽長徳君	子爵伊東祐弘君
岡本	榮吉君	子爵大河内正敏君	子爵伊東祐弘君
近岡	理三郎君	子爵秋月種英君	子爵伊東祐弘君
中村	圓一郎君	子爵丹羽長徳君	子爵伊東祐弘君
宮川	久一郎君	子爵大河内正敏君	子爵伊東祐弘君
藤本	閑作君	子爵秋月種英君	子爵伊東祐弘君
高橋	源次郎君	子爵丹羽長徳君	子爵伊東祐弘君
田中	清文君	子爵大河内正敏君	子爵伊東祐弘君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十四、綱紀肅正ニ關スル建議案、前田子爵發議、會議、建議案ヲ朗讀イタサセマス

綱紀肅正ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十九條ニ依リ提出候也
大正十一年三月二十一日

〔成瀬書記官朗讀〕
發議者

子爵前田利定

贊成者

伯爵松浦厚

伯爵寺島誠一郎

伯爵柳澤保惠

伯爵兒玉秀雄

伯爵副島道正

伯爵奥平昌恭

伯爵中川久任

伯爵林博太郎

伯爵松平頼壽

伯爵勘修寺經雄

伯爵伏原宣足

伯爵小澤武雄

伯爵竹腰正己君

伯爵眞田幸世君

伯爵鍋島直虎

伯爵藤堂高成君

伯爵舟橋遂賢

伯爵藤谷爲寛

伯爵本圭三郎君

伯爵稻垣靖一君

伯爵毛利高範

伯爵磯部四郎君

伯爵安樂兼道君

伯爵森爲勇

伯爵室田義文君

伯爵小池靖一君

伯爵永井尙敏

伯爵竹越與三郎君

伯爵酒井忠亮

伯爵利泉爲勇

伯爵大村彦太郎君

伯爵青木信光

伯爵柳生俊光

伯爵桑原善吉君

伯爵五辻治仲

伯爵井上匡四郎

伯爵今井五介君

伯爵森立興

伯爵西大路吉光

伯爵八木久兵衛君

伯爵五條爲功

伯爵柳生俊光

伯爵鎌田勝太郎君

伯爵今城定政

伯爵吉田清風

伯爵金杉英五郎君

伯爵本多忠鋒君

伯爵野村圭資

伯爵今井五介君

伯爵京極高備

伯爵吉田清輝

伯爵竹村與右衛門君

伯爵本多忠鋒君

伯爵野村圭資

伯爵津村紀陵君

伯爵伊集院兼知

伯爵柳生俊光

伯爵岡本榮吉君

伯爵伊集院兼知

伯爵柳生俊光

伯爵中村圓一郎君

伯爵大河内正敏君

伯爵吉田清風

伯爵宮川久一郎君

伯爵大河内正敏君

伯爵吉田清風

伯爵藤本閑作君

伯爵大河内正敏君

伯爵吉田清風

伯爵高橋源次郎君

伯爵大河内正敏君

伯爵吉田清風

伯爵田中清文君

伯爵大河内正敏君

伯爵吉田清風

子爵立花 種忠	子爵新庄 直知	子爵渡邊 千冬
子爵竹屋 春光	子爵板倉 勝憲	子爵米倉 昌達
男爵村上 敬次郎	河村 善益	富谷 錄太郎
小松 謙次郎	男爵神田 乃武	木場 貞長
男爵黒川 幹太郎	男爵安藤 直雄	男爵藤堂 高成
勝田 主計	市來 乙彦	大村 彦太郎
和田 豊治	佐藤 傳兵衛	桑原 善吉
岡本 榮吉	伊丹 弥太郎	山田 敏
高橋 源次郎	田中 清文	横山 章
三木 與吉郎		

貴族院議長公爵德川家達殿

綱紀肅正ニ關スル建議

第四十四回 帝國議會ニ於テ貴族院豫算委員會ハ時弊矯正ノ必要ヲ認メ其ノ意ヲ政府ニ致シタリ爾來政府ノ施設未タ所期ノ效果ヲ見ルニ至ラサルハ甚タ遺憾トスル所ナリ政府ハ銳意綱紀肅正ノ實ヲ擧ゲムコトヲ望ム

右建議ス

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 先刻ハ佐佐木侯爵外三名ノ御發議ニ係ル建議案ガ上程サレマシタ、而シテソレニ付テ阪谷男爵外御兩名ノ説明並ニ贊成ノ御演說ガゴザイマシタ、私ハ別ニ綱紀肅正ニ關シマシテ提議ヲ致シタノデアリマス、今即チ議題ニ上ツテ居ルノデアリマス、私ハ佐佐木侯爵ノ御發議ニナリマシタ所ノ建議案ノ御趣旨ニ付テハ、御賛成ヲ申上ゲ兼ル點モアルノデアリマス、併ナガラ綱紀ヲ肅正セムトスル所ノ御精神ニ付テハ私モ同様デアルノデアリマス、貴族院ニ於テハ由來建議案ヲ濫發スル所デハアリマセヌ、然ニ題目ヲ同じウシ事柄ヲ同ジウシ、而モ日ヲ同シウシ、前後シテ本議場ニ建議案ノ現ハレマシタコトハ、貴族院始ツテ以來、絶後デハアリマスマイ、併ナガラ空前ノ現象デアルト私ハ信ズルノデアリマス、此現象ヲ政府ハ何ト御覽ニナルデアリマセウ、貴族院ハ平素穩健ニシテ中正ノ途ヲ辿ツテ居ル所ノ議院デアリマス、尤蓋シ綱紀ガ大ニ弛廢イタシテ、此ノ時弊ヲ矯正シテ綱紀ヲ肅正セムトスル所

ノ國民ノ聲ガ、茲ニ現ハレタモノト私ハ思フノデアリマス、是ハ國民ノ聲デハアリマセヌ、是ハ天ノ聲ト思フノデアリマス、天ガ人ヲシテ斯ル聲ヲ叫バシメルノデアラウト思フノデアリマス、天ハ口ナクシテ人ヲ以テ言ハシメル、私ハ此現象ハ正ニソレデアルト思フノデアリマス、斯ク佐佐木侯爵ノ御建議案ノ御趣旨ト、全ク國ヲ憂ヒ世ヲ思フ情ニ於テハ全ク一致シテ居ルノデアリマス、唯其採ラムトスル所ノ道ガ稍我ミドモノ考ト差異アルノミデアリマス、是ヨリ私ハ本案ノ建議ノ趣旨ヲ時間モ切迫イタシテ居リマスカラ、成ベク簡明ニ申上ゲヤウト思ヒマス、昨年ノ三月二十三日ニ於キマシテ、當議場ニ於テ大正十年度ノ總豫算ヲ委員長ト致シマシテ此所ニ御披露ヲ致ス際ニ、附帶ノ希望ヲ茲ニ御紹介イタシタノデアリマス、其内容ニ付マシテハ、先刻仲小路君ヨリ縷々御述ベニナリマシタカラ之ヲ省略イタシマスルガ、要スルニ時弊ヲ匡救シ綱紀ヲ肅正スルノ要ヲ認メマシテ、政府ヲシテ適當ナル方途ニ依テ之ヲ爲シテ貰ヒタイト云フ意味デアリタ記憶シテ居ルノデアリマス、爾來茲ニ一年ヲ閱シマシタ今日ニ於キマシテ、政府ハ如何ナル適當ナル方途ニ依テ此ノ時弊ヲ匡救サレマシタカ、貴族院ノ諸公ハ如何ニ御感ジニナッテ居ラレルデアリマセウ、高橋總理ノ去ル一月二十一日ノ議場ニ於キマシテ、施政ノ方針ヲ御演說ニナリマシタ時ニ於テ、總理ニ於カセラレラモ此綱紀ノ肅正、時弊ノ匡救ト云フコトニ付マシテハ、意ニ留メテ御出ニナルモノト見エマシテ、御演說ノ御言葉ノ中ニモ此點ニ言及サレテ、國民ノ自省ト相俟テ此弊風ヲバ矯正シナケレバナラスト云フ意味ヲ演說サレテ居ルヲ伺ッタノデアリマス、尙ホ其後藤村男爵、江木千之君ノ質問ニ答ヘラレテ居ル御言葉ノ中ニモ、綱紀肅正ノ實ヲ擧ゲルコトニ付テハ苦慮シテ居ル、又ソレニ付テハスククノコトヲシテ居ルト云フコトヲ御答辯中ニ見出スノデアリマス、最ハク人ニ依テ考ノ上ニ差異ガゴザイマセウ、併ナガラ政府ハ今日マデ何等ノ施政所ナク策スル所ナク、手ヲ拱シテ居ラタトハ思ハレマセヌノデアリマス、現ニ司法權ノ活動ニ依リマシテ、所謂淨玻璃ノ鏡ニ依テ是非善惡ヲ辨明スベキ相當ノ御効ヲ爲サツテ居ラレルト云フコトヲ認メルノデアリマス、而シテ其方面ニ於キマシテハ、大分目鼻ガ附イテ來タヤウニ思ハレルノデアリマス、併ナガラ其他ノ方面ニ於キマシテハ、是ト云ツテ取立テテ綱紀肅正ノ效果ノ舉ツテ居ルモノヲ見出スコトガ出來ナイノハ、甚ダ遺憾トスル所デアリマス、尤モ其後總理ノ本議場或ハ豫算總會ニ於テ、議員ノ質問ニ對スル御答辯ノ中ニ、

斯クスクノコトヲシテ居ルト云フ事柄ハ先程上山君ノ御演説中ニモゴザイマシタガ、或ハ内務文部ノ兩省ヲシテ教化ノ宣傳ヲナシテ居ル、或ハ又吏僚ヲ監督シ、事務取扱ノ上ニ缺陷ガアル所ハ之ヲ改正ヲスル、又國家ノ根本タル所ノ法典ニ付テモ國民ヲシテ道義的精神ヲ振興サセル所ノ目的ヲ以テ審査ヲ進メテ居ル、其他多少御答辯ニナツテ居ルヤウデアリマス、成程是等ノモノモ綱紀肅正ノ手段トシテ數ヘルモノノ中ニ這入ル事柄デハアラウト思ヒマス、併ナガラ十分ナル綱紀肅正ノ效果ガ舉ガツテ居ルモノトハ思ハレナイノデアリマス、此綱紀弛廢イタシマシテ、道義ノ觀念ガ萎靡振ハナイ今日ニ於キマシテハ、是ガ革正ヲ望ミ肅正ヲ望ムモノト致シマシテハ、國ヲ憂フル所ノ精神ヨリ是等ノコトヲ政府ニ努力シテ之ヲナサシメタイト云フコトハ、是ハ當然ノ我ノ責務デアルト思フノデアリマス、唯此場合ニ於キマシテ此弛廢シテ居ル所ノ綱紀ノ責任ハ唯政府ニアリトナシテ、是ガ信任ヲ問ヒ、或ハ又更迭ヲ促シ、若クハ迫ルガ如キコトハ一ツノ方法デアルカモ知レマセヌ、併ナガラ政府ヲシテ斯クスクノ紊亂セル所ノ事實ガアリト指摘ヲ致シマシテ、政府ヲシテ自省セシメ、發奮はガ肅正ヲ圖ラシムルト云フコトモ一ツノ方法デアラウト思フノデアリマス、私ガ建議イタシタ所ノ本案ハ、此第二ノ方法ニ依テ政府ヲシテ自省發奮肅正ノ實ヲ舉ゲシメヤウトスルニ外ナラヌノデアリマス、綱紀ノ肅正ノ問題ハ私ハ政爭以上ノ問題デアルト思フノデアリマス、此問題ヲ政爭場裏ノモノトシテ、之ヲ弄ブト云フヤウナ者ガ、若シアリマシタナラバ、私ハ敢然トシテ反對セザルヲ得ヌノデアリマス、政争的觀念ヲ離レテ、眞面目ニ此肅正ノ實ヲ舉ゲルニ付テ適當ナル方途ニ出デシメルト云フコトハ、思フニ多數ノ國民ノ望ンデ居ル所デアラウト信ズルノデアリマス、貴族院ガ世間ヨリ推重セラレル所ノ所以ハドコニアルカト申シマスレバ、此政争的觀念ヲ離レ感情ヲ棄テ冷靜ニ又公正ニ眞面目ニ事物ノ研究ヲ爲シ、シムル所以デアルト思フノデアリマス、之ニ反対ノ方途ハ貴族院ノ權威ノ爲メ、名譽ノ爲ニ之ヲ禁ジナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ハ此意味ヨリシテ政府ヲシテ銳意益、綱紀ノ肅正ノ實ヲ舉ゲルベク、其發奮ヲ促サムト欲

スル所ヨリ本案ヲ提出イタシタノデアリマス、先ニ決シマシタル建議案ニ付マシテ彼レ是レ御批判ヲ申上ゲルコトハ、其分ニ過ギテ居ルコトト思ヒマスルケレドモ、私ハ阪谷男爵ノ御説明ヲ聽キマシテ、私ハ自分ノ耳ヲ疑フタノデアリマス、ドウモ御説明ニナツテ居ル所ヲ見マスルト、私ガ提議シ説明セムトスル所ノ建議案ト、略同ジャウニ伺ヒ取レタノデアリマス、仲小路君ハ五十歩百歩ト云フ御批評ヲナサレマシタケレドモ、私ハ紙一枚位ニ考ヘラレタノデアリマス、併シ私ガ自分ノ耳ヲ疑ツタバカリデナク、又疑ツタト云フコトハ無理デナイト思ヒマシタ、ソレハ仲小路君ハ矢張兩方ノ建議案ヲ對照ナサレマシテ、誠ニ是ハ能ク似テ居ルト云フ批評ヲ申サレタノニ依リマシテ、私ハ自分ノ耳ノ疑デナイト云フコトヲ發見シタノデアリマス、唯御演説ノ御言葉ノ中ニ政府ガ更タナラバ……更ルト云フコトモ一ツノ方法デアル、併シ更ハレト云フノデナイト、不信任ヲスルノデナイト云フコトヲ申サレマシタガ、多少違ヒガアルト申セバ、アルヤウナモノデアリマスケレドモ、併ナガラ單ニ耳障リガ斯ク少シク荒ク聽エルノミデアリマシテ、不信任ニ非ズト云フコトヲ斷言セラレテ居ルコトニ依リマスレバ、矢張趣意ニ於テハ我ノノ案ト左マシタ諸君ニ對シ御勸告ヲ申サウト思フノデアリマス、斯様ニ能ク似通ツテ居ル案デアリマスルカラ、何卒本案ノ採決ニ際シマシタナラバ悉ク御賛成アラムコトヲ希望スルノデアリマス、誠ニ惜イコトヲ致シマシタノデアリマシテ、若モ私ノ發議イタシマシタ所ノ建議案ガ先ニ議場ニ現ハレマシタナラバ、佐佐木侯爵外三名ノ方ハアノヤウナ建議案ヲ御發議ニナラヌデ済ンダデアラウト思フノデアリマス、何卒右様ノ次第デアリマスカラシテ、本案ガ討議セラレマシタカラ、御異議ガナケレバ、本日ハ是デ散會ヲ致シタイト考ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 明二十三日ノ議事日程ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致セマス

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、本日ハ大分時間ガ經チマシタカラ、御異議ガナケレバ、本日ハ是デ散會ヲ致シタイト考ヘマス

〔成瀬書記官朗讀〕

議事日程 第三十號 大正十一年三月二十三日(木曜日)

午前十時開議

- 第一 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案（第一號）審查
期限ヲ定ムルノ件
- 第二 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）審查
期限ヲ定ムルノ件
- 第三 大正十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特
第一號）審查期限ヲ定ムルノ件
- 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル
件（追第二號）審查期限ヲ定ムルノ件
- 第五 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案（第三號）審查
期限ヲ定ムルノ件
- 第六 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案（第四號）審查
期限ヲ定ムルノ件
- 第七 大正十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案（特第
二號）審查期限ヲ定ムルノ件
- 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案（第五號）審查
期限ヲ定ムルノ件
- 第八 大正十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第
一號）
- 第九 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案（第六號）審查
期限ヲ定ムルノ件
- 第十 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ
要スル件（追第一號）
- 第十一 東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關ス
ル法律案（政府提出、衆議院送付）
- 第十二 増加恩給等ノ増額ニ關スル法律案（政府提出、
衆議院送付）
- 第十三 土地收用法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）
- 第十四 貨幣法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）
- 第十五 簡易生命保險法中改正法律案（政府提出、
衆議院送付）
- 第十六 裁判所構成法中改正法律案（政府提出、衆議院送付）
- 第十七 軍機保護法中改正法律案（衆議院提出）
- 第十八 水先法中改正法律案（衆議院提出）

- 第十九 家祿引直處分法案（衆議院提出） 第一讀會
- 第二十 所得稅法中改正法律案（衆議院提出） 第一讀會
- 第二十一 災害地地租免除法中改正法律案（衆議院提出） 第一讀會
- 第二十二 身元保證ニ關スル法律案（衆議院 提出） 第一讀會
- 第二十三 民事訴訟法中改正法律案（衆議院 提出） 第一讀會ノ續（委員長）
- 第二十四 約紀肅正ニ關スル建議案（子爵前田利定君發 議） 第一讀會ノ續（報告）
- 議長（公爵德川家達君） 本日ハ是ニテ散會
午後十一時四十一分散會

大正十一年三月二十二日